

第十四條 徵發馬匹ノ到着スルルハ乘馬隊ノ蹄鐵工ハ晝夜ノ別ナク裝鐵ニ着手セシメ蹄ニ番號ノ烙印ヲナサシムヘシ

第十五條 鎮臺營所分營ニ在テハ豫テ馬匹等ノ受領場所並假廐ノ位置ヲ定メ置クヘシ但臺下諸隊ニ在テハ隊屬輜重隊ニ要スル駄馬ノ假廐ノ位置モ之ニ準ス

第十六條 假廐ノ構築ハ鎮臺營所ニ在テハ陣營經理部ニ於テ擔當シ分營ニ在テハ該隊ニ於テ適宜處便スヘシ

第十七條 馬匹受領委員ハ受領シタル馬匹及ヒ不合格ニ屬シタル馬匹ノ縣名姓名ヲ鎮臺監督部營所計官若クハ分營所在地ノ計官ニ報告スヘシ

第十八條 馬匹不合格等ニテ牽返スルノ賃價(平常賃價ノ半額)及操業者歸郷ノ賃價ハ鎮臺ニ在テハ監督部營所ニ在テハ營所計官分營ニ在テハ該隊計官ヨリ支給スヘシ但合格不合格ニ拘ハラズ徵用地迄賃價ノ内未渡ノ半額ハ本文ノ個所ニ於テ夫々追給スヘシ

第十九條 郡區役所ニ於テハ平常馬匹賃價(馬匹下操業ノ者ヲ區別ス)ノ金額ヲ定メ置然ル上縣廳ニ届出縣廳ヨリハ鎮臺ニ報告スヘシ

第二十條 徵發令狀ハ豫テ概算ヲ以テ鎮臺ヨリ縣廳ニ回付シ縣廳ニ於テハ之ヲ郡區役所ニ分賦シテ收藏セシム依テ徵發ノ令下ルル郡區役所ニ於テハ徵發ノ數ニ應シ之ヲ戶長ニ交付シ戶長ハ令狀ニ馬匹等ノ種類持主ノ姓名年月日等ヲ記入シ持主ニ達スヘシ

第二十一條 徵發ニ係ル賠償金額ハ徵發令第三十二條第三十五條ヨリ第三十七條迄ノ例ニ

據ル

第二十二條 徵發ノ命令ヲ受ケタルルハ其事務ハ晝夜ヲ分タズ取扱フモノトス

第二十三條 乘馬駄馬駕馬使用ノ爲ノ必用ナル屬具ハ併テ供給スヘキモノトス若シ不用ニ屬スル物品ハ本人ニ返付スヘシ

第二十四條 馬匹ノ買上ヲ要スルルハ徵發事務條例第五十五條以下ノ法ニ依リ評價委員ヲ編制ス但其人員ハ陸軍官憲二名各縣ノ郡區吏若クハ戶長ノ内一名及該縣住民ニシテ其事件ニ熟達シタル者二名トス

第二十五條 馬匹ヲ受領シタルルハ鎮臺營所司令官若クハ分營所在地ノ隊長ヨリ假受領證票或ハ買上ニ屬スルモノハ受領證票ヲ縣知事ヘ交付スヘシ但假受領證票ヲ交付シタルモノハ徵用濟ノ後定式ノ受領證票ヲ交付スヘシ

第二十六條 明治十九年十二月二十八日陸軍省訓令甲第二號ノ乘馬駄馬駕馬車輛並屬具ノ員數調査書ニ基キ毎年九月一日調ヲ以テ十月三十一日迄ニ縣廳ヨリ所管鎮臺ヘ送付スヘシ但馬車員數表及馬車駄馬屬具員數表ハ調査スルニ及ハス

第二十七條 郡區役所戶長役場ニ前條ノ調査書副本ヲ添ヘ置キ戶長ハ増減ノアル毎ニ記入シ且ツ郡長ニ届出ツヘシ而シテ郡役所ニ於テモ亦其増減ヲ記シ置クヘシ

第一書式 鎮臺司令官ヨリ各縣知事ヘ電報案
乘馬何匹 駄馬何匹 駕馬何匹 廣島(松山)(丸龜)ヘ徵用ス

第二類 第二節 徵發

曲尺六寸

△印ハ朱印

裏 面 表			
<p style="text-align: center;">曲尺六寸</p> <p style="text-align: center;">△印ハ朱印</p> <p style="text-align: center;">徵發令狀</p> <p style="text-align: center;">受領</p> <p style="text-align: center;">何郡何村</p> <p style="text-align: center;">姓 名</p> <p style="text-align: center;">駄馬一匹</p> <p style="text-align: center;">不合格</p> <p style="text-align: center;">(認馬(乘馬))</p> <p style="text-align: center;">右徵用ヲ令ス</p> <p style="text-align: center;">年月日</p> <p style="text-align: center;">廣島鎮臺</p> <p style="text-align: center;">印</p>			
徵用地	里	程	賃
何	何拾何里	金何圓何拾錢	價

面	
前書之金員相渡候也	戸長姓名印
年月日	
此令狀ヲ受領シタル片ハ戸長役場ニ至リ賃價ヲ受 取り二十四時以内ニ發程シ一日十里詰ヲ以テ旅行 シ徵用地ニ至ルヘシ	

○明治二十一年一月七日訓令第二號 郡役所 戸長役場

徵發令第十二條第二項ノ馬匹並ニ駄馬屬具ノ員數左ノ項目書式ニ依リ取調明治二十年十二月三十一日調ノ分ヨリ戸長ハ町村表ヲ製シ毎年一月二十日限り郡長へ差出シ郡長ハ之ヲ合計郡表ヲ製シ全月盡日迄ニ當廳へ差出スヘシ

但明治二十年五月訓令第百二十號但書又以下ヲ刪除ス

第一 馬匹乘馬駕馬 駄馬耕馬ハ翌年々齡五歲以上二十六歲未滿ノモノニシテ第二項ヨリ第四項ニ適當ノ者ヲ合格トシ其他ノ者ヲ不合格トシ調査スヘシ

但年齡ハ生年チ一歲トシテ計算スヘシ

第二 乘馬ハ身幹四尺五寸曲尺以上ニシテ現在乘馬ニ役スルモノ又ハ曾テ乘馬ニ役セシモノ

ヲ算入スヘシ

第三 駄馬ハ身幹四尺三寸以上ニシテ現在駄馬ニ役スルモノ又ハ曾テ駄馬ニ役セシモノヲ算入スヘシ
但現在耕馬ニ役スルモノ又ハ曾テ耕馬ニ役セシモノ及ヒ乘馬駕馬ニシテ年齢五歳以上

第四 駕馬ハ身幹四尺五寸以上ニシテ現在駕馭ニ役スルモノ又ハ曾テ駕馭ニ役セシモノヲ算入スヘシ

第五 駄馬屬具ハ駄鞍繩共轆具ニ限ル又其材料完全ニシテ數日ノ使用ニ耐ユルモノヲ甲トシ材料完全ナシサルモノ一時ノ用ニ供シ得ヘキモノヲ乙トシ調査スヘシ
第六 徵發令第十四條并ニ乘馬飼養令ニ據リ飼養スル馬匹ハ本表ニ算入スヘカラス
第七 前年調ノ數ト著シキ増減アルトキハ其事實ヲ備考ニ記入スヘシ

明治何年
十二月三十一日現在馬匹及駄馬屬具員數表

何郡役所(何村)(町)戸長役場)

種別		合	不	合	格	格	駄馬
(村)	(町)	五歳以上十六歳未満	五歳未滿	十六歳以上	四尺三寸未滿		屬具
乘馬	駕馬	駄馬	乘馬	駕馬	駄馬	乘馬	駕馬
						駄馬	

備考	計	牝	牡	牝	牡		
						乙	甲

沿革要領

明治十六年二月乙第二十號徵發事務條例ニ付心得方達(十七年三月乙第四十三號全年三月乙第四十七號更正)○全年六月乙第八十號全上取消且徵發事務條例ニヨリ調製スヘキ諸表進達方達(十八年六月乙第九十四號更正)○十七年一月乙第六號徵發物件表調査梗概達(十八年二月乙第二十三號全年三月乙第卅八號更正)○十八年全四月乙第五十四號郡町村ノ徵發區ニ係ル物件輸送費徵收方法郡戸長ニ於テ制定更正ノ件届出シム○十九年九月訓令第二十九号全上三件廢止

六 陸海軍恩給
● 恩給扶助授受

○明治十七年十月四日乙第百五十八號 郡 町村
 舊海軍退隱令ニ據リ退隱料並ニ扶助料ヲ受クル者其金額授受ノ節自今戶長ノ證セル本人生存書(孤兒ハ年齡書)及ヒ金額受領証書ヲ差出シ右証書引替ニ該金額授受スヘシ且退隱料及ヒ扶助料ヲ受クル者其金額受領ノ地ヲ轉スルハ金額交付期月ノ三ヶ月前ニ其所在ノ地方廳ニ願出ヘシ若シ其期ヲ過クル者ハ仍ホ元所在地ニ於テ交付候旨其筋ヨリ達相成候條右相心得戶長ハ該料金拜受者ヘ可相達此旨相達候事

○明治十八年三月三日乙第三十四號 郡 町村
 明治八年四月太政官第四十八號達陸軍武官傷痍扶助及死亡ノ者祭葬並其家族扶助概則及全年八月全官第百四十八號達海軍退隱令ニ據リ給與相成候扶助料及ヒ退隱料ハ自今毎年一月四月七月十月ニ前三ヶ月分ノ金額交付候條該料金拜受者ヘ可相達此旨相達候事
 但年額ヲ四分シ端數ヲ生スルハ四捨五入法ニ據リ厘位ニ止ム

● 諸届

○明治十五年十一月二十八日甲第百六十二號
 陸軍恩給又ハ扶助料ヲ受ケタル者氏名ヲ改メシ時ハ本籍戶長ノ認印セシ届書ニ恩給登錄寫帖ヲ副ヘ其金員ヲ受領スヘキ府縣廳ニ出シ府縣廳ニ於テハ登錄寫帖ノ裏面ヘ其氏名並年月

日ヲ記載シ長官署名捺印シテ之ヲ本人ニ下付スヘキ旨太政官ヨリ達相成候條恩給又ハ扶助料ヲ受タル者ハ右ニ照準其時々届出ヘシ此旨布達候事

○明治十六年六月十四日乙第七十六號 郡 町 村

陸軍恩給令並海軍退隱令ニ據リ恩給ヲ有スル者及其扶助料ヲ有スル寡婦孤兒罪ヲ犯シ公權剝奪若クハ停止ノ處分ヲ受ケタル者アルハ宣告書寫相添速ニ可届出此旨相達候事

但恩給令發令前^{明治九年十月前}陸軍武官傷痍扶助及ヒ死亡ノ者其家族扶助等ヲ受クルモノモ本文全樣可相心得事

○明治十八年九月二十五日乙第二百二十七號 郡役所 戶長役場

陸海軍恩給令ニ依リ恩給ヲ受クル者賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルトキハ同令第六條第一項ニ準シ扶助料ヲ受クル者全上ノトキハ同令^{陸軍ハ第二十八條 海軍ハ第二十九條}ニ準スヘキ義ニ候條其旨相心得戶長ハ受恩典者ヘモ豫テ申聞置ヘク且右處分ヲ受ケタル者アルハ明治十六年六月乙第七十六號達ニ準シ可届出此旨相達候事

但明治十八年四月第四十八號公達陸軍武官傷痍扶助死亡ノ者祭柩家族扶助概則及全年八月

第四百四十八號公達海軍退隱令ニ據リ扶助料若クハ退隱料ヲ受クル者モ本文ニ準ス

○明治十八年九月二十五日乙第二百二十八號 郡役所 戶長役場

本縣下在籍者ニシテ陸海軍恩給令及陸軍武官傷痍扶助概則並海軍退隱令若クハ官吏恩給令ニ依リ他ノ寄留地管廳ニ於テ恩給又ハ退隱料若クハ扶助料ヲ受ル者其受領ノ權利消絶^{死亡}

クニ至リ又ハ轉籍及改姓名等ノ如キ本人ニ異動ヲ生スルトキハ其旨直ニ戶長ヨリ當廳ヘ届出ヘシ此旨相達候事

○明治二十年十一月七日訓令第二百三十一號 郡役所 戶長役場

海軍恩給令ニ據リ恩給並扶助料出願中本人族籍變換若クハ改氏名等異動ヲ生スルトキハ其旨戶長ヨリ郡長ヲ經テ速ニ當廳ヘ届出ヘシ

七 雜

○明治十三年十月二十日郡乙第八十六號 郡役所
 下士以下兵卒歸省或ハ歸省中本人病ニ罹リ歸營延期ヲ願フモノ、願書ハ郡役所事務手續書
 第二條第二十二項ニヨリ證印ノ上面ニ鎖臺或ハ營所ヘ回送可致答ニ候處今般大坂兩鎖臺ヨ
 リ照會之趣モ有之候ニ付自今兩鎖臺ニ係ル分ハ證印ノ上面ニ本人所屬ノ本隊ヘ回送可致義
 不可相心得此旨相達候事

○明治十六年五月十五日乙第六十二號 郡 町 村
 軍人軍屬旅行^{休職歸郷及豫備軍召集等}中病氣其他事故ニテ旅費缺乏困難之者有之ハ其事實確實ナル
 者ハ一般旅行病人同様遞送可致旨客年^{二月}本縣乙第十五號ヲ以相達置候趣モ有之候處一般行
 旅病人取扱規則廢止セラレ候ニ付右達取消候條自今一切遞送相成ラス尤重症饑餓等ニ迫リ
 目下柵キ難キ者ニ限り適宜救護ヲ加ヘ該費用ハ在營ノ者ハ本人所轄鎖臺或ハ營所ニ於テ取
 立返戻豫備軍籍ノモノハ本人或ハ身元ヨリ辨償致サスヘク答ニ付速ニ其事由當廳ヘ可申出
 此旨相達候事
 但滿役除隊ノ節尙償還未濟ノ分ハ其所管ニ於テ取立不相成本人又ハ身元ヨリ辨償セムシ
 ムキ儀ニ候事

○明治十六年十月二十六日郡乙第九十七號 郡役所
 教導團各兵科生徒卒業期ニ抵リ入團以來卒業任官ニ至ル迄定科修學中各自學術勉勵ノ厚薄

品行方正ノ優劣病罰ノ有無得點ノ列叙等取調大試験者科表該團ニ於テ編纂相成別冊今度當廳へ回送有之候處右ハ其父兄等ニモ告示スルハ大ニ獎勵ノ一端トモ相成且將來生徒召募上ニ於テモ都合ニ可相成ニ付便宜ニヨリ生徒ノ父兄等へ熟見可爲致此旨相達候事
但向後卒業ノ都度考科表回送可有之筈ニ付其都度配付候條本文全様可相心得事
(別冊) (一時限リノモノニ付略之)

○明治十七年二月廿三日乙第二十四號 郡 町村

今般海軍省軍務局廢セラレ候ニ付同省達及指令其他諸規則ニ依リ同局へ届出又ハ差出スヘキモノ自今同省へ差出スヘキ儀ト可相心得此旨相達候事

○明治十八年三月廿一日乙第四十六號 郡 町村

海軍々法會議ニ於テ刑ノ宣告アリタルルハ其宣告書寫ヲ以テ主理ヨリ受刑者本籍ノ戸長へ通牒候處自今郡區長へ通牒ノ事ニ相改候趣ニ候條其都度郡役所ヨリ戸長へ告知スヘシ此旨相達候事

○明治十八年四月十八日乙第六十三號 郡 町村

參謀本部測量局ニ於テ全國ニ三角測量網ヲ擴張シ其三角點ノ位置ヲ確定シ永久保存ノ爲メ追々標石建設相成候ニ付右建設地ノ民有ニ係ル分ハ出張官員ヨリ直ニ地籍主へ協議シ尙所管郡役所等へ差支ノ有無ヲ照會候趣ニ付右相心得其節不都合無之様各地主へ豫テ達方可取計且該標石ノ義ハ經濟度ニ應スル地表面ノ位置并ニ其地ノ高低ヲ確定スル測量上最重要ノ

點ニ付障害ノ所爲無之様人民へ諭示可致此旨相達候事

○明治十八年七月四日乙第九十八號 郡役所 戸長役場

軍馬輸送ノ途中發病等ノ節ハ左ノ各項ニヨリ取扱ヘシ此旨相達候事

第一項 軍馬輸送ノ途中ニ於テ馬匹疾病若クハ傷痕ヲ生シ歩行ニ堪ヘ難クシテ其取締ヨリ

治療日數ヲ豫定シ其地戸長戸長アラサル地ハ區長以下候之ニ預ケ方ヲ協議スルトキハ戸長ハ之ヲ確實ナル

者ニ預ケ豫定期日ニ至レハ(期日)内ト雖トモ全快スルトキハ直ニ出發セシム(馬夫)馬夫ヲ雇ヒ

直ニ鎖臺ニ送致セシムルコトヲ保シ取締ニ左式ノ受書ヲ出ス可シ

但馬匹預ケ中ハ飼料並ニ手當トシテ一日金三拾五錢以內ヲ給シ其出發後ハ馬匹旅籠料

金三拾錢雜費金九錢其他馬夫給料及ヒ旅費トシテ一日金七拾錢以內里程六里乃至八里詰トスヲ以テ

鎖台到着ノ日迄之ヲ給シ歸路ハ別ニ給スルコトナシ

受書式

軍馬預リ受書

- 一 馬名
- 一 寸尺
- 一 毛色
- 一 年齢

右何症ニ罹リ當町(村)ニ於テ何週間治療ヲ加ヘ全快ノ見込ニ依リ御預ケ相成候ニ付テ

ハ快氣ノ上何鎮台ニ差立方取計可申右相違無之候也

府(縣)郡(區)町(村)戸長戸長アラフ
ル地ハ區長

年號月日

姓 名 印

何 鎮 臺

官 姓 名 殿

第二項 前條ノ馬匹豫定期日ニ至リ尙ホ步行ニ堪ヘ難キトキハ戸長ハ更ニ治療期日ヲ豫定シ獸醫ノ診斷書ヲ添ヘ其旨鎮臺ニ申出可シ又出發後途中ニ於テ再ヒ發病步行シ難キトキハ馬夫ヨリ其地戸長ニ申出シメ其地戸長ハ速ニ獸醫ヲシテ治療ヲ加ヘシメ其旨電報ヲ以テ鎮臺ニ申出指揮ヲ受ク可シ

但其治療滞在中ハ馬匹旅籠料及ヒ雜費ノ外尙ホ馬夫給料手當トシテ一日金四拾錢ヲ給ス可シ

第三項 馬匹ノ病症到底廢疾ニ歸ス可キ者ト獸醫診斷シ確實ナルトキハ取締出發後ハ其地戸長ヨリ電報ヲ以テ之ヲ鎮臺ニ具申シ賣却又ハ撲殺ノ處分ヲ請フ可シ若シ急症ニシテ斃死セシトキハ獸醫ヲシテ其病因ヲ診斷セシメ賣却又ハ埋没シ其事由ヲ鎮臺ニ具申ス可シ但斃死セシ馬匹ハ成ル可ク之ヲ賣却シ其代價ニ獸醫ノ診斷書ヲ添ヘ上納ス可シ若シ傳染病ニテ賣却ス可カラサル者又ハ其他ノ事故ニテ買取者ナキトキハ一頭ニ付金三圓以内ヲ以テ埋没又ハ燒棄ス可シ

第四項 病馬ノ診察料藥價並ニ馬匹預ケ中及ヒ出發後ノ費用ハ其治療ノ日數ト旅行ノ里程ニ應シ取締ヨリ豫シメ之ヲ其地戸長ニ交付スルヲ以テ戸長ハ後日決算ヲ爲シ之ニ現證書ヲ添ヘ鎮臺ニ送呈シ其費用ニ關スル證書類ニハ總テ戸長之ニ檢印ス可シ又取締等途中ニ於テ已ムヲ得サル事故ヲ生シ軍馬宿泊指定表ノ通通行スル能ハス爲メニ戸長ノ證印ヲ請フトキハ戸長ハ事實取亂ノ上該表ノ裏面ニ其事由ヲ記シ之ニ檢印ス可シ

○明治二十年一月二十八日訓令第拾六號 郡役所 戸長役場
常備歸休兵豫備役後備軍驅員兵員召集及教導團生徒旅費概則左ノ通定メラル

但明治十二年^{十月}乙第二百拾五號達及全十四年^{九月}乙第六十二號達ハ廢止ス

第一條 教導團ニ入學及常備歸休兵豫備役後備軍驅員兵員召集旅費十里詰金四拾錢滞在日當金貳拾八錢ヲ給スヘシ但十里以上ノ端里數一里以上六里未滿ハ日當ノ半額六里以上ハ全額ヲ給ス

第二條 近方三里未滿ハ給セス三里以上六里未滿ハ半額ヲ給シ六里以上ハ全額ヲ給ス但三里未滿ト雖^モ一泊セシムルトキハ金貳拾錢三里以上六里未滿一泊セシムルトキハ金四拾錢ヲ給シ又召集地ニ到着翌日午後ニ至リ入營セシムルトキハ別ニ晝食料金八錢ヲ給ス

○明治二十年八月五日訓令第百九十壹號 郡役所

陸軍各兵科現役士官候補生及陸軍幼年學校生徒召募之節出願者有之^ルハ陸軍各兵科現役士官補充條例第七條並ニ陸軍幼年學校生徒召募條例第四條ノ身分財產等ノ證明書ハ可成詳細

ヲ悉スヲ要スヘキニ付別紙規準並ニ書式ニ據リ精密取調其時々差出スヘシ(明治二十二年十月訓令第二百二號ヲ以更正)

(別紙)

身分、財産、教育、性質、及品行證明書調製規準

- 一 身分、財産、教育、性質、及品行證明書ハ左ノ項目ニ據リ別紙書式ニ準シ調製スヘシ
- 二 身分ハ戸長ノ證明書ニ據リ父^{問ハス}並ニ現時戸主ノ身分履歴ヲ記載シ然ル後本人ノ身分ヲ記載ス
- 三 財産ハ戸長ノ證明書ニ據リ父並ニ現時ノ戸主及本人ノ財産ヲ記載ス若シ父或ハ戸主ノ財産ト本人ノ財産ト合併セル者ハ併セ記スヘシ
- 四 教育ハ本人ノ届出ト其教授セシ教師ノ證明書ニ據テ記載シ且卒業證書アル者ハ其寫ヲ添フヘシ
- 五 性質ハ父(母)(祖父母)(兄弟)等並ニ戸長及ヒ教育ヲ受ケシ教師ノ證明書ニ據テ記載スヘシ
- 六 品行ハ裁判所或ハ警察署ノ證明書等ニ據リ其父^{問ハス}並ニ現時戸主ノ素行ヲ記載シ然ル後本人ノ素行ヲ記載ス
- 七 寄留人ニテ之レカ身分證明ヲ爲シ得サルキハ本籍^{管内ニ限ル}郡長ニ照會シテ爲スヘシト雖モ他府縣下ニ係ルモノハ其旨上申スヘシ

書式

身分、財産、教育、性質、及品行證明書

一 身分

○ 父

- 一 何府(縣)何族(平民)舊何藩何族(平民)何某現今(元)何省(府)(縣)等何官奏任(判任)何等
- 一 陸軍何官何某何ノ何年何々出征(征討)ノ役何月何日何處ニ於テ戰死(負傷現今退職)等
- 一 現今(元)第何國立銀行頭取(何會社々長)(何會社役人)(農)(工)(商)等
- 一 右以外官職等ノ任免營業等ノ履歴詳細ヲ記スヘシ

○ 現時ノ戸主

一 父ノ項ニ準スヘシ

○ 本人

但母(祖父母)(兄弟)等タルコトヲ記載スヘシ

○ 本人

一 何府(縣)何族(平民)何學校生徒(何營業)(何省何官)等

二 財産

○ 父

一 動産不動産ノ所有高
 一 何々ノ所得税金何圓ヲ納ム
 一 動産不動産ヲ所有セサルモ家計困難ナシ(僅ニ家計ヲ維持ス)
 一 家計困難(稍困難ナリ)(甚シク困難ス)
 財産ノ所有高或ハ生計上ノ現状ヲ詳細記載スヘシ

○現時ノ戸主
 一 父ノ項ニ準スヘシ
 但母(祖母父)(兄姉)等タルヲ記載スヘシ

○本人
 一 父ノ項ニ準スヘシ

○父本人(現時ノ戸主本人) 此書式ハ父或ハ現時ノ戸主ト本
 人トノ財産合併セル者ニ適用ス
 一 父ノ項ニ準スヘシ

三 教育
 一 何年何月何歳ニシテ何府(縣)何郡(區)何小學ニ入り何年何月何歳ニシテ尋常小學全科卒業
 一 何年何月何歳ニシテ何々高等小學ニ入り何年何月何歳ニシテ高等小學全科卒業
 一 何年何月何歳ニシテ尋常中學ニ入り何年何月何歳ニシテ尋常中學全科卒業

一 何年何月何歳ニシテ何年何月ヨリ何年何月マテ何學校(塾)ニ入り教師某ニ就キ何學
 マテ學ブ
 但學科精細ノ科目又ハ修學セシ書名等ヲ記載スヘシ

一 何年何月ヨリ何年何月マテ何學研究ノ爲メ何國外國ヲニ在留

四 性質
 一 温良(敏捷)等

五 品行
 ○父
 一 裁判所或ハ警察署ノ證明書
(身代限リノ處分ヲ受ケシコナシ、輕罪以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ、賭博犯ノ
 處分ヲ受ケタルコトナシ)
 一 違警罪又ハ懲戒等ニ依リ罰セラレタルモノ、類

○現時ノ戸主
 一 父ノ項ニ準スヘシ
 但母(祖父母)(兄姉)等タルヲ記載スヘシ

○本人
 一 父ノ項ニ準スヘシ

右之通相違無之候也

年號月日

何郡長

姓

名印

○明治二十年十一月十四日訓令第二百三十四號 郡役所 戸長役場
 他府縣ノ者ニシテ縣下寄留中陸軍現役士官候補生並陸軍幼年學校生徒志願候者ハ本年八月訓令第九十一號證明書中身分全戸寄留ノ者ハ父及現時戸主ノ分トモ及本人ノ教育ヲ詳細ニ本籍戸長へ届出サスヘシ

○明治二十年八月一日告示第百貳拾七號

海軍省令ヲ發セラレタルルハ其發布前ニ發セラレタル省令其他諸令達ニシテ之ニ抵觸スルモノ總テ廢棄ト心得ヘシ

○明治二十一年五月二十八日告示第五十四號

松江大隊區内本縣下監視區ノ位置並ニ所轄區域左ノ通相定候旨第五師團長ヨリ通牒アリタリ
 但監視區開設ノ時日ハ追テ告示ス

監視區位置	所轄	郡	名
松江	周吉 能義 仁多	海士 大原	知夫 飯石 島根 出雲 意宇 秋鹿 神門

濱 田 安濃 通摩 邑智 那賀 美濃 鹿足

○明治二十一年六月二日訓令第八十八號 隱岐島廳 郡役所 戸長役場

海軍歸休兵及豫備兵後備兵ノ結婚願書ハ直ニ鎮守府司令長官ニ差出サシムヘシ

○明治二十一年六月十五日訓令第九十三號 隱岐島廳 郡役所 戸長役場

徵兵令ニ依リ徵集シタル海軍現役兵滿期歸郷シタルトキハ其日ヨリ三日以内ニ戸長ニ届出テシメ戸長ハ之ヲ島司又ハ郡長ニ届出テ島司郡長ハ其旨當廳へ報告スヘシ

○明治二十一年七月三日訓令第百一十一號 島廳 郡役所 戸長役場

本年勅令第十七號陸軍各兵科現役下士補充條例第八條ニ據リ現役免除ヲ願フ者其事故父兄ノ死亡處刑若クハ失踪等ハ戸長ノ證明書發疾不具等ハ醫師ノ診斷書ヲ其親族ヨリ本人エ送付セシムヘシ

○明治二十二年十月十二日縣令第百十七號

新兵豫備徵員及豫備及後備兵役ノ者願届書ハ自今凡テ市長及戸長町村長へ差出シ戸長ハ島司町村長ハ郡長へ送達シ島司郡市長ハ之ヲ監視區長へ送付スヘシ

但監視區長ヨリ各兵員へ達スヘキモノニアリテモ本文ノ手續ニ準シ取扱フモノトス

○明治二十二年十二月二十六日縣令第百三十八號

明治二十二年六月海軍省令第三號第十二條ニ據リ差出ス届書ハ島廳郡市役所戸長役場町村役場ヲ經由スヘシ

參照

徵叢ノ項明治十九年九月訓令第二十九號參照

○明治十九年三月二十六日甲第四十二號

町村ノ總稱アルモノハ其町村名ノ上ニ總稱ヲ冠スヘシ

但其總稱及總稱ヲ冠スヘキ町村左ノ如シ

右布達候事

出雲國

島根郡

殿	町	母母町	米子町	南田町	北田町	北堀町	石橋町
奥谷	町	内中原町	外中原町	中原町	末次町	苧町	片原町
西茶	町	東茶町	本町	紙屋町	元材木町	魚町	新材木町
鍛冶	町						

意字郡(同郡大根島ハ畧ス)

松江	本	町	八軒屋町	和田見町	寺町	天神町	魚町	灘町
堅	町	横濱町	新町	山雜賀町				

能義郡

廣瀬	廣瀬町	新冠町	上町	下町	中町	鍛冶町	新市町
----	-----	-----	----	----	----	-----	-----

第二類 第二節 參照

下組町 萱町

石見國

那賀郡

濱田新町 緋屋町 蛭子町 門ヶ辻町 檜物屋町 辻 町原 町

鹿足郡

津和野(森)村 鷺原村 中座村 町田村 後田村

隱岐國

周吉郡

西郷(西)町 中町東町

第三章

一 縣立學校 諸學校

●尋常師範學校規則

○明治十九年十二月一日縣令第五十號

島根縣尋常師範學校規則別冊ノ通相定ム

(別冊)

島根縣尋常師範學校規則

第一章 總則

第一條 本校ハ明治十九年^四勅令第十三號師範學校令ノ旨趣ニ遵ヒ本縣小學校ノ教員タル

ヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條 本校生徒ハ男女ノ二部ニ分チ其學科程度修業年限學年學級授業時間配當等ハ

十九年^五文部省令第九號ニ依ル

但毎日授業時數ハ土曜日ヲ四時トシ其他ハ總テ六時トス

第三條 學年ハ九月一日ニ始マリ翌年七月十五日ニ終ル又一學年ヲ二學期ニ分チ九月一日

ヨリ翌年二月十五日ニ至ル迄ヲ第一學期トシ二月十六日ヨリ七月十五日ニ至ル迄ヲ第二學期トス

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

第四條 休業日左ノ如シ

- 一日曜日
 - 一秋季皇靈祭
 - 一神嘗祭
 - 一天長節
 - 一新嘗祭
 - 一冬期休業
 - 一孝明天皇祭
 - 一紀元節
 - 一春季皇靈祭
 - 一神武天皇祭
 - 一夏期休業
- 秋分日
- 十月十七日
 - 十一月三日
 - 十一月廿三日
 - 自十二月二十五日
 - 至一月七日
 - 一月三十日
 - 二月十一日
 - 春分日
 - 四月三日
 - 自七月十六日
 - 至八月三十一日

第二章 教則

第五條 教旨及教程左ノ如シ

倫理

一人倫道德ノ要旨ヲ授ケ徳性ヲ涵養ス

一修身ノ最モ貴重スヘキ所以ヲ教誨シ常ニ躬行實踐ヲ主トシ他日人ノ師表タルノ資格ヲ具ヘシメンコトヲ期ス

教程

每週一時

内外古今聖賢ノ言行ニヨリ人倫道德ノ要旨ヲ授ケ處世接物ノ理ヲ知ラシム

作法

每週一時

前年程ノ續

第三年程

每週一時

前年程ノ續ヲ授ケ兼テ生徒ヲシテ修身講談ヲナサシム

第四年程

隔月每週一時

前年程ノ續

教育學

教旨

- 一人ノ諸能力及之ヲ發達養成スル目的方便ヲ學知セシム
- 一教育的教授ノ普通ノ原則及小學校各教科ノ教授法ニ通セシム
- 一小學教科書及教授法ノ書ニ通セシム

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

- 一 小學發達ノ沿革ハ勿論凡テ教育學史中ノ要件ヲ學知セシム
- 一 本邦小學ニ關スル法令規則ヲ學知セシム
- 一 教授ノ專擔及校務ノ主治ニ熟練セシム

教授

第二二二程

每週二時

教育學汎論

教育學ノ緒論教育ノ目的教育ノ方便教育ノ原則教育ノ方法ヲ授ク

必要ナル心理學上ノ事項ハ之ニ關係スル教育學ノ部分ヲ教授スル前ニ於テ理解セシム

第三三三程

每週八時

教育學汎論(前半年每週五時)

前年程ノ續並ニ學校ノ設置編成管理ノ方法ヲ授ク

教授學汎論(前半年每週三時)

先ツ教育學ノ緒論中ニ於テ論理學上ノ理解シ易キ事項ヲ近易ナル例ニ就テ教授シ次ニ教授ノ方法形式及方便並ニ教育的教授ノ原則ヲ授ク

教授學各論(後半年每週六時)

現行ノ教科書ヲ用キ且適當ナル教具ト小學教授法上ノ書トヲ指示シ小學各教科ノ教

授法ヲ授ク

就觀(後半年每週二時)

生徒ヲシテ後半年間附屬小學校ニ就觀セシム其就觀ハ最下級ニ始メ漸次各級ニ及ボ

シ成ルヘク本年程ノ全生徒ヲシテ同時ニ就觀セシメ且各生徒ヲシテ每就觀ノ形況ヲ簡單ニ叙録セシメ之ヲ基本トシ就觀評議會ヲ開クヘシ

就觀評議會(後半年每週一回)

此會ハ教頭之ヲ督理シ教育學教授法ノ教員及關係アル附屬小學校教員モ亦此會員タルヘキモノトス

但就觀生徒ハ教授ノ補助ニ充ツルコトヲ得

第四四四程

甲月每週四時
乙月每週二十八時

教育史(甲月每週四時)

教育學及教授學ノ曆史即チ顯著ナル人物重要ナル年紀小學改良上ノ重要ナル成績ヲ學知セシムヘシ但緊要ナル教育學上ノ書ヲ指示シ又本邦小學發達ノ沿革ニ特ニ注意スルヲ要ス

實地練習(乙月每週二十八時)

實地練習ハ左ノ諸法ニ依ルモノトス

預備評議會(乙月每週一回)

此會ニ於テハ教頭之カ會頭トナリ教育學教授法ノ教員及附屬小學校教員亦之カ會員トナリ次週ニ於テ施行スヘキ教授試習ノ方按テ確定スルモノトス

教授試習(乙月每週二十八時)
生徒ヲシテ教授試習ヲ做サシムルニハ之ヲ數組ニ分チ且附屬小學校教員之ヲ督理スヘキモノトス而シテ該教員ハ教授試習ノ終毎ニ生徒ニ對シテ批評及相當ノ示諭ヲナスヘキモノトス

追跡評議會(乙月每週一回)

此會ハ教頭之ヲ督理シ教育學教授法ノ教員及附屬小學校ノ教員又之カ會員トナリ生徒ヲシテ學校教育及學校管理ヲ實地ニ了得レ且ツ教員タルモノ、義務ヲ知ラシメンカ爲メ前週間ニ生シタル重要ナル事項ニ就テ談話ヲナスヲ以テ本旨トス

國語

- 一發音ヲ正シクシ言詞ノ用格ヲ學知セシメ文意ノ解釋ニ適セシム
- 一雄馴ノ文章ニ依リ其例格ヲ考究シ文法ヲ學知セシメ兼テ文學中沿革ノ要略ニ通セシメ本邦文學ノ梗概ヲ了解セシム
- 一言語及筆述ニ熟セシム但實用ニ適セシメンコトヲ期ス

教程

第一年程

每週三時

讀書文法

適當ノ讀本ニ依リ讀方ノ練習ヲナシ文字ノ音訓句讀ノ斷讀句意章意ヲ解釋セシメ及文法文學ノ要略ヲ授ケ又談話ノ演習ヲナサシム

作文

文題ヲ與ヘ今休ニテ日用文記事文論說文ヲ作ラシム(毎月兼題二即題一)

第二年程

每週一時

前年程ノ續

漢文

教旨

- 一文字ノ音訓句讀字ノ斷續及義章意ヲ學知セシム
- 一雅馴ノ文章ヲ撰ヒ其例格ヲ講究シ文法ヲ學知セシメ兼テ文學中沿革ノ要略ニ通セシメ支那文學ノ梗概ヲ了解セシメンコトヲ期ス

教程

第二年程

每週二時

適當ノ讀本ニ依リ文字ノ音訓句讀ノ斷續句意章意ヲ教授ス

第三年程

每週二時

前年程ニ接続シ唐宋ノ雅馴ノ文章ニ依リ文法ヲ教授シ兼テ文學ノ要畧ヲ教授ス
第四年程
隔月毎週二時
前年程ノ續

英語
教旨

一發音讀方ヲ正シクシ意義ノ解釋並ニ文法上ノ法則ヲ學知セシメ簡易ナル文章ヲ翻譯ス
コトニ達セシム

一談話筆述ヲ練習セシム
教程

第一年程

毎週五時

綴學
讀法

適當ノ讀本ニ依リ發音ヲ正確ニシ音聲ノ柳揚句讀ノ斷續ニ明瞭ナラシメ及其意義ヲ
了解セシメ兼テ書取ヲナサシム

文法

讀法ニ付シテ言詞ノ種類及其變化ノ初歩ヲ授ク
習字

第二年程

毎週四時

讀法

前年程ニ接続シ兼テ簡單ナル談話ヲ練習セシム

文法

前年程ニ接続シ兼テ簡單ナル筆述ヲ練習セシム

習字

第三年程

毎週三時

讀法

前年程ノ續

文法

前年程ニ接続シ文章論ヲ授ク

翻譯

英文ヲ邦語ニ翻譯スルコトヲ練習セシム

第四年程

隔月毎週三時

讀法

前年程ノ續

文法

前年程ノ續

翻譯

前年程ノ續

數學

教旨

一普通算術ノ定則及民其間日常ノ事項ニ就テノ應用ニ通セシメ兼テ暗算ニ熟セシム
一代數及幾何ニ通セシム

教程

第一年程

每週四時

珠算(每週一時)

加減乘除四則雜題ヲ授テ兼テ速算ヲ練習セシム

筆算(每週三時)

命位記數四則分數小數比例利息算自乘法開平開立求積法ヲ授ク
暗算ノ練習

第二年程

每週三時

代數(每週二時)

釋義記法符號四則分數一次方程式自乘法求根法ヲ授ク

幾何

定義公理直線直線形ヲ授ク

第三年程

每週三時

代數(每週一時)

指數法二次方程式比例ヲ授ク

幾何(每週二時)

圓積比例平面立体角ヲ授ク

簿記

教旨

一資賦出納ニ關スル記載算定ノ法ヲ學知セシム

教程

第四年程

隔月每週二時

單記式ノ法則諸帳簿ノ記入式試算表正算表ノ製式ヲ授ク

複記式ノ法則勘定ノ主意帳簿ノ編成用法及其記入式試算表正算表ノ製式ヲ授ク

帳簿ノ記入ニ熟練セシムルコトニ注意スヘシ

地理

教旨

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

- 一地球儀地面及地文學ノ要理ニ通セシム
- 一地球表面上自然ノ區分及政治上ノ區分ヲ學知セシム
- 一本邦ノ地誌ヲ可成的詳細ニ學知セシム
- 一地理上ニ關スル總テノ比較及製圖ヲ練習セシム

教程

第一年程

每週二時

地球儀及其經緯線地球面表水陸ノ配當大陸及大洋ノ境界大小本邦地誌及外國地誌ヲ授ク

製圖ノ練習

第二年程

每週一時

外國地誌ヲ授ク

製圖ノ練習

第三年程

每週一時

地文

地球ノ全体地球上諸現象生物分配ノ大意ヲ授ク

地球上及歷史上相互ノ連絡ハ各學年ヲ通シテ之ニ注意スヘシ

歷史

教旨

一普通歷史ト重要ナル事項並ニ開化史上ノ事實ノ概畧特ニ本邦ニ係ル事項ハ可成的詳細ニ學知セシム

教程

第一年程

每週一時

本邦歷史ノ要略特ニ建國ノ体制聖主ノ治績忠良賢哲ノ事蹟世態沿革ノ要畧ヲ授ク

第二年程

每週二時

前年程ノ續及外國史ノ要略ヲ授ク

第三年程

每週二時

外國史ノ要略ヲ授ク

歷史上及地理上相互ノ連絡ハ各學年ヲ通シテ之ニ注意スヘシ故ニ歷史教授ニハ常ニ

地圖ヲ用ウルヲ要ス

博物

教旨

一植物動物礦物界ノ大要ヲ學知セシム

一人体ノ構造及生活ノ作用並ニ其小兒期ニ於テ爾發達ヲ學知セシム

教程

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

第一年程 每週二時

植物ノ總論及其各部分ノ形狀作用生活種類分類法解析法記述法採集法ノ要旨及隱花植物形質ノ概略ヲ授ク

本邦ノ植物ハ可成ノ詳細ニ教授シ特ニ其要用ナル物及有害ナル物ヲ指示ス

第二年程 每週二時

動物ノ總論有脊椎無脊椎中主要ナル諸網ノ論及其解剖ノ初歩ヲ授ク
動物ノ効用及害毒ニ注意セシム

第三年程 每週二時

人体ノ構造生活ノ作用及發育ノ理ヲ授ク兼テ衛生上重要ナル事項ニ注意セシム
礦物ノ總論及其形像理化學上ノ性質燃礦金屬石鑛石類ノ諸論普通礦物鑑識ノ概略ヲ授ク

第四年程 隔月每週三時

前年程ノ續

物理化學

教旨

一實驗ニ基キテ重要ナル理化學上ノ現象及定則ヲ學知セシム
一日常生活上ニ生スル理化學的現象ノ説明ニ確實ナラシム

教程

第一年程 每週二時

物理總論力學物質論音響學ヲ授ク

第二年程 每週二時

數學光學越歷學磁氣學ヲ授ク

第三年程 每週二週

化學總論非金屬金屬中重要ナル諸元素及其化合物ノ製法性質ヲ授ク

農工業上重要ナル有機物ノ性質等ノ要略ヲ授ク

第四年程 隔月每週三時

前年程ノ續

理化學ノ實驗

農業手工

教旨

一農業ハ土ノ成分分類植物ノ成分等及肥料ノ用法家畜ノ選擇保護等ノ要略器具ノ用法ヲ授ケ耕作ノ實業ヲナサシム

一手工ハ木工具金工具ノ種類用法等及工業上ノ理財ノ要略ヲ知ラシム

教程

第一年程	農業每週一時	每週二時
	手工每週一時	
第二年程	農業每週一時	每週二時
	手工每週一時	
第三年程	農業每週一時	每週二時
	手工每週一時	
第四年程	農業每週三時	隔月每週六時
	手工每週三時	
家事		
教旨		
一家政ニ必須ナル要項及手藝ノ要領ヲ學知セシム		
教程		
第一年程		每週五時

家政每週二時	衣服取扱食物ノ調理住所ノ洒掃等女子ノ必備スヘキ要項ヲ授ク
裁縫每週三時	
第二年程	每週五時
家政每週二時	前年程ニ接續シ室内衛生法病者ノ看護金錢ノ出納奴婢ノ取扱法ヲ授ク
裁縫每週三時	
第三年程	每週四時
家政每週二時	年程ニ接續シ兒童ノ保護及養育法ヲ授ク
裁縫每週二時	
第四年程	隔月每週五時
女子ニ必要ナル手藝ノ概畧ヲ知ラシム	
裁縫	
習字圖畫	
教旨	
一習字ハ姿勢執筆運筆ノ法ヲ知ラシメ字形鮮明驛筆快擬ナラシム	

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

付塗板上書方ヲ練習セシム
一 圖畫ハ自在畫及用器畫ニ通セシメ眼及手ヲ練セシム
付塗板上圖畫ヲ練習セシム
教程

第一年程

每週四時

習字每週二時

楷行草

自在畫每週二時

臨畫實物摸寫

第二年程

每週四時

習字每週二時

前年程ニ接續シ細字速寫及塗板上書方ヲ練習セシム

自在畫每週一時

前年程ニ接續シ塗板上圖畫ヲ練習セシム

用器畫每週一時

器械用法幾何畫法ヲ授ク

第二年程

每週一時

自在畫每週一時

前年程ノ續

用器畫每週一時

射景法ヲ授ク

第四年程

隔月每週二時

自在畫隔月每週一時

前年程ノ續

用器畫隔月每週一時

透視法ヲ授ク

音樂

教旨

一小學校ノ唱歌教授ヲ爲スニ適當ナル技能ヲ得セシム

一音ノ養成ト發達トニ適スル練習ヲナサシム

前程

第一年程

每週二時

唱歌豫教記譜單音唱歌移調法ヲ授ク

第二年程

每週二時

單音唱歌移調法音程練習柏節法樂器用法ヲ授ク

第三年程

每週男一時
女二時

單音唱歌複音唱歌和聲大意輪唱法樂器用法ヲ授ク

第四年程

隔月每週男二時
女六時

三重音唱歌樂器用法(女子ニ限ル)ヲ授ク

体操

教旨

一普通体操ヲ練習セシメ身体諸部ノ發達ヲ平等ニシ健康ヲ保全セシメ兼テ小學校ニ適スル諸運動術ニ通セム

一男生徒ハ特ニ兵式体操ヲ練習セシメ順良信愛威重ノ習慣ヲ得セシメ以テ氣質鍛練ノ資トス

教程

第男年程

男六時
女三時

普通体操每週男二時
女三時

準備法矯正術徒手運動及亞鈴棍棒球竿等ノ諸運動及戶外遊戲ヲナサシム

兵式体操男每週四時

生兵學中隊學ヲ授ク

第二年程

每週男六時
女三時

普通体操男二時
女三時

前年程ノ續

兵式体操男四時

前年程ノ續及行軍演習ヲナサシム

第三年程

每週男六時
女三時

普通体操男二時
女三時

前年程ノ續

兵式体操男四時

前年程ノ續及兵學大意測圖ヲ授ク

第四年程

每週男六時
女三時

普通体操男二時
女三時

前年程ノ續

兵式体操男四時

前年程ノ續

島根縣尋常師範學校課程一覽表

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

博物	地理 歷史	簿記	數學	英語
二植物	三 總論 本邦地誌 外國地誌製圖 本邦歷史ノ要畧		四 珠算 筆算	五 讀法 書法 習文 字法
二動物	三 外國地誌製圖 本邦歷史外國 歷史ノ要畧		三 代數 幾何	四 談話法 文法 習作 字法
二 人身生理 瘡物	三 地文 外國歷史ノ要畧		三 全上	三 文法 翻譯 讀法
三全上		二 複記式 單記式		三全上
地				

二百四十五

漢文	國語	教育學	倫理	時間	教授	每週
	三 讀法 文法 作文		一 人倫道德ノ要旨 作法			第一 年
二 讀法	一 全上	二 教育學汎論	一 全上	時間	教授	每週
二 文法 文學ノ要畧		八 教育學汎論 教育學汎論 就觀	一 全上	時間	教授	每週
二 全上		四 教育學各論 教育史	一 全上	時間	教授	隔月
實						

二百四十四

物理	化學	農業	家事	習字	圖書
二	二	二	五	楷行草	四
物理總論力學 物質	論音響學		家政 裁逢	楷行草	自在畫
二	二	二	五全上	楷行草及細字速 寫塗板上圖書ノ 四練習 自在畫及塗板上 圖書練習用器畫	
熟學光學越歷學 磁氣學					
二	二	二	四全上	自在畫	川器畫
化學總論非金屬 金屬中重要ノ諸 元素及化合物製 法性質					
三理化實驗		六	五 手藝 裁縫	二全上	
練					

二百四十六

計	體操		音樂
	女	男	
三四	三 普通體操	六 普通體操 兵式體操	二 唱歌豫教 記譜 單音唱歌 移調法
三四	三全上	六全上	單音唱歌 移調法 二音程練習 柏節法 樂器用法
三四	三全上	六全上	男單音唱歌 一 複音唱歌 和聲大意 輪唱法 二樂器用法
三四	三全上	六全上	男 二三重音唱歌 女 樂器用法
習			

備考 第四年級ハ其學級ヲ二分シ交互輪換シテ其一部ハ學業ヲ修メ他ノ一部ハ實地授業
二就クヘキモノトス

第三章 試問及學業證書規則

第六條 試問ヲ分テ左ノ四種トス
一入學試問

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

二百四十七

生徒募集ノ際之ヲ施行シテ其入學ヲ許否ス

一 臨時試問

一 學期內壹回以上五回以下教員見込ヲ以テ臨時ニ之ヲ施行ス

一 學期試問

第一學期ノ終リニ於テ之ヲ施行シ平素學力ノ進否ヲ檢定ス

一 學年試問

每學年ノ終リニ(第二學期)ニ於テ之ヲ施行シ及第落第ヲ判定ス

第七條 各學科試問ノ定點ヲ一百トシ其得點ヲ以テ優劣ヲ判定ス

第八條 入學試問及臨時試問ノ評點ハ先ツ其各學科ノ評點ヲ定メ之ヲ合算通約シテ總評點トス

第九條 學期試問評點ハ第壹一期內臨時試問各學科ノ評點ト第一學期末試問各學科ノ評點トヲ合算シテ試問ノ度數ニテ除シタルモノヲ以テ學期試問各學科ノ評點トシ更ニ合算通約シテ總評點トナス

第十條 學年試問評點ハ第二學期內臨時試問各學科ノ評點ニ第二學期末試問各學科ノ評點ヲ加ヘ試問ノ度數ニテ除シ之ニ學期試問各學科ノ評點ヲ加ヘ折半シタルモノヲ以テ學年試問各學科ノ評點トシ更ニ之ヲ合算通約シテ總評點トナス

第十一條 入學試問ハ各學科ノ評點三十以上總評點五十以上ヲ以テ及第トシ以下ヲ落第トス

第十二條 學年試問ハ各學科ノ評點五十以上總評點六十以上ヲ以テ及第トス以下ヲ落第トス

第十三條 學年試問ニ於テ落第二回ニ及ブモノハ退學ヲ命ス

第十四條 前條ノ如ク定ムト雖各學科評點ト總評點トヲ比較考察シテ特別ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第十五條 學業証書ヲ分チテ修業証書卒業証書証明狀ノ三種トス

第十六條 修業証書ハ第一號書式ノ証書ニシテ第一年級第二年級第三年級及第ノ者ニ授與ス

第十七條 卒業証書ハ第二號書式ノ証書ニシテ第四年級及第ノ者ニ授與ス

第十八條 証明狀ハ第三號書式ノ証狀ニシテ分チテ二種トス其一ハ病歿其他ノ事故ニ由リ卒業ノ期ニ先チテ退學スルトキ本人ノ願ニ依リ之ヲ授與シ其一ハ陸軍事務條例第十六條但書ニ據リ在學生徒ニ之ヲ授與スルモノトス

第十九條 修業証書々式左ノ如

第一號書式

修業証書

何府縣族籍

尋常師範學科第何年ノ課程ヲ履修ス
年月日

番號

島根縣尋常師範學校

印 校

姓

名

何年何月

第二號書式

卒業証書

校 印

何府縣族籍

姓

名

何年何月

尋常師範學科ヲ卒業ス

年月日

島根縣尋常師範學校長何ノ某

印

第三號書式甲

證明狀

何府縣族籍

姓

名

何年何月

右何事ニ由リ退學差許候處當校ニ於テ尋常師範學科第何年程修業在學中不都合ノ廉無之
依テ之ヲ証明ス

年月日

番號

島根縣尋常師範學校

校 印

第三號書式乙

證明狀

何府縣族籍

姓

名

何年何月

右ハ尋常師範學校第何年修業中ノ生徒ニシテ既ニ幾箇年ノ課程ヲ卒リタル者ナリ依テ之
ヲ証明ス

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

年月日

島根縣尋常師範學校長何ノ某

印

第四章 生徒募集及卒業生徒規則

第二十條 生徒募集ニ關ル手續及定員等ハ明治十九年五月文部省令第十號ニ依ル

第二十一條 生徒卒業後服務ニ關スル規則ハ明治十九年五月文部省令第十一號ニ依ル

第二十二條 卒業生ハ服務年限内其職務上ニ關スル總テノ狀況ヲ每六ヶ月ニ學校長ニ報告スヘク住所姓名等變更アルトキハ其都度本校ニ届出ツヘシ

第五章 舍則

第二十三條 生徒ハ總テ寄宿舍ニ入舍セシメ其管理ノ要旨ヲ定ムルコト左ノ如シ

本校生徒ハ異日人ノ師表ニ立ツヘキ者ナリ故ニ師範學校令第一條但書ノ目的ヲ達セシコトヲ期セサルヘカラス又常ニ其心志ヲ高尚ニシ其言行ヲ方正ニシ喧噪不潔ヲ戒メ眠食勞逸ヲ適度ニシテ精神ヲ養ヒ健康ヲ保ツ等深ク自ラ注意スヘキモノトス共一身ヲ謹守スル能ハサル者ノ如キハ到底本校生徒タルノ資格ニ適合セサル者ト認定スヘシ

第二十四條 成規ノ教授時間ハ勿論本校ヨリ指示セシ時間ハ正當ニ之ヲ確守シ決シテ怠情ノ所爲アルヘカラス疾病等ニ依リ欠課スルトキハ舍監ヲ經テ届出ツヘク其三日以上ニ涉ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第二十五條 止ムテ得サル事故アリテ下宿又ハ婦卿ヲ願フ者ハ證人連印ノ願書ヲ差出スヘシ其自己ノ疾病ニユルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第二十六條 父母ノ急病等止ムテ得サル事故アリテ臨時外出ヲ要スルトキハ其旨ヲ舍監ニ申出テ其指揮ヲ乞フヘシ

第二十七條 放歌吟詩雜戲夜中ノ音讀ヲ禁ス

第二十八條 晨超就寢外出喫食ノ時限其他生徒ノ心得ヘキ諸則ノ如キハ時々ノ告諭又ハ揭示ニテ承知スヘシ

第六章 訓戒規則

第二十九條 生徒ノ訓戒規則トシテ左ノ諸項ヲ設ク

一 教員ノ戒諭

一 校長ノ譴責

一 禁足

但五週間以内

一 放校

一 縣廳ニ具申シ官立公官私立ノ學校ニ於テ入學ヲ許サレサルコト

但謹慎悔悟ノ實績アル者ハ再縣廳ニ具申シ入學ヲ許サルコトアルヘシ

第三十條 前條ニヨリ生徒ヲ罰シタルトキハ之ヲ其父兄若クハ其代任者ニ通知スルモノトス

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

第七章 學資給與規則

第二十一條 生徒ノ學資ハ左ノ五種目ヲ支辨ス

- 一 食物
- 一 被服
- 一 日用品
- 一 脩理及湯浴
- 一 一週間手當

第三十二條 被服ハ左ノ九種トシ一定時期ニ於テ之ヲ給シ若シ所定ノ期限内ニ於テ之ヲ損傷シ更ニ交付スルヲ要スルトキハ其費用ハ本人ヨリ之ヲ徵收ス

- 一 冬衣袴
- 一 夏衣袴
- 一 冬シャツ袴下
- 一 夏シャツ袴下
- 一 以上四種ハ入學ノ初年各ニ組ヲ給シ次年ヨリ各一組ヲ給ス
- 一 外套
- 一 靴
- 一 在學中一枚ヲ給ス

一 册籍

以上二種ハ一箇年各二足ヲ給ス

一 帽子 師ノ字ノ徽章ヲ付ス

在學中二箇ヲ給ス

一 靴下

一箇月二足ヲ給ス

第三十三條 被服ハ毎年十月及五月一日ノ兩處ニ之ヲ付與スルモノトス

第三十四條 日用品ハ左ノ六種トシ時ノ需用ニ應シテ適宜之ヲ支給ス

- 一 墨、墨汁
- 一 半紙、洋紙
- 一 講學用紙等
- 一 筆、ペン、ペン軸、石筆
- 一 鉛筆 常用講學用
- 一 石油
- 一 炭

第三十五條 脩理ハ被服ノ洗濯及靴ノ脩覆トシ湯浴ハ寄宿舍内ニ於テ其場ヲ設ケ

第三十六條 一週間手當ハ毎土曜日に於テ其日在學ノ生徒一人ニ付金拾錢ヲ給ス

第三十七條 給與シタル被服及日用品ハ卒業シテ退學スルモノニ在テハ之ヲ返納セシムル

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

ヲ要セスト雖半途退學ヲ命シタルモノハ其時ノ現在品ヲ悉皆返納セシム

第三十八條 夏期休業中ハ生徒ニ食費及一週間手當ヲ給シ歸郷セシム

第三十九條 發病ノ生徒ニ療養ヲ命シタルトキハ其費用ヲ給ス

第四十條 一週間手當ヲ除クノ他ハ現品若クハ實費ヲ支給スルモノトス

第八章 教員集會規則

第四十一條 教員集會ハ本校ノ教諭及助教諭ヲ以テ編成シ校長之カ會頭タルヘキモノトス
但必用ノ場合ニ於テハ試補及訓導ヲ列席セシムルコトアルヘシ

第四十二條 通常ノ集會ハ毎月一回教授時間外ニ於テ之ヲ開クヘキモノトス

第四十三條 臨時ノ集會ハ校長之ヲ必用トスルカ若クハ教員二名以上ノ建議アルニ際シ之ヲ開クヘキモノトス

第四十四條 教員集會ノ資料タルヘキモノ左ノ如シ

- 一 生徒ノ試験ニ關スル事項
- 一 生徒ノ賞罰ニ關スル事項
- 一 校規教則更正ニ關スル事項
- 一 校長ノ諮問ニ答フル事項
- 一 教授上及訓誡上ノ談話

尋常師範學校生徒薦舉

○明治十九年十二月十三日縣令第五十五號
郡長薦舉島根縣尋常師範學校生徒員數及薦舉方法ヲ定ムルコト左ノ如シ

郡長薦舉尋常師範學校生徒員數及薦舉方法

第一條 郡長ハ毎年尋常師範學校ニ入學セント欲スルモノヲ調査シ其中ニ就キ薦舉スヘシ

第二條 薦學生徒ハ其郡内在籍ノ者ニシテ尋常師範學校生徒募集規則第一條第一項第二項第三項ノ資格ヲ有スルモノタルヘシ(明治二十年六月縣令第七十一號ヲ以テ更正)

第三條 薦學生徒ノ員數ハ左ノ如シ(明治二十二年六月縣令第八十八號ヲ以テ更正)

但時宜ニヨリ増減スルコトアルヘシ

島根郡	四名	島根郡	四名
秋鹿郡	三名	出雲郡	六名
意宇郡	三名	神門郡	三名
松江市	二名	邑知郡	二名
能義郡	二名	美濃郡	二名
飯石郡	二名	隱岐國	二名
通摩郡	三名		
安濃郡	四名		
那賀郡	二名		
鹿足郡	二名		

○明治十九年十二月二十七日訓令第百號 郡役所
元郡撰舉師範生徒ハ本縣令第五十五號郡長薦舉尋常師範學校生徒同一ノ義務ヲ負ハシムル

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

コトヲ得此場合ニ於テ、明治二十年一月限り該生徒姓名ヲ尋常師範學校ニ通知スヘシ
●尋常師範學校卒業生服務細則

○明治二十年三月三十日縣令第四十三號

島根縣尋常師範學校卒業生服務細則左ノ如ク定ム

島根縣尋常師範學校卒業生服務細則

第一條 島根縣尋常師範學校卒業生ニシテ教職從事ノ義務ヲ終クタルトキハ履歷書ヲ副ヘ
其旨當廳及島根縣尋常師範學校ニ届出ヘシ

第二條 服務年限内ニ於テ改姓名若クハ轉居シタルトキハ其旨當廳及島根縣尋常師範學校
ニ届出ヘシ

第三條 服務年限内ニ於テ職務ニ變更ヲ生シタルトキハ其旨島根縣尋常師範學校ニ届出ヘ
シ

第四條 服務年限内ニ於テ病氣ニ因リ辭職セシモノハ其辭職ノ日ヨリ起算シ三十日毎ニ醫
員ノ診斷書ヲ添ヘ病狀ヲ届出ヘシ
又全快ノ節ハ其旨届出ヘシ(明治二十一年二月縣令第二十二號ヲ以追加)

●尋常中學校規則

○明治二十年三月十八日縣令第十五號

島根縣尋常中學校規則別冊ノ如ク定ム

島根縣尋常中學校規則

第一章 設立主旨營業時限及休業日

第一條 本校ハ實業ニ就カント欲シ又ハ高等ノ學校ニ入ラント欲スルモノニ須要ナル教育
ヲ爲ス所トス

第二條 學年ハ九月一日ニ始マリ翌年七月三十一日ニ終ル

第三條 授業時數ハ一日五時間トシ土曜日ヲ三時間トス

第四條 休業定日左ノ如シ

一日曜日

一秋季皇靈祭

秋分日

一神嘗祭

十月十七日

一天長節

十一月三日

一新嘗祭

十一月二十三日

一冬期休業

自十二月二十五日
至一月七日

一孝明天皇祭

一月三十日

一紀元節

二月十一日

一春季皇靈祭

春分日

一神武天皇祭

四月三日

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

一 夏期休業

自七月二十日
至同月三十一日

第二章 教旨 教程

第五條 教旨及教程左ノ如シ

倫理

教旨

- 一 人倫道德ノ要旨ヲ授ケ徳性ヲ涵養セシム
- 一 修身ノ最貴重スヘキ所以ヲ教誨シ之ヲ躬行實踐セシム

教程

第一年程

每週一時

○ 内外古今聖賢ノ言行ニヨリ人倫道德ノ要旨ヲ授ケ處世接物ノ理ヲ知ラシム

第二年程

每週一時

○ 前年程ノ續

第三年程

每週一時

○ 前年程ノ續

第四年程

每週一時

○ 前年程ノ續

第五年程

每週一時

○ 前年程ノ續

國語及漢文

教旨

甲 國語

- 一 發音ヲ正シクシ言詞ノ用格ヲ學知セシメ文意ノ解釋ニ通セシム
- 一 雅則ノ文章ヲ撰ヒ其例格ヲ講究シ文法ヲ學知セシメ兼テ文學中沿革ノ要略ニ通セシメ本邦文學ノ梗概ヲ了解セシム
- 一 口述筆述ニ熟セシム但實用適セシモノヲ期ス

乙 漢文

- 一 文字ノ音訓句讀ノ斷續及字義章意ヲ學知セシム
- 一 雅馴ノ文章ヲ撰ヒ其例格ヲ講究シ文法ヲ學知セシム

教程

第一年程

每週五時

○ 講讀 國語

- 一 漢字交リ文ノ讀本ニ依リ讀方ノ練習ヲナシ文字ノ音訓句讀ノ斷續句意章意ヲ解釋セシメ及文法ノ要略ヲ授ケ又談話ノ演習ヲナサシム

○ 書取

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

漢字交リ文及書牘文ヲ書取ラシム

○作文

漢字交リ文及牘文ヲ作ラシム(毎月兼題三節題一)

第二年程

毎週五時

○講讀

甲 國語 (前半年)

前年程ノ續

乙 漢文 (後半年)

適當ノ讀本ニ依リ文字ノ音訓句讀ノ斷讀句意章意ヲ教授ス

○作文

前年程ノ續

○書取

前年程ノ續

第三年程

毎週五時

○講讀 漢文

前年程ノ續

○作文

前年程ノ續

第四年程

毎週三時

○講讀 漢文

前年程ノ續

○作文

漢字交リ文ヲ作ラシム

第五年程

毎週二時

○講讀 漢文

前年程ノ續

○作文

前年程ノ續

英語

教旨

一發音讀方ヲ正クシ意義ノ解釋並ニ文法上ノ諸則ヲ學知セシム

一英語ヲ邦語ニ翻譯シ並ニ簡易ナル邦語ヲ英語ニ翻譯スルコトニ通セシム

教程

第一年程

毎週六時

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

○讀方及譯解

適當ノ讀本ニ依リテ發音ヲ正確ニシテ文意ノ譯解ニ通セシメ及音聲ノ抑揚句讀ノ斷續ヲ明瞭ナラシメ兼テ言詞ノ種類及變化ノ初歩ヲ授ク

○書取

讀方ニ於テ教授セシ所ニ就キ書取ヲナサシム

○會話

普通談話ヲ練習セシム

○綴文

單句ヲ綴ラシム

第二年程

每週六時

○讀方及譯解

前年程ノ續

○書取

前年程ノ續

○會話

前年程ノ續

○作文

簡單ナル記事文ヲ作ラシム

第三年程

每週七時

○講讀

適當ノ讀本ニ依リ講讀ヲナサシム

○會話

前年程ノ續

○作文

前年程ノ續及日用文ヲ作ラシム

○文法

適當ノ文法書ニ依リ文法上ノ諸則ノ概要ヲ教授ス

第四年程

每週五時

○講讀

前年程ノ續

○會話

前年程ノ續

○作文

前年程ノ續

○翻譯

英語ヲ邦語ニ翻譯スルヲ練習セシム

第五年程

每週五時

○講讀

前年程ノ續

○會話

前年程ノ續

○作文

前年ノ程續及論說文ヲ作ラシム

○翻譯

英語ヲ邦語ニ翻譯シ邦語ヲ英語ニ翻譯スルヲ練習セシム

農業

教旨

一土地ノ成分肥料植物培養及動物牧畜ニ重要ナル事項ヲ學知セシメ兼テ農事上ノ實業及適當ノ法則ニ通セシム

第四年程

每週四時

○土地ノ成分々類及肥料植物培養ノ總說農業上要用ノ器具使用方ヲ授ケ兼テ耕作ノ實習ヲナサシム

第五年程

每週三時

○前年程ノ續及農業ニ關スル法則(鳥類保護法甲蟲驅除法森林保護法猛獸防禦時等)ヲ學知セシム

地理及歷史

教旨

甲 地理

一地球表面ノ自然上及政治上ノ區分並ニ地文學ノ要理ヲ學知セシム

一本邦地誌ヲ可成詳細ニ學知セシム

一地理上ニ關スル總テノ比較及製圖ヲ練習セシム

乙 歷史

一普通歷史ノ重要ナル事項及開化史上ノ事實ノ概畧特ニ本邦ニ係ル事項ヲ可成詳細ニ學知セシム

教程

第一年程

每週二時

○地理 (每週一時)

本邦地理ノ概要ヲ授ク

○歴史 (每週一時)

日本歴史(神武天皇ヨリ後醍醐天皇ニ至ル迄)ヲ授ク

第一二二程

每週三時

○地理 (每週二時)

亞細亞洲及歐羅巴洲ノ地理ヲ授ク兼テ地圖ヲ製セシム

○歴史 (每週一時)

萬國歴史古代史ヲ授ク

第三三三程

每週四時

○地理 (每週二時)

亞米利加澳斯太刺利亞非利加ノ地理及地文ヲ授ク兼テ地圖ヲ製セシム

○歴史 (每週二時)

支那史ヲ授ク

第四四四程

(每週九時)

○地理 (每週二時)

日本ノ地文及政治地理ヲ授ク兼テ地圖ヲ製セシム

○歴史 (每週一時)

日本歴史(後醍醐天皇ヨリ今上天ノ御宇ニ至ル迄)ヲ授ク

第五五五程

每週二時

○萬國史(中古史近世史)ヲ授ク

數學

教旨

一普通算術ノ定則及其民間日常ニ就テノ應用ニ通セシム

一代數幾何三角法ニ通セシム

教程

第一一六程

每週四時

○算術 (每週三時)

比例及利息算ヲ授ク

○幾何 (每週一時)

幾何ノ初歩ヲ授ク

第二二七程

每週四時

○算術 (每週二時)

復習

○代數 (每週二時)

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

釋義整數四則分數一次方程式ヲ授ク

第三年程 每週四時

○代數 (每週二時)

自乘開平開立指數根數二次方程式ヲ授ク

○幾何 (每週二時)

定義公理直線直線形圖積平面キ授ク

第四年程 每週四時

○代數 (每週二時)

準二次方程式比例等差級數等比級數調和數ヲ授ク

○幾何 (每週二時)

立休角角錐角球圓錐圓球ヲ授ク

第五年程 每週三時

○代數 (每週一時)

順列組合二項法對數ヲ授ク

○三角法 (每週二時)

角度三角法比對數表用法三角形距離ノ等測法球面三角ヲ授ク
博物

教旨

一植物動物礦物界ノ大要ヲ學知セシム

一人體ノ構造生活ノ作用及衛生上重要ナル事項ヲ學知セシム

教程

第一年程 每週一時

○通常動物ノ名稱部分常習効用通常植物ノ名稱部分性質効用及通常金石ノ名稱性質効用等ノ大意ヲ授ク

第三年程 每週二時

○人體ノ構造生活ノ作用及衛生上重要ナル事項ヲ授ク

第五年程 每週三時

○植物ノ觀察解剖記述分類大意及植物ノ生活上緊要ナル現象

○動物 (每甲週一時)

○觀察記述類分大意諸部類ノ相互及外物ノ關係

物理化學

教旨

甲 物理

一物理上緊要ナル現象及其定則ヲ實驗ニ因テ學知セシム且實地ノ應用ニ注意セシム

乙 化學

一 普通ノ化學上ノ現象緊要ナル元素及無機化合物ノ性質ヲ實驗ニ因テ學知セシメ且ツ農工業上ノ應出ニ注意セシム

教程

第二年程

每週一時

○物理化學ノ初歩ヲ授ク

第四年程

每週二時

○化學

非金屬金屬中重要ナル諸元素及其化合物ノ製法性質ヲ授ク

第五年程

每週三時

○物理

力學物質論音響學熱學光學越歷學磁氣學ヲ授ク

習字

教旨

一 姿勢熟筆運筆ノ法ヲ知ラシメ字形鮮明驛筆快擬ナラシム

教程

第一年程

每週二時

○楷行草三體ノ書寫及細字ノ速寫ヲ練習セシム

第二年程

每週一時

○前年程ノ續

圖畫

教旨

一 自在畫及用器畫ニ通セシメ手及眼ヲ練習セシム

教程

第一年程

每週二時

○自在畫法(臨畫實物模寫)

第二年程

每週二時

○自在畫

前年程ノ續

○用器畫
器械用法幾何畫法ヲ授ク

第三年程

每週二時

○自在畫

○前年程ノ續

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

○用器畫

前年程ニ接續シ射景法ヲ授ク

第四年程

每週二時

○自在畫 用器畫

前年程ノ續

第五年程

每週一時

○自在畫 用器畫

前年程ノ續

唱歌

教旨

一趣味正雅ノ歌詞ヲ撰ミ單音唱歌複音唱歌ヲ授ケ音ノ養成ト發達トニ適セル練習ヲナサシメ優美ノ心得ヲ發揚シ愛國ノ志氣ヲ喚起シ胸郭ヲ開暢シ健康ヲ稔補セシム

教程

第一年程

每週二時

○單音唱歌

第二年程

每週二時

○複音唱歌

體操

教旨

一普通體操兵式體操ヲ練習セシメ身体ノ發育ヲ平等ニシ健康ヲ保全セシメ特ニ其志氣ヲ活潑ニシ兼テ規律ニ慣レシメンコトヲ期ス

教程

第一年程

每週三時

○普通體操

隊列運動準備法矯正術徒手啞鈴

第二年程

每週三時

○普通體操

徒手啞鈴球竿棍棒木環

第三年程

每週三時

○前年程ノ續

第四年程

每週五時

○兵式體操

步兵操典生兵第一部第一章第二章第一教第二教第三教
徒手柔軟體操

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

第五年程 每週五時
 ○兵式體操
 步兵撰典生兵第一部第二章第四教第五教第六教
 執銃ニテ步兵撰典生兵第一部第一章ノ復習及生兵第二部第一章
 執銃柔軟體操及其復習

尋常中學校課程表

倫理	學級	
	上	全
一 人倫道德ノ要旨	第五級 年第一	每週授教時數
一 人倫道德ノ要旨	第四級 年第二	
一 人倫道德ノ要旨	第三級 年第三	
一 人倫道德ノ要旨	第二級 年第四	
一 人倫道德ノ要旨	第一級 年第五	
國語及漢文	五 漢字交リ文 漢字交リ文 漢字交リ文 及書讀文 及書讀文 及書讀文	
	五 漢字交リ文 漢字交リ文 漢字交リ文 及書讀文 及書讀文 及書讀文	
	五 漢字交リ文 漢字交リ文 漢字交リ文 及書讀文 及書讀文 及書讀文	
	五 漢字交リ文 漢字交リ文 漢字交リ文 及書讀文 及書讀文 及書讀文	
	五 漢字交リ文 漢字交リ文 漢字交リ文 及書讀文 及書讀文 及書讀文	

第一外國語	農 業	地 理 歷 史	數 學	博 物
六 書取 讀方及譯解 會話及綴文		一 日本地理ノ概略 一 日本歷史	四 算術 幾何初步	一 博物示教
六 書取 讀方及譯解 會話及作文		二 亞細亞及歐羅巴ノ地理 一 萬國歷史	四 算術ノ復習 代數	
七 會話 讀方及譯解 作文及文法		二 亞米利加 亞細亞及歐羅巴ノ地理 二 支那歷史	四 代數 幾何	二 生理及衛生
五 會話 讀方及譯解 作文 翻譯	四 農業初步及實業	一 日本ノ地理及政治地理 一 日本歷史	四 代數 幾何	
五 會話 讀方及譯解 作文 翻譯	三 農業初步及實業	二 萬國歷史	三 代數 三角法	三 動物 植物

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

體操	唱歌	圖畫	習字	化學	物理
三普通體操	二單音唱歌	二自在書法	二楷書行書草 細字速寫		
三普通體操	二單音唱歌 復音唱歌	二自在書法 用器書	二楷書行書草 細字速寫	一物理及化學 示教	
三普通體操		二自在書法 用器書法			
五兵式體操		二自在書法 用器書		二無機化學	
五兵式體式		一自在書法 用器書法			三力學、物質 論、熱學、音 響學、光學、 越歷學、磁 氣學
計	二八	二八	二八	二八	二八

第三章 試業卒業証明品定(明治二十一年五月縣令第六十號ヲ以更正及追加)

第六條 試問ヲ分チテ左ノ三種トス

- 一 入學試問
 - 生徒募集ノ際之ヲ施行ス
 - 一 臨時試問
 - 一 學年內三回以上五回以下教員見込ヲ以臨時ニ之ヲ施行ス
 - 一 學年試問
 - 每學年ノ終リニ於テ之ヲ施行ス
- 第七條 入學試問ノ科目及程度左ノ如シ
 - 一 脩身 人論道德ノ大要
 - 一 讀書作文 漢字交リ文及書體文ノ講讀書取作文
 - 一 英語 綴字讀方譯解書取會話習字
 - 一 地理 地理ノ總論及日本萬國地理ノ概略
 - 一 歷史 傳記體ノ談
 - 一 算術 算數四則貨幣度量衡分數小數名數單比例

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

一博物 動植物ノ示教

一習字 楷行草

一圖畫 自在畫及簡易ナル用器畫

一体操 普通体操

第八條 各學科試問ノ定點ヲ一百トス

第九條 入學試問及臨時試問ノ評點ハ先ツ其各學科ノ評點ヲ定メ之ヲ合算通約シテ總評點トス

第十條 學年試問ノ評點ハ各學科試驗得點ニ一學年內臨時試問各學科ノ評點ヲ平均セシモノヲ加ヘ之ヲ二分シ其學科ノ評點トシ又之ヲ合算通約シテ總評點トス

第十一條 入學試問ハ各學科ノ評點二十以上總評點五十以上ヲ以テ及第トス

第十二條 學年試問ハ各學科ノ評點五十以上總評點六十以上ヲ以テ及第トス

第十三條 學業證書ヲ分チテ左ノ二種トス

一修業證書

一卒業證書

第十四條 第五年級及第ノ者ニ授與ス

證明狀ヲ分チテ二種トス其一ハ病氣其他ノ事故ニ由リ卒業ノ期ニ先チテ退學ス

ルトキ本人ノ願ニ依リ之ヲ授與シ其一ハ陸軍兵事務條例第十六條但書ニ據リ在學生歴ニ之ヲ授與スルモノトス

第十五條 卒業證書ヲ授與スル者ニハ其在學中履修セル諸學科ノ成績及日常ノ操行ヲ審按シテ品定狀ヲ授與ス

第十六條 品定狀ヲ第一等第二等第三等ノ三種ニ區別ス

第四章 入學在及退學

第十七條 生徒ハ學年ノ始メ之ヲ募集ス其期日及人員ハ其都度廣告スヘシ

但時宜ニヨリ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十八條 入學志願者ノ願書及履歷書ハ別紙書式ニ依テ之ヲ出スヘシ

第十九條 保証人ハ本縣下ハ本籍ヲ定メ現ニ入學志願者居住ノ郡内ニ居住スル戸主タルヘシ

但本校ニ於テ保証人ヲ不充分ト認ムルトキハ之ヲ易ヘシムルコトアルヘシ

第二十條 保証人ノ住所本校所在地ヨリ一里以外ニアルモノハ別ニ其以內ニ居住若クハ寄留スルモノヲ以テ保証人代理者トナシ豫テ本校ニ届置ヘシ

但本校ニ於テ保証人代理者ヲ不充分ト認ムルトキハ之ヲ易ヘシムルコトアルヘシ

第二十一條 本人并保証人轉籍轉居シ若クハ姓名ヲ變シ若クハ印章ニ改メタルトキハ本校ニ届出ヘシ

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

但死去若クハ逃亡シタルトキハ其遺族ヨリ届ヘシ

第二十二條 修業半途ニシテ退學セント欲ス者ハ其理由ヲ具シ保證人連署願出ヘシ

第二十三條 在學中品行不正及怠惰不勉強等ニシテ成業ノ目的ナシト認ムルモノハ退學ヲ命ス

第二十四條 退學ヲ命シタル者ト雖ヒ一ヶ年ノ後再入學ヲ願出ルトキハ其事情ニ由リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第五章 生徒心得

第二十五條 生徒ハ専ラ學業ヲ勵ミ品行ヲ慎ミ堅ク校則ヲ遵守スヘシ

第二十六條 長上ニ對シテハ禮讓ヲ守リ朋友ニ交ルニハ信義ヲ主トスヘシ

第二十七條 本校規定ノ制服ヲ着用スヘシ

但着用シ難キ事故アルトキハ校長ノ承認ヲ受クヘシ

第二十八條 常ニ攝生ニ注意スヘシ

第二十九條 疾病事故等ニテ欠課スルモノハ課業時限前届出ヘシ

第三十條 猥ニ教室其他諸室ニ出入シ及校内裝置ノ圖書器具等ヲ使用スヘカラス

第六章 舍則

第三十一條 寄宿舎ハ通學シ難キ生徒ヲ入舎セシメ書記ヲシテ之ヲ監督センム

第三十二條 晨起就寢喫飯及外出等ノ時限ハ本校ノ定ムル處ニ依ル

第三十三條 病氣ノ者ハ其症狀ニ由リ病室ニ入レ或ハ下宿歸郷ヲ命シ又ハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 就寢後ハ點燈シ及雜談ヲ爲スヘカラス

第三十五條 晨起後ハ直ニ寢具ヲ收メ室内ヲ掃除スヘシ

第三十六條 毎土曜日放課後室内ヲ灑掃シ器具ヲ整頓シ書記ノ檢査ヲ受クヘシ

第三十七條 飲食ハ食堂ニ於テスヘシ

第三十八條 室外ノモノニ面謁ヲ要スルトキハ應接所ニ於テスヘシ

第三十九條 外土及歸舎ハ書記ニ届出ヘシ

第四十條 事故ニヨリ臨時外出セント欲スルトキハ書記ノ許可ヲ受クヘシ

第四十一條 外出中急病ニ罹リ歸舎ノ期ニ後ルハトキハ醫師ノ診斷書ヲ添テ書記ニ届出ヘシ

第七章 懲戒

第四十二條 生徒ノ懲戒ヲ分チテ左ノ四項トス

一 戒諭

一 譴責

一 禁足

一 留置

一 退校

第四十三條 退校ヲ命シタルモノハ其情狀ニ由リ官立公立私立ノ學校ニ入學スルコトヲ禁
セラル、コトアルヘシ

但謹慎悔悟ノ實蹟アルトキハ特ニ入學ヲ許サル、コトアルシ

第八章 職員會

第四十四條 職員會ハ通常臨時ノ二種トシ校長ヲ以テ會頭トス

第四十五條 通常會ハ毎月一回トシ臨時會ハ校長之ヲ必要トスルカ若クハ職員二名以上ノ
建議ニ依リ之ヲ開クヘシ

第四十六條 職員會ニ於テ論談スヘキ事項大凡左ノ如シ

- 一 生徒ノ試験ニ關スル事項
- 一 生徒ノ賞罰ニ關スル事項
- 一 校規教程等ニ關スル事項
- 一 校長ノ諮問ニ答フル事項
- 一 教授上及訓誡上ノ談話

證書及證明狀品定狀書式

修業證書

何府縣族籍 姓

何年何月 名

尋常中學校第何年ノ課程履修ス
年月日

番號

島根縣尋常中學校

校印

卒業證書

何府縣族籍 姓

何年何月 名

尋常中學校ヲ卒業ス
年月日

校印

番號

島根縣尋常中學校長何ノ某

印

證明狀(其)

何府縣族籍 姓

名

何年何月

右尋常中學校第何年ノ課程修業中何事ニ由リ退學差許シタル處(其學年ノ課程ヲ履修シ直ニ退學ヲ許セシモノハ尋常以下ヲ指ク)

在學中不都合ノ廢無之依テ之ヲ證明ス

年月日

番號

島根縣尋常中學校

印校

證明狀(其)

何府縣族籍 姓

姓

名

何年何月

右ハ尋常中學校第何年ノ課程修業中ノ生徒ニシテ既ニ幾箇年ノ課程ヲ卒業タル者ナリ依テ之ヲ證明ス

年月日

島根縣尋常中學校長何ノ某

印

品定狀

尋常中學校卒業生

姓

名

在學中ノ學業及歷行ヲ審按シテ第何等ト品定ス

年月日

島根縣尋常中學校長何

某

印

入學願書及履歷書書式

入學願

某志願者儀御校へ入學ノ許可ヲ得度尤某ノ身上ニ關スル事件ハ保証人ニ於テ一切別受シ候間別紙履歷書相添此段相願候也

住所族籍

戶主誰子第等

入學志願者

姓

名

印

年月日

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

住所族籍
 保証人 姓名 印
 前書之通相違無之候也
 島根縣尋常中學校長某殿
 戸長 姓名 印

履歷書

住所族籍
 姓名 印
 一生所
 一本籍
 一學業
 修業ノ場所、年月、學科、階級、及卒業證書等ノ寫
 一賞罰
 賞若クハ罰ヲ受ケタルコトアルレハ其年月日及要領
 右之通ニ候也
 何年何月生
 當何月何年何ヶ月

年月日

姓名 印

●諸學校設置廢止規則

○明治二十年三月九日縣令第二十四號
諸學校設置廢止規則別冊ノ如ク定ム

(別冊) 諸學校設置廢止規則

第一條 町村立學校小學校ハ除クヲ設置セシトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ

但設置ノ後第一項乃至第四項ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク第五項以下ノ變更ハ開申スヘシ (明治二十二年七月縣令第百二號ヲ以テ更正) 第三條第五條但書トス)

- 一 設置ノ目的區域位置及敷地建物
- 一 學科程度及教科用圖書
- 一 教授ノ要旨及試驗法
- 一 入學退學授業料寄宿舍等ノ規則生徒心得及罰則
- 一 經費ノ收入支出
- 一 教科用標本及器械
- 一 授業時間及休業定日
- 一 生徒ノ定員
- 一 校員職務心得及其人員俸額

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

一 校長教員等學事及其他ノ履歷
一名稱

第二條 私立學校ヲ設置セントスルトキハ第一條ニ準シ校主ヨリ伺出ヘシ
但敷地建物ノ變更ハ圖面ヲ付シテ開申スヘシ（明治二十二年七月縣令第百二號ヲ以テ追加）第四條第六條トモ）

第三條 町村立幼稚園ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ
但設置ノ後第一項乃至第二項ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク第三項以下ノ變更ハ開申スヘシ

- 一 設置ノ目的區域位置及敷地建物
- 一 保育規則圖則及保育用圖書器具
- 一 經費ノ收入支出
- 一 幼兒ノ定員
- 一 保母等學業及其他ノ履歷
- 一 保母等職務心得及人員俸額
- 一名稱

第四條 私立幼稚園ヲ設置セントスルトキハ第三條ニ準シ其主者ヨリ伺出ヘシ
但敷地建物ノ變更ハ圖面ヲ付シテ開申スヘシ

第五條 町村立書籍館ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ
但設置ノ後第一項乃至第二項ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク第三項以下ハ開申スヘシ

- 一 設置ノ目的區域位置及敷地建物
- 一 規則
- 一 經費ノ收入支出
- 一 書籍ノ種類及部數
- 一 監守人員及俸給
- 一名稱

第六條 私立書籍館ヲ設置セントスルトキハ第五條ニ準シ其主者ヨリ伺出ヘシ
但敷地建物ノ變更ハ圖面ヲ付シテ開申スヘシ

第七條 町村立學校幼稚園書籍館ヲ合併若クハ分離セントスルトキハ總テ設置ノ手續ニ從
ヒ且左ノ二項ヲ詳具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ

- 第一 合併
分離事由
- 第二 資産ノ處分方
- 一 家屋
- 二 圖書標本及器械

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

- 三 資本金數
- 四 敷地
- 五 附屬地
- 六 雜具

但無代價下渡ノ土地ハ其旨ヲ記載スヘシ

第八條 町村立學校幼稚園書籍館ヲ廢止セントスルトキハ左ノ二項ヲ詳具シ其管理者ヨリ伺出ヘシ

- 第一 廢止ノ事由
- 第二 資産ノ處分方
- 一 家屋
- 二 圖書標本及器械
- 三 資本金數
- 四 敷地
- 五 附屬地
- 六 雜具

但無代價下渡ノ土地ハ其旨ヲ記載スヘシ

第九條 私立學校幼稚園書籍館ヲ廢止セントスルトキハ其事由ヲ具シ該主者ヨリ開申スヘシ

シ(明治二十二年七月令縣第百二號以テ追加元本條ヲ次條トス)
第十條 學校幼稚園書籍館ニ於テ教育上ニ弊害アリト認定シ若クハ規則ニ違反スルトコトアルトキハ之ヲ停止スルトコトアルヘシ

沿革要領

明治七年七月第三百四十號教員傳習校ヲ設ケ生徒募集并方法規則ヲ定ム○八年九月甲第三百六十九號教員傳習校生徒入學心得規則ヲ定ム○九年二月甲第五十一號規則中學ノ課程ヲ教員傳習校内ニ置キ生徒ヲ募ル○十一年七月甲第七十七號女子師範學校ヲ設ケ入學心得規則ヲ發ス○十三年一月甲第一號松江中學校内ニ書籍總覽場及教育博物館ヲ設置シ其規則ヲ定ム○同年七月甲第十號濱田陸中學校ヲ新設シ鳥取濱田師範學校及濱田鳥取松江師範學校各支校ヲ廢シ松江師範學校ニ合併ス○十四年十月甲第七十二號中學校教則大綱布達(七十七月甲第八十九號更正)○同年十月甲第七十四號小學校外町村立私立學校教則等開申式ヲ定ム(十六年一月甲第五號更正)

○全年十一月乙第八十四號小學校外町村立諸學校職員俸額ハ縣廳ノ認可ヲ受ケシム(十七年八月乙第七十四號更正)○全年十二月乙第九十四號師範學校教則大綱達(十七年十二月乙第八十一號更正)○十六年八月甲第七十九號小學校聯合小學校外ノ學校ヲ設置スルル特別學務委員會設置手續達○十七年二月乙第三十一號廢學校及商業學校通則達○全年三月甲第三十號中學校通則布達○全年四月甲第三十八號本縣機關師範生徒規約ヲ定ム○全年四月乙第四十五號郡撰學師範生徒募集規則達○全年八月甲第九十四號十四年甲第七十四號布達廢止○全年八月甲第九十六號私立諸學校幼稚園書籍館ノ休業ハ郡長ヘ伺出及其教員等欠額ハ郡長ヘ届出ツヘキ旨達○全年十月甲第三十九號師範學校卒業證書若クハ教員免許狀所持ノ者ニシテ他府縣轉籍ノモノ届出方達○十八年二月甲第三十六號女子小學校教員養成ノ爲女子生徒ヲ十七年甲第三十八號布達ノ規約ニ準シ東京女子師範學校ニ入學セシムルコトアルヘキ旨布達○全年五月甲第六十六號第一中學校内書籍總覽所及教育博物館ヲ師範學校ニ附屬シ書籍總覽所規則ヲ定ム○全年七月甲第八十一號縣立中學校規則告示○十九年四月乙第四十九號師範學校卒業證書ニシテ教職ニ從事スルモノハ每六ヶ月其服務ノ狀況報告スヘキ

第二類 第三節 小學校

旨達○全年九月訓令第二十一號十七年郡乙第四十五號達廢止○二十一年七月縣令第七十三號十七年甲第九十六號布達廢止

二 小 學 校

●小學校設置規程並學區番號校數位置等科

○明治二十二年三月三十日縣令第三十四號

小學校設置規程左ノ如ク改定シ明治二十二年四月一日ヨリ施行ス

小學校設置規程

第一條 高等小學校ハ島廳郡役所及市役所所轄内ニ一校若クハ數校ヲ設置ス

第二條 尋常小學校及簡易小學校ノ設置區域ハ出雲國石見國ハ市及一町村トス

隱岐國ハ一戸長役場若クハ二戸長役場所轄ノ町村ヲ以テ一學區トシ其區域ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 學區番號校數位置及等科ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 市及一町村ニ全等科ノ學校數校アリテ名稱ヲ同クスル場合ニ於テハ其學校ハ等科ノ上ニ第一第二ノ番號ヲ冠シテ之ヲ稱フヘシ

第五條 土地ノ情况ニ由リ學校ノ等科ヲ變更シ若クハ町村組合ヲ以テ某小學校ヲ設置セント欲スルトキハ其事由及維持方ヲ具シテ申請スルコトヲ得

第六條 小學校ヲ指定シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ伺出ヘシ

但設置ノ後第一項ヲ變更セント欲スルトキハ其事由ヲ具シ伺出ヘク第二項ニ變更ヲ生シタルトキハ開申スヘシ

第一項 敷地建物

第二項 名稱

第七條 學齡子女ノ通學不便若クハ事故アリテ小學校分教場ヲ設置セント欲スルトキハ伺出ヘク其廢止ハ開申スヘシ

○明治十七年一月二十五日乙第十二號 郡 町 村

小學校設廢或ハ分合等縣廳認可ヲ得ルノ後其實施ノ月日更ニ届出ヘシ此旨相達候事

○明治二十二年十二月五日訓令第二百十五號 島廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場

小學校校數位置等指定ノ更正ニ由リ廢止ニ屬シタル小學校ハ其生徒カ就學スヘキ他ノ小學校ノ設備整フニ至ル迄閉校スルヲ得サル儀ト心得ヘシ

○明治二十二年三月三十日縣令第三十五號

出雲國石見國小學校學區番號校數位置等科及ヒ隱岐國小學校學區番號校數位置等科別紙之通改定シ明治二十二年四月一日ヨリ施行ス

但松江市島根郡秋鹿郡意宇郡内高等小學校ト常分指定セス從前ノ通松江高等小學校ヲ存續ス又島根郡東川津村神門郡古志村簡易小學校位置ハ追テ指定ス

(明治二十二年十一月縣令第二百二十四號ヲ以別紙中更正)

出雲國 石見國 小學校學區番號校數位置等科

高等小學校ノ部

學校數	位	置	設置區域	學校數	位	置	設置區域
一	能義郡廣瀬町大字廣瀬	能義郡	一	仁多郡三成村大字三成	仁多郡	設置區域	
一	大原郡大東村大字大東	大原郡	一	飯石郡掛合村大字掛合町	飯石郡		
二	楯縫郡今市町	出雲郡 楯縫郡 神門郡	一	安濃郡大田村大字大田	安濃郡		
一	邑智郡川本村大字川本	邑智郡	一	那賀郡濱田町大字淺井	那賀郡		
一	美濃郡益田町	美濃郡	一	鹿足郡津和野町大字森	鹿足郡		

尋常小學校及簡易小學校ノ部

松江市

第二類 第三節 小學校

學校等科	學校數	位	置	設置區域
尋常	五	大字母衣	同北堀 同內中原	松江市
簡易	七	大字母衣 同外中原 同荻山 同雜賀	同北堀 同雜賀	

島根郡

學區學校番號	學校數	位	置	設置區域
一 尋常	一	大字黑田	法吉村	一 大字西生馬
二 尋常	一	大字南講武	講武村	一 大字西生馬
三 尋常	一	大字南講武	講武村	一 御津村
四 尋常	一	大字南講武	講武村	一 御津村
五 尋常	一	大字南講武	講武村	一 御津村
六 尋常	一	大字南講武	講武村	一 御津村
七 尋常	二	大字野波 大字多古	野波村	二 大字千酌
八 尋常	二	大字野波 大字多古	野波村	二 大字千酌
九 尋常	二	大字片江 大字片江	片江村	一 大字美保關
十 尋常	一	大字片江	片江村	一 大字美保關

秋鹿郡

學區學校番號	學校數	位	置	設置區域
一 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
二 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
三 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
四 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
五 尋常	三	大字秋鹿 大字秋鹿 大字秋鹿	秋鹿村	一 大字東長江長江
六 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
七 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
八 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
九 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十一 尋常	三	大字森山 同下字部尾	森山村	一 大字本莊
十二 尋常	一	大字東持田	持田村	一 大字本莊
十三 尋常	一	大字東持田	持田村	一 大字本莊
十四 尋常	一	大字東持田	持田村	一 大字本莊
十五 尋常	一	大字西川津	西川津村	二 大字朝酌
十六 尋常	一	大字西川津	西川津村	二 大字朝酌
十七 尋常	一	大字西川津	西川津村	二 大字朝酌

意宇郡

學區學校番號	學校數	位	置	設置區域
一 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
二 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
三 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
四 尋常	一	大字野鄉	伊野村	一 大字大野上分
五 尋常	三	大字秋鹿 大字秋鹿 大字秋鹿	秋鹿村	一 大字東長江長江
六 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
七 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
八 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
九 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十一 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十二 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十三 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十四 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十五 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十六 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志
十七 尋常	一	大字古曾志	古曾志村	一 大字古志

學區番號	學校等科	學校數	位	置	區設	域置	番號	學校等科	學校數	位	置	區設	域置
一	尋常	一	大字東洋田	津田村	二	尋常	二	大字竹矢	二	大字八幡	竹矢村		
二	尋常	一	大字東洋田	津田村	二	尋常	二	大字竹矢	二	大字八幡	竹矢村		
三	尋常	一	大字出雲郷	出雲郷村	四	尋常	一	揖屋村	一	揖屋村	揖屋村		
四	尋常	一	大字出雲郷	出雲郷村	四	尋常	一	揖屋村	一	揖屋村	揖屋村		
五	尋常	二	大字上意東	意東村	六	尋常	一	大字東岩坂	三	大字東岩坂	岩坂村		
六	尋常	二	大字上意東	意東村	六	尋常	一	大字東岩坂	三	大字東岩坂	岩坂村		
七	尋常	一	熊野村	熊野村	八	尋常	二	大字大庭	二	大字大庭	大庭村		
八	尋常	一	熊野村	熊野村	八	尋常	二	大字大庭	二	大字大庭	大庭村		
九	尋常	一	大字乃木	乃木村	十	尋常	一	大字東忌部	一	大字東忌部	忌部村		
十	尋常	一	大字乃木	乃木村	十	尋常	一	大字東忌部	一	大字東忌部	忌部村		
十一	尋常	三	大字湯町	湯町村	十二	尋常	二	大字玉造	二	大字玉造	玉造村		
十二	尋常	三	大字湯町	湯町村	十二	尋常	二	大字玉造	二	大字玉造	玉造村		
十三	尋常	二	大字東來海	來海村	十四	尋常	一	大字宍道	一	大字宍道	宍道村		
十四	尋常	二	大字東來海	來海村	十四	尋常	一	大字宍道	一	大字宍道	宍道村		
十五	尋常	一	大字波入	波入村	十六	尋常	一	大字寺津	一	大字寺津	二子村		
十六	尋常	一	大字波入	波入村	十六	尋常	一	大字寺津	一	大字寺津	二子村		

能義郡

學區番號	學校等科	學校數	位	置	區設	域置	番號	學校等科	學校數	位	置	區設	域置
一	尋常	一	大字瀨廣	廣瀨町	二	尋常	一	大字中島	一	大字中島	飯梨村		
二	尋常	一	大字廣瀨	廣瀨町	二	尋常	一	大字中島	一	大字中島	飯梨村		
三	尋常	一	大字飯生	能義村	四	尋常	一	大字荒島	一	大字荒島	荒島村		
四	尋常	一	大字飯生	能義村	四	尋常	一	大字荒島	一	大字荒島	荒島村		
五	尋常	一	大字東赤江	赤江村	六	尋常	一	大字安來	一	大字安來	安來町		
六	尋常	一	大字東赤江	赤江村	六	尋常	一	大字安來	一	大字安來	安來町		
七	尋常	一	大字野外	宇賀莊村	八	尋常	一	大字島田	一	大字島田	島田村		
八	尋常	一	大字野外	宇賀莊村	八	尋常	一	大字島田	一	大字島田	島田村		
九	尋常	一	大字大塚	大塚村	十	尋常	一	大字安田	一	大字安田	安田村		
十	尋常	一	大字大塚	大塚村	十	尋常	一	大字安田	一	大字安田	安田村		
十一	尋常	一	大字西母里	母里村	十二	尋常	一	大字市中屋	一	大字市中屋	井尻村		
十二	尋常	一	大字西母里	母里村	十二	尋常	一	大字市中屋	一	大字市中屋	井尻村		
十三	尋常	一	大字下十年畑	赤屋村	十四	尋常	二	大字東比田	二	大字東比田	比田村		
十四	尋常	一	大字下十年畑	赤屋村	十四	尋常	二	大字東比田	二	大字東比田	比田村		
十五	尋常	一	大字上山佐	山佐村	十六	尋常	二	大字布部	二	大字布部	布部村		
十六	尋常	一	大字上山佐	山佐村	十六	尋常	二	大字布部	二	大字布部	布部村		

仁多郡

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置	學區 番號等科	學校數	位	置	區設 域置
一 尋常	一	大字馬馳		布勢村	二 尋常	一	大字三成		三成村
一 尋常	一	大字佐白			二 尋常	二	大字三成同高尾		
一 尋常	一	大字龜嵩		龜嵩村	一 尋常	一	大字橫田		橫田村
二 尋常	二	大字龜嵩同郡			一 尋常	一	大字橫田		
一 尋常	一	大字大呂		鳥上村	一 尋常	一	大字下橫田		八川村
二 尋常	二	大字竹崎			一 尋常	一	大字上阿井		阿井村
一 尋常	一	大字大馬木		馬木村	二 尋常	二	大字上阿井同下阿井		
一 尋常	一	大字小馬木			一 尋常	一	大字湯村		溫泉村
一 尋常	一	大字三澤		三澤村	一 尋常	一	大字平田		
一 尋常	一	大字三澤							
一 尋常	一	大字神原		神原村	四 尋常	二	大字山方同木次		木次村
一 尋常	一	大字神原		屋裏村	二 尋常	一	大字加茂中		加茂村
					一 尋常	一	大字加茂中		

大原郡

學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置	學區 番號等科	學校數	位	置	區設 域置
五 尋常	一	大字寺領		日登村	六 尋常	一	大字下佐世		佐世村
二 尋常	二	大字西日登同寺領			二 尋常	二	大字下佐世全西阿用		
一 尋常	一	大字仁和寺		幡屋村	一 尋常	一	大字大東下分		春殖村
一 尋常	一	大字仁和寺			一 尋常	一	大字大東下分		
一 尋常	一	大字大東		大東村	二 尋常	二	大字東阿用		阿用村
二 尋常	二	大字大東同清田			二 尋常	二	大字上久野同下久野		
一 尋常	一	大字諏訪		海潮村					
三 尋常	三	大字刈畑同諏訪同中湯石							

飯石郡

學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置	學區 番號等科	學校數	位	置	區設 域置
一 尋常	一	大字給下		一宮村	二 尋常	一	大字三刀屋町		三刀屋村
二 尋常	二	大字給下同高窪			二 尋常	二	大字三刀屋町同下熊谷		
一 尋常	一	大字乙加宮		鍋山村	一 尋常	一	大字多久和		飯石村
二 尋常	二	大字乙加宮同根波別所			二 尋常	二	大字多久和同熊谷		
一 尋常	一	大字中野		中野村	二 尋常	二	大字深野		田井村
一 尋常	一	大字中野			二 尋常	二	大字上山		
一 尋常	一	大字吉田村		吉田村	一 尋常	一	大字掛合村		掛合村
二 尋常	二	大字民谷同吉田村			一 尋常	一	大字掛合村		

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

出雲郡

學區 番號	學校 等科	學校 數	位	置	區設 域置
九	尋常 簡易	一	多根村	多根村	尋常 簡易
十一	尋常 簡易	二	大字宮內同反邊	須佐村十二	尋常 簡易
十三	尋常 簡易	二	大字宮內同反邊 大字八神	志々村十四	尋常 簡易
十五	尋常 簡易	二	大字野營 大字馬木同野萱	來島村十六	尋常 簡易
一	尋常 簡易	一	大字下莊原	莊原村二	尋常 簡易
三	尋常 簡易	一	大字下莊原同三絡	伊波野村四	尋常 簡易
五	尋常 簡易	二	大字原鹿 大字原鹿	久木村六	尋常 簡易
一	尋常 簡易	一	大字出西	出西村	尋常 簡易
三	尋常 簡易	三	大字出西同井田同阿宮	直江村	尋常 簡易
五	尋常 簡易	一	大字下直江	出東村	尋常 簡易
六	尋常 簡易	二	大字三分市 大字三分市	出東村	尋常 簡易

楯縫郡

學區 番號	學校 等科	學校 數	位	置	區設 域置
一	尋常 簡易	一	大字平田灘分	灘分村二	尋常 簡易
三	尋常 簡易	一	大字國富	國富村四	尋常 簡易
五	尋常 簡易	二	大字猪目 大字河下	鵜淵村六	尋常 簡易
七	尋常 簡易	二	大字十六島 大字彌津	北濱村八	尋常 簡易
九	尋常 簡易	三	大字三浦同小伊津 大字鹿園寺	佐香村十	尋常 簡易
十一	尋常 簡易	一	大字鹿園寺 大字鹿園寺 大字小境	東村	尋常 簡易
一	尋常 簡易	一	大字平田	平田町	尋常 簡易
三	尋常 簡易	一	大字東林木	鷺巢村	尋常 簡易
五	尋常 簡易	二	大字萬田 大字萬田同與字賀	西田村	尋常 簡易
七	尋常 簡易	二	大字東福 大字東郷	久多美村	尋常 簡易
九	尋常 簡易	一	大字多久谷	檜山村	尋常 簡易

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

一	簡易	一	大字山口	山口村	二	尋常	二	大字一窪田	窪田村
三	尋常	一	大字口田儀	田儀村	四	簡易	一	大字小田	田岐村
五	尋常	一	大字久村	久村	六	尋常	一	大字常樂寺	江南村
七	尋常	一	大字久村	久村	六	尋常	二	大字常樂寺	江南村
九	尋常	一	大字知井宮本郷	知井宮村	十	尋常	一	大字神西沖分	神西村
十一	簡易	一	○	古志村	十二	尋常	一	大字神西沖分	神西村
十三	尋常	一	大字西園	園村	十四	尋常	二	大字松寄下	高松村
十五	簡易	一	大字修理免	荒木村	十六	尋常	一	大字松寄下	高松村
十七	尋常	一	大字杵築西	杵築村	十八	簡易	一	大字杵築東	杵築町
十九	尋常	一	大字鷗鷗	鷗鷗村	二十	尋常	一	大字字龍	日御碕村
	簡易	一	大字鷗鷗	鷗鷗村	二十	尋常	二	大字遙堪	遙堪村

邇摩郡

廿一	尋常	一	大字平野	高濱村	廿二	尋常	一	大字矢野	四給村
廿三	尋常	一	大字荻原	川跡村	廿四	尋常	一	大字大石	大津村
廿五	尋常	一	大字今市	今市町	廿六	尋常	一	大字下鹽治	鹽治村
廿七	簡易	一	大字所原	朝山村	廿八	簡易	二	大字乙立	乙立村
廿九	簡易	一	大字稗原	稗原村	三十	尋常	一	大字上島	上津村
								大字船津	

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

七簡易	一	大字吉浦	福浦村	八	尋常	一	大字福光	福光村
九簡易	二	大字小濱 大字上	大濱村	十	尋常	一	大字福光 温泉津村	福光村 温泉津村
十一簡易	二	大字湯里 大字西田	湯里村	十二	尋常	一	温泉津村 大字大國	温泉津村 明治村
十三簡易	一	仁万村	仁万村	十四	尋常	一	大字大國 大字馬路	宅野村 明治村
十五簡易	一	五十猛村 五十猛村	五十村	十六	尋常	一	宅野村 靜間村	宅野村 靜間村
十七簡易	一	大字大國	大屋村	十八	尋常	一	大字久利	久利村
十九簡易	一	忍原村	忍原村					

三百八

安濃郡

學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置	學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置
一尋常 簡易	一	大字大田	大田村	二簡易	二	大字長久 大字稻用	長久村		
	三	大字大田 大字所全吉永							

三尋常 簡易	一	大字鳥井 二字鳥井 大字鳥越	鳥井村	四簡易	一	一羽鹿村	羽鹿村
五尋常 簡易	一	波根西村	波根西村	六簡易	一	波根東村	波根東村
七簡易	一	波根西村	朝山村	八簡易	二	大字才坂 大字山中	富山村
九簡易	四	大字多根 同小屋原 同志學 同池田	佐比賣村	十尋常 簡易	一	大字川合	川合村

邑智郡

學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置	學區學校 番號等科	學校數	位	置	區設 域置
一尋常 簡易	一	大字川本	川本村	二簡易	三	大字吾鄉 同乙原	吾鄉村		
三尋常 簡易	一	大字粕淵	粕淵村	四尋常 簡易	一	大字濱原 大字濱原上川戶	濱原村		
五簡易	一	大字九日市	澤谷村	六簡易	一	大字井戸谷	谷村		
七尋常 簡易	一	大字都賀本鄉 大字都賀本鄉	都賀村	八簡易	二	大字都賀行 大字湖	都賀行村		

第二類 第三節 小學校

三百九

九簡易	二	大字布施	布施村	十簡易	二	大字阿須那	阿須那村
尋常	一	大字村ノ郷			二	大字宇都井	
簡易	三	大字下口羽	口羽村	十二簡易	二	大字高見	高原村
尋常	一	大字出羽	出羽村	十四簡易	三	大字上田所同下田所	田所村
簡易	一	大字出羽			同 鱒淵		
十五簡易	一	井原村	井原村	十六簡易	一	中野村	中野村
尋常	一	矢上村	矢上村	十八簡易	一	中野村	
簡易	一	矢上村			一	市木村	市木村
十九簡易	一	日貫村	日貫村	二十簡易	一	大字八戸	長谷村
尋常	一	日貫村			一	大字川戸	川戸村
簡易	三	大字市山同井澤	市山村	廿二簡易	一	大字川戸	
廿一簡易	同	後山	谷住郷村	廿四簡易	一	日和村	日和村
廿二簡易	一	谷住郷村	川越村	廿六簡易	一	川下村	川下村
尋常	二	大字大貫					
廿五簡易	一	大字南佐木	三原村	廿八簡易	一	大字三侯	三谷村
簡易	一	大字南佐木					
廿七簡易	一	大字南佐木					

郡 賀 郡

廿九尋常	一	大字祖式	祖式村	三十簡易	二	大字京籠原	君谷村
簡易	二	大字祖式			二	大字惣森	
一尋常	二	大字淺井	濱田町	二尋常	一	大字黒川	石見村
簡易	二	大字淺井			一	大字黒川	
三簡易	一	上府村	上府村	四簡易	一	下府村	下府村
五簡易	二	大字國分	國分村	六尋常	一	大字敷川	川波村
七簡易	二	大字神主	二宮村	八尋常	一	都野津村	都野津村
九簡易	二	大字嘉久志	都濃村	十尋常	一	都野津村	
十一簡易	一	大字和木	都濃村	十二尋常	一	大字郷田	江津村
十二簡易	一	大字和木	渡津村	十二尋常	一	大字郷田	淺利村
十三簡易	二	大字後地	都治村	十四簡易	一	黒松村	黒松村
大字都治本郷							

第二類 第三節 小學校

十五	簡易	二	大字下河戶	下松山村	十六	簡易	二	大字市	松山村
十七	簡易	二	大字南川上	川平村	十八	尋常	一	大字上津井	跡市村
十九	尋常	一	大字下有福	有福村	二十	簡易	二	大字津市	伊南村
廿一	簡易	三	大字下有福 大字在福同本明同字野	雲城村	廿二	簡易	三	大字後野同佐野 同字津井	久佐村
廿三	簡易	三	大字今福同入野	美又村	廿四	簡易	一	木田村	木田村
廿五	簡易	二	大字和原	和田村	廿六	簡易	一	大字都川	都川村
廿七	簡易	三	大字今市同丸原	今市村	廿八	尋常	一	大字波佐	波佐村
廿九	簡易	二	大字高内	高城村	三十	簡易	二	大字沙佐 大字三里	長安村
卅一	尋常	一	大字木都賀	杵束村	卅二	簡易	二	大字黑澤 大字下古和	黑澤村
卅三	尋常	一	大字河内	西隅村	卅四	簡易	一	岡見村	岡見村
		三	大字河内同矢原同向野田						

廿五	尋常	一	吉市塙村	古市場村	卅六	簡易	一	大字西河内	西湊村
卅七	尋常	一	岡崎村	岡崎村	卅八	簡易	一	芦谷村	芦谷村
卅九	簡易	一	大字西	大麻村	四十	尋常	一	大字升野	井野村
四十	尋常	一	大字鋤石	漁山村	四十	簡易	二	大字非野 大字室谷	三階村
四十	尋常	一	大字田橋	大内村	四十	尋常	一	大字細谷	周布村
四十	尋常	一	大字内	大内村	四十	尋常	二	大字治和 大字日脚	
四十	尋常	一	大字内	長濱村					
五	簡易	一	大字長濱						

美濃郡

第二類 第三節 小學校

五簡易	一 大字大草	北仙道村	六簡易	二 大字三谷	東仙道村
七簡易	一 大字都茂 二 大字都茂同山本同山本	都茂村	八簡易	一 大字宇津川	二川村
九簡易	一 道川村	道川村	十簡易	二 大字四見 大字紙祖	四見上村
十一簡易	四 大字澄川同廣瀨 同落合同石谷	匹見下村	十二簡易	一 大字波田	真砂村
十三簡易	二 大字猪ノ木谷	豐川村	十四簡易	一 大字橫田 大字藏田 大字海月	豐田村
十五簡易	二 大字神田 大字白岩	高城村	十六簡易	二 大字桂平 大字柏原	二條村
十七簡易	一 大字美濃地	美濃村	十八簡易	一 大字戶田 二 大字青田 大字飯池	小野村
十九簡易	五 大字自ノ同中垣内同 川登同虫追同内田	中西村	二十簡易	一 大字高津	高津村
廿一簡易	二 大字久城同中吉田	吉田村			

庶足郡

番號等科	學校數	位	置	區	置	區	置	區
一 尋常	一	大字森	津和野町	二 尋常	一 大字邑輝	喜時雨村		
三 簡易	三	大字中曾野同長福 同豐稼	木部村	四 尋常	一 大字青原 二 大字青原 大字添谷	青原村		
六 尋常	一	大字日原	日原村	五 簡易	一 大字須川	須川村		
七 簡易	三	大字寺田同商人 同直地	小川村	八 簡易	四 大字木部谷同柿木 同福川同下須	柿木村		
九 簡易	二	大字七日市 大字眞田	七日市村	十 簡易	二 大字注連川 大字蓼野	朝倉村		
十一 尋常	一	大字六日市	六日市村	十二 簡易	一 大字藏木	藏木村		

隱岐國小學校學區番號校數位置等科

高等小學校之部

第二類 第三節 小學校

一 周吉郡西郷西町
尋常小學校及簡易小學校ノ部

周吉郡穂地郡海士郡知夫郡

番學	區	等	校	學	校	數	位	置	學	區
一	尋常	簡易	常	一	西郷西町	一	西郷西町	西郷東町 全西町	全西町	西郷東町 全西町
二	尋常	簡易	常	三	東郷村 飯田村	三	東郷村 飯田村	東郷村 飯田村 犬來村	東郷村 飯田村 犬來村	東郷村 飯田村 犬來村
三	尋常	簡易	常	一	布施村	一	布施村	卯敷村 布施村	卯敷村 布施村	卯敷村 布施村
四	尋常	簡易	常	一	中村	一	中村	飯美村 中村 湊村	飯美村 中村 湊村	飯美村 中村 湊村
五	尋常	簡易	常	二	原田村 有木村	二	原田村 有木村	上西村 原田村 池田村	上西村 原田村 池田村	上西村 原田村 池田村
六	尋常	簡易	常	四	下西村 今津村 加茂村 贈木村	四	下西村 今津村 加茂村 贈木村	平村 八田村 下西村 西田村 今津村 加茂村 贈木村	平村 八田村 下西村 西田村 今津村 加茂村 贈木村	平村 八田村 下西村 西田村 今津村 加茂村 贈木村

番學	區	等	校	學	校	數	位	置	學	區
七	尋常	簡易	常	一	都万村 津戸村 那久村	一	都万村 津戸村 那久村	津戸村 都万村 那久村	津戸村 都万村 那久村	津戸村 都万村 那久村
八	尋常	簡易	常	二	南方村 北方村	二	南方村 北方村	南方村 苗代田村 北方村	南方村 苗代田村 北方村	南方村 苗代田村 北方村
九	尋常	簡易	常	一	小路村	一	小路村	那久路村 小路村 郡村	那久路村 小路村 郡村	那久路村 小路村 郡村
十	尋常	簡易	常	三	福井村 海士村 福井村	三	福井村 海士村 福井村	豐田村 海士村 宇受賀村	豐田村 海士村 宇受賀村	豐田村 海士村 宇受賀村
十一	尋常	簡易	常	三	知々井村 布施村 崎村	三	知々井村 布施村 崎村	知々井村 太井村 布施村	知々井村 太井村 布施村	知々井村 太井村 布施村
十二	尋常	簡易	常	一	美田村	一	美田村	宇賀村 別府村 美田村	宇賀村 別府村 美田村	宇賀村 別府村 美田村
十三	尋常	簡易	常	三	美田村 浦郷村 別府村	三	美田村 浦郷村 別府村	浦郷村	浦郷村	浦郷村
十三	尋常	簡易	常	一	知夫村	一	知夫村	知夫村	知夫村	知夫村

○明治二十二年五月十七日縣令第五十號
 明治二十二年三月縣令第三十五號中島根郡第十四番學區簡易小學校位置ハ大字上東川津ニ神

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

門郡第十一番學區簡易小學校位置ハ大字上古志ニ指定ス

●小學校學科並教科用書

○明治二十年三月九日縣令第二十七號

小學校ノ學科及其程度實施方法別冊ノ如ク定ム

(別冊)

小學校ノ學科及其程度實施方法

第一條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル之ヲ一學級ノ脩業期限トス

第二條 授業時間ハ學年ノ始ヨリ九月三十日迄ハ午前八時ニ始業シ午後二時ニ終業シ十月一日ヨリ學年ノ終リ迄ハ午前九時ニ始業シ午後三時ニ終業スルモノトス尤土地ノ情況ニヨリ之ヲ變更スルトキハ郡長ニ開申スヘシ

但各課業ノ間ニハ十分ノ休憩時間ヲ與フヘク又午飯ノ後ニハ三十分以上ノ休憩時間ヲ與フヘシ

第三條 休業定日ハ日曜日大祭日祝日及左ノ四項トス若不得已事故アリテ休業日ヲ變更シ若クハ臨時休業セントスル時ハ戸長ヨリ郡長ニ伺出ヘシ(明治二十一年五月縣令第六十二號ヲ以テ一項刪除)

大試験後 三日

夏季

自八月一日至同二十一日

冬季

自十二月廿八日至翌年一月十日

第四條 學科程度及教科用圖書ノ配當ハ別表ノ定ムル所ニ依ル(明治二十一年五月縣令第六十二號ヲ以テ別表中更正)

第五條 土地ノ情況ニ由リ尋常小學校ニ於テ圖畫唱歌ノ一科若クハ二科ヲ加ヘ高等小學校ニ於テ英語農業手工商業ノ一科若クハ數科ヲ加ヘ及唱歌ヲ缺カントスル時ハ管理者ヨリ其事由ヲ詳具シ知事ニ伺出ヘシ

第六條 土地ノ情況ニヨリ兒童ヲシテ既修ノ學科ヲ温習シ且之ヲ補修セシメントスル時モ亦前條ニ同シ

第七條 小學校ニ於テハ一學年内四回小試験ヲ施行シ生徒學業ノ優劣ニ因リ其坐次ヲ進退シ學年末ニ大試験ヲ施行シ該學年内履修セシ學科全体ノ熟否ヲ判シ學級ヲ定メ第一年乃至第三年ノ大試験ニ合格シタル者ニハ第一號書式ノ證書ヲ授與シ第四年ノ大試験ニ合格シタル者ニハ第二號書式ノ證書ヲ授與スヘシ

温習科ヲ履修シタル者ニハ大試験ニ準シ試験ヲ施行シテ第三號書式ノ證書ヲ授與スヘシ

(明治二十一年五月縣令第六十二號ヲ以テ更正)

第八條 試験ハ讀書科ハ讀本若クハ字句ノ誦讀講解セシメ其他ハ學科ノ種類ニ應ジ口述筆記及實地作業等ノ方法ニ依リテ試問スヘシ

第九條 試験ハ授業擔任ノ教員ニ於テ小學校長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ執行スヘシ

第十條 小試験ノ期日ハ小學校長ヨリ豫メ管理者ニ報告シ大試験ノ期日ハ郡役所ノ報告ヲ

第二類 第三節 縣立學校 諸學校

持テ之ヲ定ムヘシ

但郡役所ハ豫メ大試験ノ期日ヲ縣廳ヘ報告スヘシ、明治二十一年五月縣令第六十二號ヲ以テ更正第十一條第十二條第十七條トモ

第十一條 大試験ハ郡長之ヲ監督ス

第十二條 大試験終了ノ後該校長ハ三日以内ニ試験ノ成績ヲ郡長ニ報告シ郡長ハ之ヲ統計シテ四月三十日マテニ知事ヘ開申スヘシ

第十三條 試験ノ評點ハ各學科一百ヲ以テ定點トス

第十四條 大試験ニ於テハ各學科ノ試驗得點ニ一學年内ノ各學科小試験評點ヲ平均シタルモノヲ合シ之ヲ折半シテ其學科ノ評點トス

第十五條 大試験ニ於テハ各學科ノ評點四十以上平均點六十以上ヲ得タル者ヲ以合格トス

第十六條 大試験問題ノ程度ハ別表ノ定ムル所ニ依ル(明治二十一年五月縣令第六十二號ヲ以別表更正)

第十七條 自己及ヒ父母病氣等不得止事故ノ爲メ大試験ニ欠席シタルモノニシテ一學年内ノ各學科小試験評點平均五十以上通約平均點六十以上ヲ得タルモノハ小學校長ノ見込ニ依リ臨時試験スルヲ得

第十八條 試験ノ場合ニ於テハ管理者ヨリ郡役所ニ報告シテ其指揮ヲ持ツヘシ
試驗ノ評點表ハ之ヲ便宜ノ場所ニ揭示シ且保存スヘシ

第十九條 此方法ハ小學校ニアテサル場所ニ於テ小學校ノ教育ヲ爲スモノニモ適用スヘキモノトス

第二十條 卒業證書ヲ授與スル者ニハ其在學中履修セル諸學科ノ成績續日常ノ操行ヲ審接シテ第四號書式ノ品定狀ヲ授與スヘシ(明治廿一年五月縣令第六十二號ヲ以追加次條共)

(表中印ハ朱書)

高等小學校		第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		各學科授業時間及度數比較
學科	程度	學年	程度	學年	程度	學年	程度	學年	程度	
修身	簡易ノ事柄ノ作法	上	前年ノ續	上	前年ノ續	上	前年ノ續	上	前年ノ續	度數比較 一三六
讀書	漢字交リ文ノ取	上	前年ノ續	上	前年ノ續	上	前年ノ續	上	前年ノ續	〇〇〇
作文	漢字交リ文ノ類	上	前年ノ續	上	前年ノ續	上	前年ノ續	上	前年ノ續	八〇〇
習字	楷書千字文ノ類	上	全	上	全	上	全	上	全	一一一
算術	筆算用數字ノ簡易ノ命位記數法加減法乘除法及暗算	上	全	上	全	上	全	上	全	二二二
		上	全	上	全	上	全	上	全	四四四

第二類 第三節 小學校

三百二十一

第二類 第三節 小學校

尋常小學校學				表	
學年	科目	修身	讀書	作文	習字
第一	學年	簡易ノ事柄	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字
第二	學年	前年ノ續	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字
第三	學年	前年ノ續	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字
第四	學年	前年ノ續	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字	簡易ノ漢字

裁縫ノ教授時間ハ辨術及體操ヨリ各一時ヲ取テ之ニ充テ其餘ハ更ニ增加スヘシ
 一英語ヲ加フルルハ其教授時間ハ讀書ヨリ二時ヲ習字算術地理歴史ヨリ各一時ヲ取リ之ニ充テ農業手工商業ノ一科若クハ數科ヲ設クルトキハ其教授時間ハ讀書習字算術地理歴史史唱歌ノ内ヨリ若干ノ時間ヲ取テ之ニ充ツヘシ

農業
 農具ノ名稱用法肥料ノ種類効用樹木空果實ノ栽培法家畜ノ飼養法魚介類ノ保護飼養法鳥類ノ飼養法及農家經濟ノ要領等
 手工
 紙工木工工具草工具金工具ノ種類効用瀛水風力利用ノ一斑
 商業
 貿易保險銀行郵便電信會社陸運水運貨幣並荷造株式公債手形鑑札買賣金銀取引帳合ノ心得及商家經濟ノ要路等

學科及其程度配當							
英語	裁縫	體操	唱歌	圖畫	理科	歷史	地理
六	五	六	四	二	二	二	二
習字	裁縫	體操	唱歌	圖畫	理科	歷史	地理
附書取	裁縫	體操	唱歌	圖畫	理科	歷史	地理
前年ノ續	前年ノ續	前年ノ續	前年ノ續	前年ノ續	前年ノ續	前年ノ續	前年ノ續

理科
 果木穀物蔬菜蔬草
 木人體禽獸蟲魚
 金銀銅鐵等ナルモ
 最緊切ナルモ
 空氣湿度水蒸氣雲霧
 山地震動水雷風雨火
 等ノ見董ノ目擊シ得ル
 前年ノ續及復音
 木禽獸等
 器具花菓實草
 自在畫
 磁石電信器械等
 兒童ノ用器ヲ得ルモ

歷史
 神代ノ初ヨリ
 德天皇ヲ立ツル
 孝德天皇即位ヨ
 リ平氏ノ滅亡ニ
 至ルマテ
 頼朝總追捕使ト
 ナルヨリ豐臣氏
 ノ滅亡ニ至ル迄
 德川家康制度ヲ
 定ムルヨリ現時
 ニ至ルマテ

地理
 本校近傍ノ地形
 本邦地理
 前年ノ續及地球ノ形
 狀書後ノ四季ノ原因大
 洋大洲ノ名目等並外
 國地理ノ概略

科及其程度配當表				
算術	圖畫	裁縫	唱歌	體操
六 實物ノ計方 球算ノ用法及暗算	六 直線曲線ノ單形 自在畫	六 衣類各部ノ名稱 及織物針等ノ名稱 綴方	六 單音唱歌	六 遊戲
全 珠算 加法減法及暗算	全 乘法除法及暗算	全 前年ノ續	全 前年ノ續	全 前年ノ續及兵式 體操
全 珠算 度量衡貨幣 雜題及暗算	全 自在畫 簡易ノ器具	全 前年ノ續及兵式 體操	全 前年ノ續及兵式 唱歌	全 前年ノ續及兵式 體操
二 四	四 四	六 六	六 六	六 六

圖畫ヲ設クルトキハ讀書及習字ヨリ各一時ヲ取テ之ニ充テ裁縫唱歌及農業ノ教授時間ハ更ニ加フヘシ

小學科試問ノ程度

修身 二題以上
 讀書 六題以下
 習字 壹題以上
 圖畫 壹題以上
 唱歌 壹題以上
 體操 三題以下
 裁縫 三題以下
 算術 四題以上
 地理 四題以上
 歷史 十題以下
 理科 十題以下

英語農業手工商業ノ一科若クハ數科ヲ特置スル場合ニ於テハ本文試問程度ニ準シテ施行スヘシ
 第一號書式 大奉書四ツ切
 第二號書式 全上

修業証書

校印 族籍 姓名

何小學科第何年ノ課程ヲ復修ス

明治 年 月 日

島根縣何郡何番學區
何小學校長 姓名印

卒業証書

校印 族籍 姓名

何小學科ヲ卒業ス

明治 年 月 日

島根縣何郡何番學區
何小學校長 姓名印

第何號

高等小學校ノ分ハ島根縣何郡何高等小學校長ト記載シ署名捺印スヘシ 全上

第三號書式

第何號

第四號書式

全上

三百二十六

修業證書

校印

族 姓

年 名 齡

何小學校温習科了ス

明治 年 月 日

島根縣何郡何番學區

何小學校長 姓 名 印

第何號

品 定 狀

何小學校卒業生

何 某

右ハ在學中ノ學業及ヒ操行ヲ審接シテ第何等ト品定ス

明治 年 月 日

島根縣何郡何番學區

何小學校長 姓 名 印

第何號

全上

○明治二十二年七月十八日縣令第五百五號

小學簡易科教則別紙ノ如ク改定ス

小學簡易科教則

全上

第一條 修業年限ハ三箇年トス

六箇月以上十二箇月以内ノ期限ヲ以テ補修科ヲ設クルコトヲ得此場合ニ於テハ縣知事ノ認可ヲ經ヘシ

第二條 授業時間ハ一日二時ヨリ少カラス五時ヨリ多カラサルモノトス

第三條 學科ハ讀書作文習字算術トス其程度ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

但授業時間四時以上ナルトキハ修身體操ヲ加フルコトヲ得

第四條 兒童ノ數六十人以下ノ場合ニ於テハ學級ヲ分ツコトヲ得ス

但土地ノ情況ニ因リ午前午後ノ二組ニ分チ教授スルコトヲ得

第五條 修身體操ヲ加ヘタルトキハ各學業時間割及其事由ヲ具シテ開申スヘシ

第六條 前條ニ掲ケル所ノ外ハ總テ尋常小學校ニ準スヘシ

小 學	科	年	第一 年	第二 年	第三 年	各 學 科 授 業 時 間 比 較
		每 週 時 間				

第二類 第三節 小學校

三百二十七

學 簡 易 科 課 程 表				
讀 書	作 文	習 字	算 術	通 計
假名ノ短語單句 簡易ノ漢字交リ 短句書取	假名ノ單語短 句簡易ノ漢字 交リ短句	假名 行書 日用文字	實物ノ計方 珠算ノ如裁 珠算ノ用法 珠算ノ暗算 珠算ノ暗算	五
上全	上全	上全	上全	四
漢字交リ文書取	簡易ノ漢字交リ 口上書類	行書 日用文字 口上書類	珠算 乘法除法及暗算	上全
上全	上全	上全	上全	上全
全上	全漢字交リ文 日用書類	行書 日用文字 日用書類	珠算 相場制度 簡易ノ利息算 及雜題暗算	全上
一五	六	一二	一二	五四

備考

本表ハ一日三時ヲ以テ基數トス其時數ヲ増減セントスルトキハ本表ニ比準スヘシ
 ○明治二十一年四月四日縣令第四十三號

尋常小學校裁縫專修科及簡易小學校裁縫科設置規則別紙ノ通相定ム
 (別紙)

第一條 尋常小學校裁縫專修科及簡易小學校裁縫科設置規則
 第一條 土地ノ情況ニ因リ簡易小學校ニ裁縫科ヲ加ヘ若クハ尋常小學校内ニ裁縫專修科ヲ

設置スルコトヲ得

第二條 簡易小學校ノ生徒ニシテ裁縫科ニ就クヲ得ヘキモノハ年齡滿八年以上ノ女子タル
 ヘシ

第三條 裁縫專修科ニハ尋常小學校若クハ小學簡易科ヲ卒業セシ女子ニアラサレハ就學ス
 ルヲ得ス

但學齡外ノモノハ此限リニアラス

第四條 裁縫專修科ハ上下ノ二學級ニ分チ一ヶ年ヲ以テ一學級ヲ卒業ルモノトス

第五條 簡易小學校ノ生徒ニ裁縫科ヲ教授スヘキ時度ハ每週十二時六度ト定メ通常授業ノ
 時限外トス

第六條 裁縫專修科ノ授業ノ時度ハ大凡每週三十時六度トス

第七條 裁縫專修科ノ經費ハ授業料及寄附金等ヲ以テ之ニ充テ尋常小學校經費ノ内ヨリ支
 辨スヘカラス

第八條 裁縫科ノ試験ハ本縣小學校學科程度實施方法ニ準シ施行スルモノトス

第九條 裁縫專修科ノ卒業證書式ハ左ノ如シ

卒業證書

校	族籍
印	某何女姉妹等
	姓 名
	裁縫專修科上(下)級ヲ卒業ス
	明治何年何月何日
	島根縣何郡第何番學區
	何尋常小學校長姓名 <input type="checkbox"/>
	第何号

第十條 本則ニ據リ裁縫科若クハ裁縫專修科ヲ設置セントスルハ管理者ニ於テ教程表及生徒概數ヲ附シ且裁縫專修科ニ於テハ特ニ經費ノ收入支出ノ豫算ヲモ具シテ縣知事ニ伺出ヘシ

○明治二十二年七月十八日訓令第四百十七号 鳴鹿郡役所 市役所 戸長役場 町村役場
尋常小學校ニ溫習科ノ設置ヲ簡易小學校ニ補修科ノ設置ヲ伺出ルトキハ左ノ事項ヲ詳具スヘシ
但明治二十一年四月訓令第五十七号ハ廢止ス

- 一 溫習科若クハ補修科設置ノ事由
- 一 溫習若クハ補修ノ學科及其程度
- 一 溫習若クハ補修ノ度數及時數
- 一 教科用圖書
- 一 訓導人員
- 一 溫習若クハ補修生概數

○明治二十一年四月廿四日縣令第四十八號
小學校教科用圖書別紙ノ通り相定メ明治二十二年四月ヨリ之ヲ實施ス
但該圖書ハ其之ヲ課スヘキ最下ノ學級ヨリ用ヒ其他ノ學級ニ於テハ從來ノ教科用圖書ヲ兼用スヘシ尤土地ノ情况等ニ依リ各學級一般ニ之ヲ用キントスルトキハ學校管理者ヨリ其事情ヲ具シ縣知事ノ認可ヲ經ヘシ
(別紙)

小學校教科用圖書
第一條 小學校教科用圖書ハ左記ニ據ル
但文部大臣檢定未濟ノ圖書ハ其檢定ヲ經タル後ニアラサレハ之ヲ用フルヲ得ス檢定濟ノ上ハ其都度之ヲ告示スヘシ
第二條 一學科ノ圖書ヲ數種ニ規定セシ者ハ學校管理者學校長協議ノ上適宜其一種ヲ選用

小學用校	新撰小學	校用新	帳簿	正訂	小學	校用	定新	新撰	高等	小學
小學用校	小學地理	小學地理	小學暗算	小學算術	小學算術	小學算術	小學算術	小學算術	小學算術	小學算術
四	四	四	二	二	十	十	十	六	八	四
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊
福地	森豐岡	岡村	福澤	森下	青野	古川	小笠	辻原	比叟	高林
敬復	孫俊	增敬	嶋修	森下	野川	笠原	笠原	比叟	比叟	高林
一之	郎	郎	吉	郎	楠	諸	四	孝	之	三

高等	高等	音	唱	幼	小	小	新撰	定新	新撰	尋常
小學讀	小學讀	樂指	歌掛	稚園	學唱	學習	小學習	小學習	小學習	小學習
八	八	一	二	一	三	三	二	一	八	八
冊	冊	冊	編	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊
野井	西池	內田	文部省	文部省	文部省	井汲	許相	體操	高林	卷鈴
周次	村正	田彌	文部省	文部省	文部省	井汲	許相	體操	高林	卷鈴
吉	永三	彌一	取調	取調	取調	陸二	川英	傳習	木和	木和

高等小學校理科	八	冊	理化ノ部 朝平賀茂 六美郎
礦物 <small>（小學校用）</small> 地理	五	冊	平瀬作五郎
高等小學校圖書科	二	冊	平瀬作五郎
圖書指要	一	冊	陸軍省
高等小學校體操科	一	冊	陸軍省
步兵操典	一	冊	陸軍省
高等小學校裁縫科	三	冊	渡邊辰五郎
普通裁縫教授書	六	冊	池田孝
小學裁縫圖解	七	冊	ロングマン
高等小學校英語科	十一	冊	パンテール
會話本	三	冊	スベンセリアン
習字本	三	冊	古澤角三郎
高等小學校農業科	三	冊	中根壽
農業書			
新撰農業書			

高等小學校手工科	二	冊	平賀義美
手工教科書	二	冊	三原國一郎
高等小學校商業科	二	冊	植村善作
初學商業書	二	冊	植村善作
尋常小學校溫習科	二	冊	植村善作
尋常小學校溫習讀本	二	冊	植村善作

（明治二十一年九月告示第九十五号ヲ以中決定済及高等小學校英
 語科讀本、習字本ハ檢定未済ナルモ採用苦シカラサル旨告示）
 一 小學簡易科及高等小學校讀書科用書中ニハ追テ文部省編輯局ニ於テ著作アルヘキ小學簡
 易科讀本及高等小學校讀本ヲ挿入スヘシ
 一 高等小學校地理科用書中本縣地誌ニ係ルモノハ追テ撰定スヘシ

○明治二十年三月九日縣令第二十九號
 小學校々則別冊ノ如ク定ム
 （別冊）

小學校々則
 第一章
 第一條 小學校ニ於テ入學ヲ許スヘキ者ハ學齡兒童ニシテ種痘若クハ天然痘ヲ歷タルモノ

トス

- 第二條 兒童ノ入學ヲ請フ者ハ其父母後見人等ヨリ該學校ニ申出ヘシ
- 第三條 入學ノ時期ハ每學年ノ始メトス
- 第四條 生徒疾病事故アリテ缺席一週間以上ニ及フトキハ父母後見人等ヨリ其事由ヲ届出ヘシ
- 第五條 前條事由ノ届出ナキトキハ學校ヨリ其出席ヲ督促スヘシ
- 第六條 生徒ハ勿論其同居家族傳染病ニ罹リタルトキハ其全癒ニ至ルマテ出校ヲ禁ス
- 第七條 官立公立私立學校ニ入學禁止ノ處分ヲ受ケタル者ハ入學スルコトヲ許サス
- 第八條 生徒他ノ學校ニ轉學スルトキ若クハ止ヲ得サル事故ニ由リ就學猶豫ノ許可ヲ得タルトキハ父母後見人等ヨリ其旨届出ヘシ

第二章

生徒心得

- 第一條 凡生徒ハ校則ヲ守リ教師ノ教訓ニ隨フヘシ
- 第二條 長上ニ對シテハ禮讓ヲ守リ朋友ニ交ルニハ信義ヲ主トスヘシ
- 第三條 上校ハ始業時間十分前トス
- 第四條 雨衣ヲ着ケ頸卷ヲ纏ヒ又ハ帽ヲ冠リシ儘校舍ニ入ルヘカラス
- 第五條 日用品ハ遺忘ナク持參スヘシ但滯益ノ玩弄物ハ持參ス可ラス

第六條 授業時間ノ外教師ノ許可ナクシテ教場ニ出入シ又ハ書籍器械等具備ノ物品ニ手ヲ觸ルヘカラス

第七條 校内ニ於テ書籍筆紙墨等總テ貸借ヲナスヘカラス若餘儀ナキ事アルトキハ教師ニ告ケ其指揮ヲ待ツヘシ

第八條 上校ノ節ハ各自履傘等ヲ整ヘ猥リニ他人ノ物ヲ假用スヘカラス

第九條 課業中ハ私語外見シ又ハ教師ノ許可ナクシテ猥リニ其席ヲ離ルヘカラス

第十條 圖書戸壁等ニ戯書シ或ハ之ヲ汚損シ或ハ樹木ヲ伐傷シ或ハ瓦石ヲ擲チ或ハ塀牆ヲ超ユル等ノ舉動アルヘカラス

第三章

生徒懲戒

第一條 凡生徒心得ヲ犯シタル者アルトキハ小學校長教員級篤訓誡シ尙改メサルモノハ懲戒ヲ加フヘシ

第二條 生徒ノ懲戒ヲ分チテ留置(課業時)直立(放課時)ノ二法トシ其所犯ノ輕重及年齡ヲ量リ之ヲ施行スヘシ

第三條 留置ハ三十分以上二時間以下トシ直立ハ十分以上一時間以下トス

第四條 犯由重大ニシテ尙改悛ノ見込ナキ者ニ退校ヲ命セントスルトキハ其事實ヲ具シ經伺ノ上處分スヘシ

第二類 第三節 小學校

第二條 學校長ハ知事及郡長ノ指揮監督ヲ承ケ校務ヲ整理シ訓導授業生ヲ統督ス

第三條 學校長ハ郡長及戸長ニ於テ訓導授業生ノ進退黜陟ヲ申請スルトキハ其議ニ參スルコトヲ得

第四條 學校長轉免ノトキハ書記目錄及演說書ヲ調製シ其事務ヲ後任ノ者ニ引渡スヘシ後任ノ者ナキトキハ戸長ニ引渡スヘシ

第五條 訓導ハ學校長ノ監督ニ屬シ敎務ヲ掌ル學校長欠員若クハ欠席ノトキハ首座訓導其職務ヲ掌ル

第六條 訓導ハ生徒ノ進退賞罰等ノ議ニ參スルコトヲ得

第七條 小學校ニハ授業生ヲ置クコトヲ得

第八條 授業生ハ學校長及訓導ノ指揮ヲ承ケ訓導ノ職掌ヲ助ク

第九條 訓導授業生ノ員數ハ學校ノ等位及生徒ノ員數ニ應シテ之ヲ定ム

●小學校生徒貯金規程

○明治二十一年五月十二日訓令第七十七號 郡役所 戸長役場

小學校生徒貯金規程別紙之通相定ム

(別紙)

第一條 學校ニ於テハ生徒ニ勤儉ノ徳ヲ行ハシメンガ爲メ其勞働若クハ父母尊長等ヨリ得

小學校生徒貯金規程

タル金錢ノ幾分ヲ貯蓄セシムヘシ

第二條 學校長ハ生徒ノ貯金ニ關スル事ヲ取扱フヘシ

第三條 學校長ハ貯金預渡臺帳ヲ製シ置キ其出納ヲ明確ニスヘシ

第四條 學校長ハ生徒ノ貯金ヲ遞信省爲換貯金局ヘ預ケ入レ又ハ拂戻等ノ手續ヲナスヘシ但同局ヘ預ケ入ルコトヲ得サル端數ノ金員ハ便宜確實ノ方法ヲ以テ保管スヘシ

第五條 死亡及退學又ハ止ムヲ得サル事故ノ外ハ生徒ノ貯金ヲ拂戻スヘカラス

第六條 郡長ハ毎年一月七月左ノ表ヲ製シ縣廳及郡内ニ報告スヘシ

何郡内小學校生徒貯金報告

校名	生徒人員				金額	物金額
	男	女	男	女		
合計	男	女	男	女		

第七條 此規程ニ基キ貯金ニ關スル一切ノ細則ハ郡長ニ於テ之ヲ定メ縣知事ヘ開申スヘシ

●小學校生徒敬禮式

○明治二十一年十二月十九日訓令第百七十二號 島廳 郡役所 戸長役場
小學校生徒敬禮式左ノ如ク定ム

小學校生徒敬禮式

- 一 尊長ニ對スルトキハ左ノ敬禮ヲ行フヘシ
直立シテ姿勢ヲ正クシ手ヲ前ニ垂レ眼ヲ敬禮スヘキ人ニ注キ以テ體ノ上部ヲ少シク前ニ傾クヘシ
帽ヲ冠スルトキハ右手ニテ帽ヲ脱シ其裏面ヲ外ニ見ハサハル様ニナシ左手ト共ニ垂ルヘシ其他前ニ全シ但女子ハ帽ヲ脱スルヲ要セス
物體ヲ携帶シテ両手ヲ垂レ若クハ帽ヲ脱スル能ハサルトキハ其敬禮スヘキ人ニ注目シ體ノ上部ヲ少シク前ニ傾クヘシ
行進中ニ在リテハ先ツ歩ヲ止メ前ノ如ク敬禮スヘシ
- 一 敬禮スヘキ人ノ教室ニ臨ミタルトキハ教師ノ指示ニ從ヒ其席ニ直立シ前ノ如ク敬禮ヲ行フヘシ敬禮終ラハ直立ニ復シ後席ニ就クヘシ
- 一 同輩ニ對スルトキハ左ノ敬禮ヲ行フヘシ
頭ヲ少シク前ニ傾クヘシ
帽ヲ冠スルトキハ帽ヲ脱スルニ止ムヘシ女子ハ帽ヲ脱スルヲ要セス其儘頭ヲ少シク

前ニ傾クヘシ

物體ヲ携帶シテ帽ヲ脱スルコト能ハサルトキハ其儘頭ヲ少シク前ニ傾クヘシ
行進中ニ在リテハ歩ヲ止メスシテ前ノ如クスヘシ

●學齡兒童就學規則

○明治二十年三月九日縣令第二十五號
學齡兒童就學規則別冊ノ如ク定ム
(別冊)

學齡兒童就學規則

- 第一條 凡兒童ノ翌學年ノ始迄ニ學齡ニ入ル者アルトキハ父母後見人等ハ本人ノ氏名族籍誕生ノ年月日及就學セシムヘキ小學校ヲ記載シ該學年ノ始三十日前ニ兒童現住地ノ戸長ニ届出ヘシ
- 第二條 前條ノ兒童ニシテ就學セシムルコト能ハサルトキハ父母後見人等ハ本人ノ氏名族籍誕生ノ年月日及就學セシムルコト能ハサル事由并猶豫期限ヲ記載シ翌學年ノ始三十日前ニ戸長ヲ經テ郡長ニ届出ヘシ
- 第三條 左項ニ該當スルモノニアラサレハ就學ノ猶豫ヲ請フコトヲ得ス
但就學猶豫ノ期限ハ第一項ノ外總テ一學年以内タルヘシ
- 一 痲疾ノ者

一 疾病ニ罹リ速ニ治癒ノ目的ナキ者
 一 身体ノ發育尙就學ノ度ニ適セサル者
 一 一家貧窶ノ者

第四條 就學猶豫ノ許可ヲ得タル者ト雖其期限内ニ於テ就學セシムルコトヲ得ヘキ場合ニ至リタル時ハ父母後見人等ヨリ其就學セシムヘキ小學校ヲ記載シ戸長ニ届出ヘシ

第五條 就學猶豫ノ許可ヲ得タル者ニシテ満期ノ後就學セシムル者ハ父母後見人等ヨリ其就學セシムヘキ小學校ヲ記載シ戸長ニ届出ヘク又就學セシムルコト能ハスト認ムル者ハ第二條ノ手續ニヨリ満期三十日前ニ更ニ猶豫ヲ届出ヘシ

第六條 兒童就學ノ後未タ尋常小學校ヲ卒ハラスシテ就學セシムルコト能ハサル場合アルトキハ父母後見人等ハ第二條ノ手續ニヨリ猶豫ヲ届出ヘシ

第七條 學齡兒童ノ未タ尋常小學校ヲ卒ラサル者ヲ他ノ學區ニ轉居セシメントスルトキハ父母後見人等ヨリ其旨ヲ兒童現住地ノ戸長ニ届出學齡送籍書ヲ得テ之ヲ轉居地ノ戸長ニ届出ヘシ

第八條 學齡兒童ノ未タ尋常小學校ヲ卒ラサルモノ他學區ヨリ轉居シタルトキハ父母後見人等ヨリ其就學セシムル者ハ第一條ニ準シ届出ヘク就學セシムルコト能ハサル者ハ第二條ニ準シ届出ヘシ

○明治二十年三月九日訓令第五十五號 郡役所 戸長役場

學齡兒童就學規則取扱心得別冊ノ如ク定ム

(別冊)

學齡兒童就學規則取扱心得

第一條 學齡兒童ノ就學事務ハ戸長之ヲ掌理シ郡長之ヲ總管スヘシ

第二條 戸長ハ毎年入學期二十日前ニ於テ入學スヘキ兒童ノ氏名族籍及誕生ノ年月日ヲ記シ小學校長ニ通知スヘシ

第三條 小學校長ハ入學期日後十日以内ニ該兒童ノ入學セサル者アルホハ之ヲ戸長ニ報告スヘシ

第三條 規則第七條學齡送籍書ニハ其入學ノ年月日及現今ノ學期又ハ其入學セサルモノト其事故猶豫期限等ヲ記入スヘシ

第四條 戸長ハ入學猶豫ヲ願出ル者アルトキハ其事實ヲ審査シ之ニ意見ヲ付シテ郡長ニ進達スヘシ

第五條 退學又ハ規則第六條ノ猶豫ヲ許可シタルモノアルトキハ戸長ヨリ其氏名ヲ小學校長ニ通知スヘシ

第六條 戸長ハ規則第一條第二條ノ手續ヲ爲サル者又ハ上校若クハ入學ヲ怠ル者アルトキハ其父母後見人等ニ就キ督責ヲ加フヘシ

第七條 戸長ハ父母後見人等猶前條ノ督責ニ服セサル者アルトキハ郡長ニ具申シテ處分ヲ請フヘシ

●小學校檢閱規則

○明治二十一年十月十五日訓令第四百十六號 鳥廳 郡役所 戸長役場
小學校檢閱規則別紙ノ如ク相定ム

(別紙)

小學校檢閱規則

- 第一條 小學校檢閱ハ小學校ノ實況ヲ觀察スルカ爲メ施行スルモノトス
- 第二條 檢閱委員ハ縣廳學務吏員及尋常師範學校職員中ヨリ臨時之ヲ命スルモノトス
- 第三條 檢閱スヘキ郡及日限ハ檢閱二十日前ニ鳥廳郡役所ニ告示スヘシ
- 第四條 檢閱スヘキ小學校ハ檢閱委員ニ於テ便宜之ヲ定ム
- 第五條 小學校管理者及學務主任屬郡書記ハ檢閱ノ際臨席スヘシ
- 第六條 檢閱ノ事件ハ左ノ三項トス
 - 第一項 學區ニ關スル事項
 - 第二項 學校ニ關スル事項
 - 第三項 職員ニ關スル事項
- 第七條 學區ニ關スル事項ハ左ノ各項トス
 - 第一項 學區内一般ノ情態
 - 第二項 學齡子女就學不就學ノ景況

- 第三項 生徒授業料ノ金額及納不納ノ景況
- 第四項 學校ニ屬スル資産ノ管理及其收入ノ景況
- 第五項 町村費支辨若クハ補助ノ有無及其景況
- 第六項 學校經費ノ收支及物品ノ出納法
- 第八條 學校ニ關スル事項ハ左ノ各項トス
 - 第一項 學校全体管理ノ整否
 - 第二項 教室ノ整否
 - 第三項 圖書器械及器具ノ整否
 - 第四項 教授器械及教室器具ノ適否
 - 第五項 教員配置ノ當否
 - 第六項 授業ノ景況
 - 第七項 教則實施ノ概況
 - 第八項 生徒學力ノ進否身体ノ健否及品行氣質ノ良否
 - 第九項 貯金ノ景況
 - 第十項 諸表簿ノ整否
- 第九條 職員ニ關スル事項ハ左ノ各項トス
 - 第一項 操作

第二項 學力

- 第十條 島司郡長ハ第三條ノ告示ヲ得テヨリ十日間ニ嶋司郡長管理ニ係ル者ハ島司郡長其
他ハ學校管理者及學校長ヲシテ別紙書式ニ據リ左項ノ書類ヲ調製セシメ檢閱委員ノ通知
ニヨリ之ヲ同委員ニ差出スヘシ
 - 一 學區内一般ノ情態取調書
 - 二 學齡子女就學不就學ノ景況取調書及統計表
 - 三 生徒授業料ノ金額及納不納ノ景況取調書
 - 四 學校ニ屬スル資産ノ管理及其收入景況取調書並資産一覽表
 - 五 町村費支辨若クハ補助ノ有無支辨若クハ補助ヲ受ケル者ハ其景況取調書
 - 六 經費ノ豫算收入支出殘高一覽表
 - 七 學校全部ノ地所建物圖面
 - 八 職員授業生徒丁等姓名俸給一覽表
 - 九 出席欠席一覽表
 - 十 授業時間制並受持教員姓名表
 - 十一 在籍生徒、出席生徒、卒業生徒、生徒日々出席平均一覽表
 - 十二 貯金一覽表
 - 十三 圖書、器械、器具、標本、藥品類別統計表

第十一條 第七條ノ第二項乃至第五項ハ第十條取調書ニ由テ檢閱シ第六項ハ其帳簿等ニ就
キ之ヲ檢閱スルモノトス

第十二條 第八條ノ第一項乃至第七項ハ學校全体及第十條取調書ニ由テ檢閱シ第八項ハ實
況及現級以下ノ學級ニ應シタル問題ヲ發シテ檢閱シ第九項第十項ハ表簿ニ就キ之ヲ檢閱
スルモノトス

但第六項乃至第八項ハ其學校ノ授業時間ニ於テ之ヲ檢閱スヘシ

第十三條 第九條ノ各項ハ第八條各項ノ實況及第十條ノ取調書ニ由リ之ヲ檢閱スル者トス

第十四條 檢閱委員ハ檢閱中其檢閱セシ學區學校又ハ職員ニ關シ優劣ヲ公言スルヲ得ス

第十五條 檢閱委員ハ檢閱ヲ卒ヘタル後會議ヲ開キ其檢閱セシ學區學校及職員ノ優劣ヲ判
定シ且檢閱ノ實況ヲ縣知事ニ具申スヘシ

第十六條 縣知事ハ檢閱ヲ經タル小學校及其優劣ヲ島郡町村ニ告示シ職員ノ優劣ハ島司郡
長ニ指示スヘシ

第十七條 縣知事ハ檢閱委員ノ具申ニ依リ教員ノ合格セスト認定スル者アルトキハ其教員
免許狀ヲ沒收スヘシ

(取調書式)

何郡何高等小學校
何初等學區何常小學校ニ係ル取調書
一 學區内一般ノ情態

第二類 第三節 小學校

何々
一學齡子女就學不就學ノ景況

何々
學齡子女就學不就學統計表

學齡

男

女

學齡百人ニ付テノ就學

就學

男

女

不就學

男

女

不就學

男

女

一學校ニ屬スル資産ノ管理及其收入ノ景況

何々

資産一覽表

蓄積	田畑	反別	宅地	反別
	山林	價格	建物	坪數
米穀	石數	証券	現金	
	價格			

一町村費支辨若クハ補助ノ有無及其景況

何々

一經費ノ豫算、收入、支出、殘高一覽表

種別	總計	給學校	給訓導	給學業	給生業	雜給	校給	費營	繕費
支出									
支出高									
殘高									
種別	總計	授業	料學	學資	收益	金雜	收入	町村	登補助
收入									
收入高									
殘高									

右之通ニ候也
明治何年何月何日

小學校檢閱委員

御中

又ハ

郡鳴

長司

姓

名

印

何郡何村戸長

姓

名印

何郡何高等小學校 何番何番學區 何等簡易 小學校ニ係ル取調書
 一生徒授業料ノ金額及納不納ノ景况
 何々

授業料一覽表

一箇年總額	一箇月總額	最多額	最寡額	平均額	生徒一人ニ付テノ平均額
-------	-------	-----	-----	-----	-------------

一學校全部ノ地所及建物圖面

△備考 校舍ノ區畫構造及敷地ノ摸樣等詳細ナル圖面ヲ調製スヘシ
 一職員授業生校丁等姓名俸給一覽表

職別	月俸	資格	姓名
學校長			
訓導長		△何師範學校卒業又ハ何試驗合格何免許狀領受	
授業生			
事務係			
校丁	一人員		
		日給	

△備考 兼務ノ者ハ朱書スヘシ
 一職員授業生校丁等出席欠席一覽表

職別	出席日數	欠席日數	席一箇月平均數	出席姓名
學校長				
訓導長				
授業生				
事務係				
校丁				

△備考 檢閱ノ告達ヲ受ケタル其前月ヨリ溯リ一箇年間ニ就キ其實數ヲ掲クヘシ一箇年ノ滿タサルモノハ其就職ノ日ヨリ起算スヘシ
 兼務ノ者ハ朱書スヘシ

一授業時間割并受持教員姓名表

日	自何時至何時	自何時至何時	自何時至何時	自何時至何時	自何時至何時	自何時至何時	自何時至何時	自何時至何時	時數	姓名
月曜日										
火曜日										
水曜日										
木曜日										
金曜日										
土曜日										

△備考 (自何時至何時)ノ欄内ニハ(何學科何年級)ト記スヘシ
 兼務ノ者ハ朱書スヘシ

第二類 第三節 小學校

一在籍生徒出席生徒卒業生徒日々出席平均一覽表

種別	高等(尋常)小學科(小學簡易科)				
	總數	一年級	二年級	三年級	四年級
在籍生徒					
出席生徒	女				
	男				
卒業生徒	女				
	男				
日々出席平均	在籍生徒百人ニ付テ出席生徒				

△備考 小學簡易科ハ四年級ノ欄ヲ除クヘシ
貯金一覽表

種別	總額	最多額	最寡額	平均額	一人ニ付テ
職員					
生徒					

△備考 職員ノ項ニハ學校長ヨリ授業生ニ係ルモノ迄ヲ掲記スヘシ
一圖書器械器具標本藥品統計表

種別	部	數	冊	數	價	格
圖書						
器械						
器具						
標本						
藥品						

種別	何學科		何學科		何學科		個數	價格
	書	圖	書	圖	書	圖		
	何學科		何學科		何學科			
器	械		何學科	何學科	何學科	何學科		
	具		何學科	何學科	何學科	何學科		
標	本		何學科	何學科	何學科	何學科		
	品		何學科	何學科	何學科	何學科		
藥	品		何學科	何學科	何學科	何學科		

右ノ通ニ候也
明治何年何月何日

又ハ 何郡何高等小學校長 姓名印
何郡第何番學區何尋常小學校長 姓名印

小學校檢閱委員 御中

●小學校建築標準

○明治二十二年二月十五日訓令第三十一號 鳥廳 郡役所 戶長役場
校舍建築ノ適否ハ教育上利害ヲ來ス尠カラス故ニ經營ノ初ニ於テ深ク之カ計畫ニ注意スヘシ茲ニ小學校建築ニ係ル標準ヲ示ス左ノ如シ

小學校建築標準

- 第一條 小學校ノ建築ハ質素ニシテ堅牢ヲ旨トシ苟モ虛飾ニ流レ實用ニ負ク可カラス
- 第二條 校舍ヲ經始スルニハ光線空氣溫度ノ適否ニ注意セサルヘカラス
- 第三條 校舍ヲ建築セント欲セハ先ツ敷地ヲ撰擇セサルヘカラス其概要左ノ如シ
 - 第一項 校舍建築ノ位置ハ人口ノ疎密道路ノ通塞山川ノ向背等ヲ觀察シ生徒通學ノ便ヲ要ス
 - 第二項 學校敷地ハ寬廣平坦高燥開豁ニシテ常ニ大氣ヲ通シ日光ヲ受ケ尙ホ氣色ニ富メルヲ要ス
 - 第三項 敷地ノ方位ハ大概東南若クハ南方ニ面シ其北方ハ林樹邱山等アルヲ良トス
 - 第四項 敷地ノ廣袤ハ學齡兒童ノ數ニ應シテ之ヲ區畫スヘシ例之ハ學齡兒童百人アル町村ニ於テハ少クモ二百五十坪以上タルヘク尙ホ百人毎ニ百坪ヲ増シ百人未滿ナルモノハ一人ニ付少クモ三坪以上タルヘシ若シ四五十人ニ過キサルノ學齡兒童ト雖モ百五十坪ヲ下ル可ラス

第五項 建坪地形ハ可成の高キヲ要ス

第六項 左ニ記スル土地ハ校地ニ用フ可ラス

- 一 生徒ノ思考ヲ攪擾シ耳目ヲ誘導スヘキ場所ニ近接スル地所
- 二 近傍ニ汚濁ノ沼溝等アル地所

第四條 校舍ハ左ノ項々ニ從ヒ教室体操場教員詰所生徒扣所小使詰所及便所等ヲ設備スヘク又講堂食堂應接所書器室等ヲ加フルヲ要ス

高等小學校ニ於テハ前項ノ外理科室及農業手工等ノ實驗場并寄宿舎ヲ設備スヘシ

第一項 教室ハ長方形ヲ良トス其平面ハ兒童一人ニ付三尺平方ノ割合ヲ下ラサルヲ要ス

第二項 敷教室ヲ設クルトキハ生徒ヲシテ教室內ヲ通過セシメサルカ爲メ教室外ニ樣側若クハ廊下ヲ設クヘシ

第三項 教室內教師ノ位置ハ臺座ヲ設ケ授業ニ便ナラシムルヲ要ス

第四項 体操場ハ堅牢ノ板ヲ以テ間隙ナキ様平坦ニ密接シ且最モ通風ニ便ナラシメンカ爲メ周囲ハ窓ヲ設クヘシ

第五項 教員詰所ノ位置ハ生徒ノ監督ニ便ナルヲ要ス

第六項 生徒扣所ハ可成男女ヲ區別シ其廣サハ生徒ヲ容ルニ裕ナルヲ要ス

第七項 講堂ハ長方形ニシテ全校生徒ヲ容ルニ足ルヲ要ス

請堂ヲ設ケ難キ場合ニ於テハ豫メ教場ノ隔屏ヲ除キ一場タラシムルノ便ヲ設クヘシ
 第八項 便所ハ北方ニシテ校舍ヲ距ル二間以上ノ所ニ設ケ其周囲ニ樹木ヲ植ユヘシ
 便所ハ成ヘク男女ヲ區別シ又其割合ハ生徒百人ニ付大約三箇以上ヲ設クヘシ
 校舍ヨリ便所ヘノ通路ハ庇アル廊下ヲ設クヘシ
 大便所ノ溜ハ石又ハ漆喰叩ヲ用ヒテ汚穢分ノ地中ニ滲竄スルヲ防キ且頂上ニハ臭氣
 抜キヲ設クヘシ

小便所ノ構造ハ石又ハ漆喰叩ニテ溝ヲ造リ溝外ニ槽ヲ設ケ停滯セシメサルヲ要ス

第五條 校舍ノ建築ハ平屋造ヲ最良トス尤土地狹隘ナルルハ二階造ニ構造スルモ妨ケナシ

第六條 校舍ノ方位ハ地形ト恒風ノ都合ニ依ルヘシト雖モ東南若クハ南方ニ面スルヲ最良トス

第七條 校舍ノ天井及牀板ハ可成高キヲ要ス殊ニ教室ノ天井ハ床面ヲ距ル一丈以上トシ床板ハ地面ヲ距ル一尺五寸以上トス

第八條 校舍ノ内部ハ光線ノ度ニ應シ白色若クハ淡青色ノ壁ヲ用フヘシ尤モ其窓裏ニ帳幃ヲ備ヘ光線ヲ加減スルモ妨ナシ

第九條 窓ハ床面ヲ距ル凡三尺ノ所ヨリ天井下ニ達セシメ其障子ハ成ルヘク硝子板ヲ用フルヲ良トス又採光窓ニ對スル側ニハ天井ノ際ニ凡三尺四方ノ通氣窓ニ箇若クハ三箇ヲ設クルヲ要ス

教室ノ窓ハ生徒ノ左方ニ設クヘシ若シ左方ニ設ケル能ハサル場合ニ於テモ生徒又ハ教員ノ前面ニ之ヲ設ケ可ラス而シテ其面積ハ教室ノ面積六分ノ一以上タルヘシ
 第十條 生徒昇降口ハ可成男女ヲ區別シ其構造ハ専ラ出入ニ便ナルヲ要シ其兩側適宜ノ場所ニ帽外套等ノ置場ヲ備フヘシ
 第十一條 二階ニ架設スル階梯ハ昇降シ易カラシムルカ爲メ可成半折シテ險遠狀ニナシ且欄干ヲ設ケ裏面ニハ板ヲ付スヘシ
 又生徒多數ナルトキハ二箇所ニ設クヘシ幅ハ四尺以上ニシテ各段ノ高サ四寸乃至五寸タルヘシ又七寸勾配ヨリ強クスヘカラス
 第十二條 學校敷地ノ周邊ニハ牆若クハ柵ヲ設クヘシ
 第十三條 遊歩場ハ乾燥廣濶ニシテ土砂等ヲ布キ且種々ノ草木ヲ植ユヘシ

沿革要領 明治五年十一月私塾家塾取立度モノハ伺出シム○六年五月第百八十八號私塾家塾ヲ停止シ不得止事情アルモノ及取立學科教授ノ爲メノモノハ伺出シム○七年七月第百七十一號小學校規則ヲ定ム(七年四月二日無號中教期更正)○全年十一月第百七十九號私塾家塾開業ノモノハ嚴重ノ沙汰ニ及フ可キ旨達○全年十一月第百五十九號學事ニ付學區取締局長取扱事務規則ヲ定ム○七年一月四日無號學區取締心得ヲ定ム○全年全日無號學事ニ係ル願伺ハ三通届ハ二通差出スヘキ旨達○全年四月第百七十五號小學校區畫ヲ定ム○全年四月第百八十二號諸學校口曜日ヲ以テ休暇日ト定ム○全年四月第百九十九號小學校々印寸法書体ヲ定ム○全年四月第百廿一號小學校事務取扱手續ヲ定ム(八年二月乙第十號更正)○全年六月第百六號學區取締ノ身分ハ假定ヲ以テ官吏ニ準シ取扱ヘキ旨達○全年七月第百五十四號小學

沿革要領 明治五年十一月私塾家塾取立度モノハ伺出シム○六年五月第百八十八號私塾家塾ヲ停止シ不得止事情アルモノ及取立學科教授ノ爲メノモノハ伺出シム○七年七月第百七十一號小學校規則ヲ定ム(七年四月二日無號中教期更正)○全年十一月第百七十九號私塾家塾開業ノモノハ嚴重ノ沙汰ニ及フ可キ旨達○全年十一月第百五十九號學事ニ付學區取締局長取扱事務規則ヲ定ム○七年一月四日無號學區取締心得ヲ定ム○全年全日無號學事ニ係ル願伺ハ三通届ハ二通差出スヘキ旨達○全年四月第百七十五號小學校區畫ヲ定ム○全年四月第百八十二號諸學校口曜日ヲ以テ休暇日ト定ム○全年四月第百九十九號小學校々印寸法書体ヲ定ム○全年四月第百廿一號小學校事務取扱手續ヲ定ム(八年二月乙第十號更正)○全年六月第百六號學區取締ノ身分ハ假定ヲ以テ官吏ニ準シ取扱ヘキ旨達○全年七月第百五十四號小學

第二類 第三節 小學校

校設立何書式ヲ定ム○全年七月第三百六十八號學區取締巡回教師日當更定○全年十二月第五百八十四號小學校休定期
 達○八年六月乙第八十三號小學校上下等卒業生徒大試驗旅行方法更定○全年六月乙第九十號學區取締給料增額達○全年
 六月甲第二百六十七號學事ニ係ル願届ハ普通ノ分同様差出スヘキ旨布達○全年八月乙第九十九號下等小學大試驗法更
 定○全年九月甲第三百六十號學區取締給與金ノ法ヲ定ム○全年十月廿八日無號裁縫教科同試驗法ヲ定ム○全年十一
 月四日無號小學校教則改正ニ付諸校則及教員心得ヲ定ム(十年三月十日無號課課更定)○全年十一月十九日無號上等小學
 校教則及上下等試驗法更定○全年十二月乙第八十四號裁縫試驗モ木科大試驗期節ニ施行スヘキ旨達○九年九月甲第二
 百九十六號八年甲第三百六十號布達廢止○全年十一月乙第百廿九號小學校標旗式ヲ定ム○十年四月廿六日無號小學上下
 等大試驗法更定○全年六月乙第五十二號小學稱號ヲ定ム○全年八月乙第八十六號小學試驗規則更定○全年八月丙第百九
 十三號小學支校ノ名稱ヲ定ム○全年九月乙第百三號小學生徒受業料更定○十一年二月九日無號小學上下等試驗法更定○
 全年三月甲第五十八號從來ノ學區取締ヲ廢シ一中學區ニ兩名ヲ置ク○全年三月丁第十六號學區取締章程出雲國ヘ達○全年九月甲第二
 シ區戶長ヲシテ擔任セシムル義出雲國取締兩國ヘ達○全年三月丁第十六號學區取締章程出雲國ヘ達○全年九月甲第二
 百四十七號小學教則中簡易科ヲ設ケ併用施行セシム○全年十一月二日無號小學教則更定○十二年二月甲第三十四號小學
 世話掛同保護人ヲ廢ス○全年三月十日無號小學規則更定○全年八月乙第百六十五號更定○全年六月乙第百廿九號小學
 臨時大試驗優等生賞牌條例ヲ定ム○全年八月乙第百五十八號小學校舍新築ハ落成ノ上其費用ヲ届出ツヘキ旨達○全年十
 一月甲第二十三號學務委員選舉手續ヲ定ム(全年十一月甲第二十四號全年一月甲第十三號更定)
 ○全年十一月乙第百廿九號學務委員心得書ヲ定ム(十三年二月乙第七號追加)○全年十二月甲第百廿一號本年三月十
 日頒布ノ小學規則ヲ廢シ教則校則等ハ教育主任之ヲ編製經同ノ上施行スヘキ旨達○十三年五月甲第八十二號私學校取扱
 規則及小學補助金ノ配付ヲ受ケタル私立小學管理方法ヲ定ム○全年七月甲第百十三號十二年甲第二百廿一號教則中教
 科書記載方達○全年七月甲第百廿五號小學教則同書式ヲ定ム○全年九月乙第五十八號公立學校設立分合同書式ヲ定ム
 ○全年十二月甲第二十三號私學校ニ六學科ヲ備ヘサルモノヲ小學校トシテ開設シ又學齡兒童ヲ入學セシムルヲ禁ス○

全年十二月甲第二十九號本年甲第百廿五號教則中教科書ハ記載ニ及ハサル旨及其開申書式達○十四年六月甲第九
 十四號學齡兒童就學督規則ヲ定ム○全年七月甲第百十一號町村立私立學校幼稚園書籍等設置廢止規則ヲ定ム(十六
 年七月甲第七十一號全年十月甲第九十三號更定)○全年十二月甲第百九十四號小學區畫ヲ定ム(十五年五月甲第九十六號
 十六年四月甲第三十九號全年七月甲第六十九號更定)○全年十二月甲第百九十五號十二年甲第二十三號布達ヲ廢シ更
 ニ學務委員職權規則ヲ定ム(十六年五月甲第四十九號更定)○十五年四月甲第六十六號小學教則教科書試業規則更定(全
 年九月甲第百三十七號十六年四月甲第四十七號全年七月甲第百二號全年十一月甲第百十四號十七年一月甲第四號十八
 年二月甲第四十號更定及追定)○全年五月甲第九十八號小學校々敷布達(十六年九月甲第八十四號增減布達止ム)○全
 年七月丙第十二號隱岐國町村立小學校々敷布達○全年十一月甲第百五十七號十三年甲第八十二號布達廢止○全年十一月
 甲第百五十八號私立學校雜則ヲ定ム○全年十一月乙第百十七號町村立學校例規及雜則教員任免例規ヲ定ム(十六年七月
 乙第九十七號全年十二月乙第百六十三號十七年二月乙第二十號更定)○全年十一月十七日無號十四年甲第九十四號布達
 廢止○全年十二月乙第百三十五號町村學事ニ付縣廳ノ認可ヲ經ヘキモノハ會議ノ評決ヲ認可スルノ前届出ツヘキ旨達○
 十六年七月甲第七十一號町村立小學校設置規則更定○全年十月乙第百四十一號專任學務委員欠員等ノ際事務措辦方及同
 委員事務所ノ件達○十七年八月甲第九十二號十四年甲第百九十四號十五年甲第百九十八號全年丙第十二號ヲ廢シ小學區畫
 校數等科位置ヲ定ム(十七年九月甲第百三十二號全年十一月甲第百五十九號甲第百五十九號全年十二月甲第百六十二號甲
 第百六十七號十八年一月甲第五號全年七月甲第百二十三號全年九月甲第百四十五號更定)○全年八月甲第九十三號十四
 年甲第百一十一號十六年甲第七十一號布達ヲ廢シ町村立私立學校幼稚園書籍設置廢止規則ヲ定ム(全年十月甲第百三十
 八號更定)○全年八月甲第九十五號十五年甲第百五十八號布達廢止○全年八月甲第九十九號町村立私立學校規則ヲ定ム
 ○全年八月甲第百二號小學校建築心得ヲ定ム○全年八月甲第百九號十五年甲第六十六號布達中小學試驗規則ヲ廢シ小學
 校試驗規則ヲ定ム○全年八月甲第百十五號小學督業規則ヲ定ム○全年八月甲第百十七號學校幼稚園書籍ニ四標及標杭
 ヲ造設セシム○全年八月乙第百八號十五年乙第百十七號教員任免例規中刪除更ニ町村立小學校發業生事務係任免例規ヲ

第二類 第三節 小學校

制定ス(十八年四月乙第五十號追加)○全年八月乙第百十三號十五年乙第百十七號十六年乙第百四十一號達廢止○全年六月郡乙第七十八號町村立學校幼稚園私立小學校職員ニシテ他ノ標準トナルヘキ者及學事ニ關スル篤志ノ者并小學校生徒優秀ノ者定時具狀ノ義達(十八年一月郡乙第七號二十年四月訓令第九十三號更正)○全年六月郡乙第八十號學齡兒童ヲ學校ニ入ルヌヲ巡回授業ニ依ラスシテ別ニ普通教育ヲ授ケタルコトヲ許シタル并其教則并教員履歷具狀ノ義達○全年八月乙第百十九號町村立小學校職員心得ヲ定ム(十八年七月乙第九十九號更正)○全年十一月甲第百五十四號町村立私立學校設置ノ認可ヲ受ケタル片岡申ハ十五日以内ニ於テスヘキ旨布達○十八年一月甲第十七號小學校附屬幼稚園保育科規則ヲ定ム○全年一月乙第十號町村立學校(無代下渡ノ地所ニ異動アル片岡出シム)○全年二月甲第四十號十五年甲第六十六號小學校教則及教科圖書更定(全年三月甲第五十號修身科用書ニ限リ當分實施セサル旨布達)○全年五月甲第八十三號全上實施ノ旨布達(十九年一月甲第一號更正)○全年二月乙第十九號巡回授業施設廢止手續ヲ定ム○全年八月乙第百十八號學務委員廢止ニ付從前同員取扱ノ事務ハ戶長(引繼自今戶長ニ於テ取扱フヘキ旨達)○十九年九月訓令第三十五號公立學校舍ヲ新築セントスルモノハ其伺書ニ若手年月日ヲ記載スヘキ旨訓令○二十年三月縣令第二十二號小學校設置ニ關スル規程ヲ定ム○全年三月縣令第二十三號學區及小學校等科位置ヲ定ム(全年四月縣令第五十號第五十三號全年五月縣令第五十五號第五十九號全年六月縣令第六十四號第六十五號全年八月縣令第八十三號第八十五號全年十月縣令第九十號第九十二號全年十二月縣令第百七號第百十二號二十一年三月縣令第三十六號全年四月縣令第四十六號全年九月縣令第八十七號全年十一月縣令第百七號更正)○全年三月縣令第二十六號小學校授業料規則ヲ定ム○全年三月縣令第二十八號小學簡易科教則ヲ定ム(二十一年五月縣令第五十九號更正)○二十一年四月訓令第五十七號溫習科設置伺出ニ要スル事項訓令○二十二年一月訓令第第二十七號郡乙第七十八號達廢止○全年二月縣令第十八號十七年甲第百二號布達取消○全年七月縣令第九十八號二十年縣令第二十六號廢止○全年七月縣令第百一號十七年甲第百十五號布達廢止

三 資産 教育費

● 小學校資産管理

○明治二十年三月九日訓令第五十三號 郡役所 戶長役場

小學校資産管理規程別冊ノ如ク定ム

(別冊)

小學校資産管理規程

- 第一條 小學校ノ資産ハ此規程ニ據リテ戶長ニ於テ之ヲ管理スヘシ
但二戶長役場以上ノ聯合ニ係ルモノハ郡長之ヲ管理スヘシ
- 第二條 小學校ノ資産ハ土地家屋公債證書積金等總テ確實ノ收入アルモノト爲ス其資産ハ務テ増殖ノ方法ヲ設クヘシ
- 第三條 小學校ノ資産ヲ變換シ若クハ質入書入ト爲シ若クハ元資ヲ支消シ或ハ小學校ノ爲メニ負債ヲ起サントスル時ハ其事由ヲ具シテ知事ノ認可ヲ受クヘシ又資産ヲ預ケ或ハ貸付ケントスルトキハ其方法ヲ具シ戶長ハ郡長ノ認可ヲ受ケ郡長ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第四條 災害其他ノ事故ニ依リ小學校ノ資産ニ變更ヲ生シタル時ハ其事由ヲ知事ニ届ヘシ
- 第五條 郡役所戶長役場ニ於テハ書式第一號資産臺帳及書式第二號積金貸付簿ヲ備置キ其管理ニ屬スル資産ノ増減變更若クハ預ケ入貸付等ニ關スル事項ヲ明確ナラシムヘシ(明治二十一年四月訓令第五十三號ヲ以更正)

第六條 戶長ノ管理ニ屬スル小學校ノ資産ハ毎年四月前年度收入支出ノ詳細ヲ具シ郡長ノ
檢査ヲ受クヘシ

第七條 郡長ハ郡内各小學校資産ヲ調査シ毎年五月中書式第三號ニ據リ前年度ニ係ル資産
ヲ報告スヘシ(明治二十一年四月訓令第五十三號ヲ以追加第八條共)

第八條 小學校ノ資産及其帳簿ハ臨時縣官ヲシテ檢閲セシムルコアルヘシ
第九條 此規程ハ町村立諸學校幼稚園書籍館ニモ適用スヘキモノトス(明治二十一年四月
訓令第五十三號ヲ以元第七條ヨリ繰下)

○明治二十年三月二十五日訓令第七十七號 郡役所 戶長役場
從來町村ニ於テ有スル學資積金ハ其町村會ノ評決ヲ經ル訓令第五拾三號ニ準據管理スヘシ

○明治十九年十二月二十日無號諭達
教育ノ振否ハ其資産ノ厚薄ニ關スルヤ言ヲ俟ス故ニ孜々之レカ蓄積ヲ爲スハ教育上緊要中
最緊要ノ事ニシテ方今亦其業ノ容易ニ非サルヲ知ル而ルニ多年利倍増殖シ以テ漸ク得ル所
ノ蓄積金一朝之ヲ支消スル向問々之レアリ是レ蓄積ノ素意ニ背クノミナラス實ニ將來教育
ノ盛衰ニ關係ス遺憾ニ堪ヘサルナリ仍テ爾後縱ヒ些少ノ金員タリトモ蓄積金ヲ支消セス深
ク追年増殖ノ計畫ニ注意スヘシ
右諭達ス

●小學校經費并授業料

○明治二十二年六月十九日訓令第七十七號 郡役所 市役所 町村役場

小學校經常ノ費用及創業費建築費等ノ臨時費ハ市町村費トシ授業料寄附金等ハ其市町村ノ
收入トスヘシ但其經常費ハ小學簡易科ニ係ルモノヲ除クノ外授業料及寄附金等ヲ主トシ支
辨スルヲ要スル儀ト心得ヘシ

○明治二十二年七月五日訓令第三百三十五號 郡役所 市役所 町村役場
小學校令第十條小學校經費收入支出報告ハ其事由ヲ附シ每三ヶ月取絡メ翌月十日限り差出
スヘシ

○明治二十二年七月五日縣令第九十九號 出雲國 石見國

小學校授業料ノ額ハ左ノ範圍内ニ於テ市町村ニ於テ適宜ニ之ヲ定ムヘシ

- 一 高等小學校 一ヶ月金拾錢以上壹圓以下
- 一 尋常小學校 全五錢以上五拾錢以下

沿革要領

明治八年九月乙第百三十八號小學校積金根種トシテ金三千圓ヲ各區ニ配賦ス○十年十一月乙第百三十二
號學資賦課方法要領達○十一年一月乙第十一號學資出納ニ關スル事件ハ區村總代人協議伺出シム(全年三月乙第三十九
號總代人協議ハ豫算外支出ニノミ適用スヘキ旨達)○全年二月乙第二十二號學資演人選定方達○十三年一月甲第三號教
育普及ノ爲交通部ヨリ配付ノ小學補助金舊三縣分各別ニ蓄積金三万七千七百七拾四圓四拾六錢五厘及合縣后本廳支拂積金
六千八百七拾六圓四拾八錢ヲ學齡人員ニ應シ各小學へ下渡ス○全年一月十二日無號全上補助金ノ内舊三縣分各別ニ蓄積
スルモノハ各小學ノ積金トシ嚴重保護ノ道ヲ盡シ舊三縣合併后ノ補助金ハ之ヲ常設ニ支出シ或ハ其幾分又ハ其金額ヲ積

金ニ増加スル等町村會ノ公議ニ決定スヘキ旨諭達○全年十月乙第六十四號全上補助金受拂ヲ毎年報告セシム○十四年六月乙第四十四號全上補助金壹萬貳百圓八拾貳錢貳厘更ニ各小學ヘ下渡ス(全年十月乙第八十三號郡別金額更正)十六年五月乙第六十號小學校資産中學區制定以前ニ係ル積金ニ限リ特ニ從前縣集組合町村ニ於テ保持スルヲ得ル旨達○十七年八月乙第百十一號町村立小學校學費規定達○全年八月乙第百十二號公學費徵收及取扱規則ヲ定ム(十七年十二月乙第百八十三號十八年四月乙第七十號更正)二十〇三月訓令第五十四號小學校經費收入支出方法ヲ定ム(全年五月訓令第百二十四號全年十二月訓令第百四十二號更正)○二十二年七月訓令第百三十四號全上廢止

四 教員

● 小學校教員授業生免許ニ關スル規定

○明治二十年三月九日縣令第三十一號

小學校教員學力檢定試驗細則別冊ノ如ク定ム

(別冊)

小學校教員學力檢定試驗細則

第一條 小學校教員學力檢定試驗ハ毎年十月島根縣尋常師範學校ニ於テ檢定委員ヲシテ之ヲ施行セシム

但試驗ノ期日ハ其時々之ヲ報告ス

第二條 試驗用圖書及方法等ハ其當時島根縣尋常師範學校ニ於テ實行スルモノニ據ル

但一學科ノ試驗ハ得点七十点以上數學科ノ試驗ハ一學科ノ得点六十点以上ヲ以テ合格トス(明治二十一年九月縣令第八十八號ヲ以テ更正第三條第四條第五條第六條第八條共)

第三條 一學科若クハ數學科ノ試驗ヲ受ケント欲スルモノハ左項ニ依ルモノトス

第一項 音樂 操体 農業 手工 商業 家事 英語 裁縫ノ諸學科ハ一學科若クハ數學科ノ試驗ヲ受クルコトヲ得

第二項 前掲ノ學科ヲ除クノ外ハ四學科以上ニアラサレハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第三項 前掲ノ學科ハ教授法ヲ其他ノ學科ハ教育學ヲ併課ス

第四條 身体ノ試験ハ醫員ノ検査ニ依ル

第五條 試験ヲ受ケント欲スルモノハ毎年八月限り別紙書式ノ願書ニ履歷書及試験料ヲ添
ヘ島司郡長ニ差出スヘシ

島司郡長ハ本人ノ品行ニ付意見ヲ付記シ九月十日限り願書ト共ニ知事ニ差出スヘシ

第六條 檢定ノ成績ニ依リ免許狀ニ等差ヲ立ルコト左ノ如シ

一等^{輪部}橙黃色 成績八分以上

二等^{輪部}桃色 成績七分以上

三等^{輪部}黒色 成績六分以上

島根縣尋常師範學校卒業生ニ授與スル免許狀ハ島根縣尋常師範學校ヨリ授付シタル品定
狀ノ等差ニ由ル

經歷ニ依リテ授與スル無期免許狀ノ輪廓ハ卵色トシ有期免許狀ハ其効績ニ依リ等差ヲ付
ス

第七條 試験ヲ受ケント欲スルモノハ試験料金五拾錢ヲ納ムヘシ

免許狀ヲ受クルモノハ免許料金三拾錢ヲ納ムヘシ

但島根縣尋常師範學校卒業生ハ此限りニアラス

免許狀ヲ毀損若クハ亡失タルカ爲メ其書換ヲ請フモノハ書換料金三拾錢ヲ納ムヘシ

郡長ハ本人ヨリ試験料免許料及書換料ヲ領收シタルトキハ之ヲ照應ニ送達スヘシ

第八條 免許狀ヲ有スルモノニシテ其有効期限内中轉籍若クハ轉居若クハ姓名ヲ變更シタル
トキハ島司郡長ヲ經テ知事ニ届出ヘシ

但死去等ノ時ハ本條ノ手續ニ依リ其親屬ヨリ届出ヘシ
願書式

小學校教員學力檢定試験願

私儀小學校教員志願ニ候間(一學科若クハ數學科ノ試験ヲ請フモノハ何々科ト記入スヘシ)御試験ノ上免許狀御授與相成度依テ
試験料並履歷書相添此段相願候也

年 月 日

住所族籍

姓 名 印

島根縣知事姓名殿

履歷書式

履歷書

住所族籍

姓 名

一生听

一本籍

何年何月生
當何月何年何ヶ月

一證書

卒業證書免許狀等ノ寫

一學業

修學ノ場所、年月、教師ノ姓名及學科等

一業務

官任、職業等ノ經歷

一賞罰

賞若クハ罰ヲ受ケタルコトアレハ其年月日及要領

右之通ニ候也

年月日

右 姓名 印

○明治十五年四月二十一日甲第七十七號

從來師範學校ノ卒業証書ヲ所持スル者ニシテ其有効年限ヲ記載セサル分ハ總テ之ヲ受ケタル月ヨリ向フ七箇年ノ効ヲ有スル者ト心得ヘシ此旨布達候事

○明治十七年九月二日甲第二百二十二號

本年ハ本縣甲第六號ヲ以テ小學校教員免許狀授與規則改定布達候ニ付テハ從前授與セシ教員免許狀有効年限ノ儀モ該授與セシ年月ヨリ起算シ滿三ケ年ノ効力ヲ有スルモノトス此旨布達候事

○明治二十年八月十九日縣令第八十四號

本年八月文部省令第六號ニ由リ小學校師範學校卒業証書若クハ小學校教員免許狀ノ有効期滿ニ至リ更ニ有効延期証書交附シタルトキハ該手数料トシテ金三拾錢納ムヘシ但証書紛失等

ニテ書替ヲ要スル場合ニ於テハ手数料金額本文ニ同シ

○明治二十一年九月十七日縣令第八十九號

小學簡易科教員免許規則別紙ノ如ク改定ス

(別紙)

小學簡易科教員免許規則

第一條 小學簡易科教員免許狀ハ十八年以上ニシテ島根縣廳ノ檢定ヲ經タルモノニ之ヲ授與スルモノトス

第二條 檢定ハ毎年五月出雲國松江及石見國濱田ニ於テ檢定委員ヲシテ之ヲ施行セシム

但場所及期日ハ其都度廣告ス

第三條 免許狀ハ四ケ年ヲ以テ有効期限トス

第四條 檢定ノ要目左ノ如シ

一學力

一品行

一身体

第五條 學力ノ檢定ハ試驗ニ依ル

第六條 試驗ハ本縣高等小學校ノ學科程度圖書及左ノ學科用書ニ據リテ之ヲ施行スヘシ但唱歌ハ當分ニテ除ク

讀書科

日本政記

十八史畧

教育科

初等教育論

改正教授術改正

學校管理法

賴久太郎 著
曾先之 編次

セームスカレー 原著
和久正辰 譯

若林虎三郎 著
白井毅 著

伊澤修二 著

第七條 品行ノ檢定ハ第八條ノ一項若クハ數項ニ觸ル、コトナキヤ否ヲ查察スルニ依ル
第八條 左ノ各項ニ觸ル、モノニハ免許狀ヲ授與セス又既ニ授與シタルモノト雖モ之ヲ沒
收ス

但特別ノ事情アルモノハ本文ノ例ニ依ラサルコトアルヘシ

一新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰
金ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラレタル者

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ輕
禁錮ノ刑ヲ受タルモノハ此限リニアラス

一 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一 身代限ノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

一 荒鹵暴激等總テ教員タルノ面目ニ關スル所行アルモノ

一 舊法ニ依リ懲役若クハ禁錮若クハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

但贖金罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ本文ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

第九條 一前項ノ刑ニ處セラレ存留養親老少癡疾婦女等ノ故ヲ以テ收贖ヲ聽サレタルモノ

第九條 身体ノ檢定ハ醫員ノ檢査ニ依ル

第十條 檢定ヲ受ケント欲スルモノハ三月限リ別紙書式ノ願書ニ履歷書及檢定料ヲ添ヘ島
司郡長ニ差出スヘシ

島司郡長ハ本人ノ品行ニ付意見ヲ副申シ四月十日限リ縣知事ニ差出スヘシ

第十一條 試験ノ評點ハ各學科一百ヲ以テ定點トシ一學科ノ評點五十以上總評點平均六十
以上ヲ得タルモノヲ合格トス

第十二條 檢定ノ成績ニ依リ免許狀ニ等差ヲ立ツルコト左ノ如シ

一等論部橙黃色 成績八分以上 二等論部桃色 成績七分以上 三等論部黒色 成績六分以上

第十三條 檢定ヲ受ケント欲スルモノハ檢定料金三拾錢ヲ納ムヘシ

免許狀ヲ受クルモノハ免許料金貳拾錢ヲ納ムヘシ

免許狀ヲ毀損若クハ亡失シタルカ爲メ其書換ヲ請フモノハ書換料金貳拾錢ヲ納ムヘシ

免許料及書換料ハ島司郡長ニ納ムヘシ郡長ハ本人ヨリ檢定料免許料及書換料ヲ領收シタルトキハ之ヲ縣廳ニ送達スヘシ

第十四條 免許狀ヲ有スルモノニシテ其有効期限内轉籍若クハ轉居若クハ姓名ヲ變更シタルトキハ島司郡長ヲ經テ知事ニ届出ヘシ

但死去等ノトキハ本條ノ手續ニ據リ其親屬ヨリ届出ヘシ

第十五條 免許狀様式左ノ如シ

何等免許狀

族籍

姓

名

生年月

右ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ何ケ年間
小學簡易科教員タルコトヲ免許ス

島根
年月日
縣印

島根縣知事位勳爵姓名印

番號

願書式

小學簡易科教員檢定願

私儀本縣小學簡易科教員志願ニ候間某所ニ於テ御檢定ノ上免許狀御授與相成度依テ檢定料並履歷書相添此段相願候也

年月日

住所族籍

姓

名

印

島根縣知事姓名殿

○明治二十一年九月十七日縣令第九十號

小學校授業生免許規則別紙ノ如ク改定ス

(別紙)

小學校授業生免許規則

第一條 小學校授業生免許狀ハ十五年以上ニシテ小學校授業生檢定試験ニ及第シタルモノニ之ヲ授與ス

第二條 小學校授業生檢定試験ハ島司郡長ニ於テ施行シ免許狀ハ其島郡内ニ限り有効ノモノトス

第三條 免許狀四ヶ年ヲ以テ有効期限トス

第四條 檢定ノ要目左ノ如シ

- 一 學力
- 一 品行
- 一 身体

第五條 學力ハ檢定試験ニ依ル

第六條 試験ハ本縣高等小學校ノ學科程度及左ノ學科用書ニ據リテ之ヲ施行スヘシ
但唱歌ハ當分之ヲ除ク

教育科

改正教授術

教育學

學校管理法

若林虎三郎 著

白井 毅 著

伊澤 修 二著

伊澤 修 二著

第七條 品行ノ檢定ハ第八條ノ一項若クハ數項ニ觸ル、コトナキヤ否ヲ查察スルニ依ル

第八條 左ノ各項ニ觸ル、モノニハ免許狀ヲ授與セス又既ニ授與シタルモノト雖モ之ヲ沒

収スヘシ

但本文免許狀ヲ沒収シタルモノアルトキハ其族籍姓名並事由ヲ具シテ縣知事ニ開申スヘシ

一新法ニ依リ 輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シ罰金ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラレタルモノ

但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ輕禁錮ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

一賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一身分限リノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

一荒蕪暴瀆等總テ授業生タルノ面目ニ關スル所行アルモノ

一舊法ニ依リ懲役若クハ禁錮若クハ鎖錮ノ刑ニ處セラレタルモノ

但贖金罰金ヲ納ムルコト能ハスシテ本文ノ刑ヲ受ケタルモノハ此限リニアラス

一前項刑ニ處セラレ存留養親老少癡疾婦女等ノ故ヲ以テ收贖ヲ聽サレタルモノ

第九條 身体ノ檢定ハ檢査ニ依ル

第十條 試験ノ評点ハ各學科一百ヲ以テ定點トシ一學科ノ評点五十以上總評点平均六十以上ヲ得タルモノヲ合格トス

第十一條 島司郡長ハ試験ノ期日及場所ヲ豫メ縣廳ニ報告スヘシ又免許狀ヲ授與セシモノ

ハ檢定成績表ニ試験問題及其答案ヲ添ヘ族籍姓名ヲ開申スヘシ
 第十二條 檢定ヲ受ケント欲スルモノハ檢定料金二十五錢ヲ納ムヘシ
 免許狀ヲ受クルモノハ免許料金十五錢ヲ納ムヘシ
 免許狀ヲ毀損若クハ亡失シタルカ爲メ其書換ヲ請フモノハ書換料金十五錢ヲ納ムヘシ
 檢定料免許料書換料ハ島司郡長ニ納ムヘシ郡長ハ仕譯書ヲ付シ縣廳ヘ送達スヘシ
 第十三條 檢定試験ニ係ル細則ハ島司及郡長ニ於テ之ヲ定メ縣知事ニ開申スヘシ
 第十四條 免許狀ノ書式左ノ如シ

免許狀	族籍
姓	名
何年何月生	
右ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マデ四ケ年間 小學校授業生タルコトヲ免許ス	
明治何年何月何日	

番號	何 <small>鳴司</small> 郡長位勳姓名印
----	-----------------------------

○明治二十年三月九日縣令第三十三號
 本年^本縣令第三十一號小學校教員學力檢定試験細則同第三十二號小學簡易科教員及小學校
 授業生免許規則發令以前ニ於テ授與シタル小學初等科教員免許狀ヲ有スルモノハ其有効年
 限間尋常小學科以下ノ授業生又小學中等科教員免許狀ヲ有スルモノハ其有効年限間高等小
 學科ノ授業生タルコトヲ得
 ○明治二十年七月二十五日縣令第七十六號
 小學簡易科教員免許狀ヲ有スルモノハ其有効期限内小學校授業生タルコトヲ得又明治二十
 一年九月十六日以前小學校授業生免許狀ヲ有シ年齡十八年以上ノモノハ其有効期限内小學
 簡易科教員タルコトヲ得(明治二十一年九月縣令第九十一號ヲ以更正)
 ○明治二十一年十月十一日告示第百八號
 小學教員及小學簡易科教員學力檢定試験受験人心得左ノ如ク定ム
 第一條 試驗前日試驗場ニ出頭届出テ當日ハ定時前ニ參集スヘシ若シ示定ノ日時ニ出頭セ

サル時ハ当期ノ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第二條 受験ニ要スル筆紙墨及器具ヲ持參スヘシ

裁縫科受験人ハ豫テ試験委員ニ承合セ受験用ノ織物及用品ヲ持參スヘシ

但本文用紙及織物ハ豫テ試験委員ノ検査ヲ受クヘク又用紙ハ習字科用ノモノハ白紙(半紙)其他ハ野紙(半紙)タルヘシ

第三條 試験委員ヨリ通知スル番號ヲ以テ其姓名ノ代表トナスヘシ

第四條 試験時間ハ試験委員ニ於テ試験場ニ揭示ス

第五條 試験室ハ定時十分前ニ開キ受験人ヲ入ラシメ定時ニ於テ閉鎖シ試験中出入ヲ許サス

第六條 書籍及草案類ヲ携帯シテ試験室ニ入ルコトヲ得ス

第七條 試験委員ノ命令ヲ遵守セサル者ハ常該ノ試験委員ニ於テ退室ヲ命スルコトヲ得

第八條 試験問題ニ關シテハ質問及應答ヲナスコトヲ得ス

第九條 試験室ニ於テ音讀ヲナスコトヲ得ス

第十條 答書ハ楷書若クハ行書ニテ分明ニ記載シ而シテ豫定ノ番號ヲ記スヘシ若シ番號ヲ脱落スレハ其答書ハ無効タルヘシ

但場合ニヨリ試験委員ニ於テ臨時ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第十一條 答書ハ試験委員ニ差出シタル後ハ閱見訂正若クハ返戻ヲ請フコトヲ得ス

第十二條 洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ但女子ハ此限ニ非ス

体操科受験ノ際和服ヲ着用スルモノハ受験上不都合ナキ様注意スヘシ

第十三條 合格者ノ姓名ハ其試験ヲ終リタル日ヨリ四週間以内ニ公告ス

●小學校長以下任免ニ關スル規定

○明治二十年三月九日訓令第五十七號 郡役所 戶長役場

小學校長訓導任免例規別冊ノ如ク定ム

(別冊)

小學校長訓導任免例規

第一條 小學校長及訓導ハ郡長ノ申請ニ依リ知事之ヲ任免ス

第二條 小學校訓導欠員セシトキハ三十日以内ニ後任者ヲ申請スヘシ

第三條 小學校長訓導疾病事故等ニテ辭職セントスルトキハ郡長ヲ經テ知事ニ願出ヘシ

第四條 小學校長訓導ハ任用ノ辭令書ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ赴任スヘシ

○明治二十年三月九日訓令第五十八號 郡役所 戶長役場

小學校授業生任免例規別冊ノ如ク定ム

(別冊)

小學校授業生任免例規

第一條 授業生ハ戶長ノ申請ニ依リ郡長之ヲ任免ス

第二類 第三節 教員

但授業生ノ申請ハ校長ト商議スヘシ

第二條 授業生疾病事故等ニテ辭職セントスルトキハ戸長ヲ經テ郡長ニ願出ヘシ
第三條 授業生ハ任用ノ辭令書ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ赴任スヘシ

○明治十七年四月二十八日郡乙第五十號 郡役所
町村立小學校授業生及事務掛ハ從來其任免之都度届出候處自今一ヶ月毎ニ取纏メ翌月十日限リ開申スヘシ此旨相達候事

○明治二十年三月九日訓令第六十二號 郡役所 戸長役場
小學校訓導ハ其有スル所ノ小學校教員免許狀有効滿期ノ節ハ其翌日ヲ以テ本官自カラ消滅

候儀ト心得ヘシ
但消滅ノ際ハ其旨本人ヨリ届出ヘシ

○明治二十年三月三十日訓令第八十七號 郡役所 戸長役場
小學校ノ裁縫科農業科手工科商業科ノ教授及幼稚ノ保育ヲ擔任スル者ハ郡長ノ認可ヲ經營

分助手トシテ採用スルコトヲ得但他ノ學科ノ教授者タラシムヘカラス

●小學校長以下給與

○明治二十年三月九日訓令第五十九號 郡役所 戸長役場
小學校長訓導授業生俸額ヲ定ムル左ノ如シ

小學校長訓導授業生俸額			
小學校 職名	校 長	訓 導	授 業 生
高 等	五拾圓以下拾二圓以上	五拾圓以下拾圓以上	八圓以下 三圓以上
尋 常	三拾圓以下拾圓以上	三拾圓以下六圓以上	
簡 易		拾圓以下五圓以上	

○明治二十年三月九日訓令第六十號 郡役所 戸長役場
小學校長訓導授業生月俸支給規則ヲ定ムル別冊ノ如シ
(別冊)

小學校長訓導授業生月俸支給規則

- 第一條 月俸ハ毎月二十六日支給スルモノトス若休暇日ニ當ルトキハ其前日トス但公務旅行及廢職退職死亡ハ此限リニアラス
- 第二條 新任轉任増俸減俸廢職退職ノ當月ハ總テ其現日數ヲ以テ日割計算支給スル者トス
- 第三條 新任ノトキハ職務ニ就タル當日轉任ノトキハ前任ノ事務ヲ終リタル翌日ヨリ新任ノ俸給ヲ支給(事務終了迄ハ前)シ増俸減俸ハ發令翌日ヨリ支給スルモノトス
- 第四條 他ノ學校ニ涉ルノ兼務ハ兼ヌル所ノ俸給三分ノ一以内ヲ増給スルコトヲ得
- 第五條 廢職退職ノトキハ事務終了ノ日迄支給スルモノトス

第六條 前條ノモノ在職中ノ事件ニ付更ニ出頭ヲ命スルトキハ其間前職ノ俸給ヲ支給ス但
自己不正ノ事件ハ此限ニ在ラス

第七條 願濟休暇旅行及私事ノ故障(前已ノ新職及
愚引ヲ除ク)ニ由リ欠勤スルモノ三十日以後ハ日割ヲ
以テ俸給ノ半額ヲ減スルモノトス

第八條 病氣(轉地療
養トモ)ニヨリ欠勤スルモノ九十日以後ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減スルモ
ノトス但職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ此限ニ在ラス

第九條 前兩條ノ場合相續テ起ルトキ其第七條ニ始リ第八條ニ終レハ第八條ノ事故起リシ
當日ヨリ九十日ノ後減給シ第八條ニ始リ第七條ニ終レハ第七條ノ事故起リシ當日ヨリ三
十日ノ後減給スルモノトス

第十條 死亡ノトキハ日割ヲ以テ計算セス更ニ俸給一ヶ月分ヲ合セテ其遺族ニ給スルモノ
トス

○明治二十年三月九日訓令第六十一號 郡役所 戸長役場
小學校長訓導授業生ノ旅費ハ明治十九年九月訓令第四十號戸長以下旅費規則ニ據リ校長訓導
ハ一等授業生ハ二等ノ額ヲ給スヘシ

沿革要領

明治七年三月第百六十一號小學校教師增置ノ科目并世話掛ヲ廢シ教師助教ヲ置キ其等級給與等ニ關スル
件ヲ定ム○全年六月第百二十二號小學校巡迴教師ヲ設置ス○全年八月第百九十號小學校教員身分假定ヲ以五等
教師以上列任一等助教以下等外吏ニ準シ取扱フ旨達○八年九月乙第百四十四號小學校教員等級給與金額及支給法改定(全
年十月乙第百五十八號全年十二月乙第百八十八號更正)○全年九月乙第百四十五號小學校教員等級改定ニ付従前ノ教師助
教改稱ノ件達○全年九月乙第百四十六號正副教師派出并講習賦課方法ヲ定ム○全年十月乙第百五十八號小學校教員一里以
外赴任ノ者ニ手當金ヲ給スル旨達○九年一月乙第百四號小學校本部ヲ置キ教師ノ受持ヲ定ム○全年四月乙第百四十九號
小學校教員給料渡期日ヲ定ム○全年六月乙第百七十號小學校教員職務假章程ヲ定ム○全年八月二十五日無號小學校教師各
兼擔ヲ廢シ更ニ區内巡視或ハ區内教員ヲ本部ニ集メ講習セシム○全年十二月乙第百五十六號教員進級手續ヲ定ム○十年
八月丙第百二十二號小學校教員名稱給料及旅費口當定則更定出雲國へ布達(全年十月乙第百九號追加)○全年八月丙第百三
號全上石見國へ布達○全年八月丙第百四號全上隱岐國へ布達○十一年三月丁第百二十一號小學校訓導賞典申請取調心得出
雲國へ達○全年三月丁第百二十二號全上石見隱岐兩國へ達○十二年十一月甲第百二十九號小學校訓導學科試驗規則ヲ定ム
○全年十二月甲第百三十號十年丙第百二十二號全上石見隱岐兩國へ達○十三年二月
乙第百八號師範學支校卒業者ハ本校全様ノ教則ヲ修メサルモノハ訓導タルヲ得サル旨達○全年三月甲第百二十九號小學校教員
學力証明試驗規則ヲ定ム○全年三月甲第百三十號小學校教員學科試驗規則更定○十四年二月三日無號十一年丁第百二十一號全
二十二號遠方更定○全年十月乙第百七十八號小學校教員俸額及旅費定則達(十七年八月乙第百四十四號更正)○十五年四
月甲第百六十八號十三年甲第百九號布達ヲ廢シ小學校教員免狀授與規則ヲ定ム(十七年二月甲第百二十一號更正)○全年五
月甲第百九十九號十三年甲第百三十三號布達廢止○全年十一月甲第百五十七號十二年甲第百三十三號布達廢止○全年十一月乙
第百十六號町立小學校教員任用等級ノ件達(十六年十月乙第百四十二號更正)○十六年十月乙第百三十三號十三年乙第
七十八號町立小學校教員俸額更定○全年十二月乙第百六十四號町立小學校校長以下月俸支給規則ヲ定ム(十七年八月
乙第百十四號更正)○十七年二月乙第百十五號町立小學校授業生補助員就職ノ節其姓名年齡履歷開申セシム(全年四月

郡乙第五十號每一月屆出ニ更ム。○全年六月甲第六十六號教員講習規則ヲ定ム。○全年八月甲第百三號舊師範學科ニケ年ノ課程卒業者ハ小學中等科教員其他ハ小學初等科教員タルヲ得ヘキ旨布達(全年八月甲第百十四號三ケ年ノ課程ヲ履修セシモノハ高等科教員タルヲ得ル旨追加)○全年八月甲第百六號小學教員免許狀授與規則更定(十八年四月甲第七十三號更正)○全年八月乙第百九號町村立小學校授業生事務係俸給并旅費規則ハ認可ヲ受ケシム。○全年八月乙第百十三號十五年乙第百十六號達廢止○全年八月乙第百十五號町村立小學校長月俸訓導等別并月俸準訓導月俸表達○全年八月乙第百十七號町村立學校長以下同幼稚園保母等欠勤他行願届心得方達○全年八月乙第百十八號町村立小學校長教員任免例規ヲ定ム(十八年四月乙第百四十九號追加)○全年八月郡乙第九十八號小學校授業生及事務係任免辭令式ヲ定ム。○十八年二月甲第二十四號學校長教員品行檢定期則ヲ定ム(全年四月甲第七十二號更正)○全年三月乙第三十五號町村立小學校分校訓導ハ自今本校訓導ニ任用分校在勤ハ校長ヨリ指示開申セシム。○二十年三月縣令第三十二號小學簡易科教員及小學校授業生免許規則ヲ定ム。○二十二年七月縣令第百一號十七年甲第六十六號布達廢止。

五 表簿 報告

●町村立學校職員勤務年數等調表

○明治十六年十月五日乙第百三十三号 郡 町 村

町立學校職員勤務年數年齡及ヒ全罷免者勤務年數等ノ儀本年ヨリ別紙甲乙号表式ニ倣ヒ取調毎年一月十日限學務委員ヨリ郡役所ヘ可差出郡役所ニ於テハ一郡統計ノ上全二十日限縣廳ヘ進達スヘシ此旨相達候事

甲號 郡役所ヨリ進達ノ分ハ學區ヲ削リ郡名ヲ記スヘシ

明治 年島根縣何國何番小學區町村立學校職員勤務年別及年齡表

勤	年 別		町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校
	職 名	職 名							
一年以上	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校
二年以上	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校
三年以上	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校	町 村 立 學 校

年								齡
二十年以下	二十五年以下	三十年以下	三十五年以下	四十年以下	四十五年以下	五十年以下	五十五年以下	六十年以下

務							年			別
四年以上	五年以上	六年以上	七年以上	八年以上	九年以上	十年以上				

第二類 第三節 表簿 報告

各 種 ノ 事 由 二 依 リ 罷						罷 免	
町 村 立			小 學 校			諸 學 校	
助 教 諭	教 諭	長	准 訓 導	訓 導	長	訓 導	助 教 諭

三百九十五

品 行 不 正 二 依					至 リ 罷 免			
町 村 立		小 學 校		町 村 立	諸 學 校		町 村 立	
教 諭	長	准 訓 導	訓 導	長	訓 導	助 教 諭	教 諭	長

三百九十四

免		死			亡		
訓導		町立	小學校	町立	諸學校		
長	訓導	長	准訓導	訓導	助教諭	教諭	長

本表ニハ前年中癡疾又ハ老年等ニヨリ職務ヲ罷免セシ町村立學校職員ニ就キ其勤務年數及ヒ事由ヲ查別シテ其人員ヲ各欄内ニ記入スヘシ尤モ癡疾及ヒ老年ノ兩欄内ニハ全ク其職ニ堪ヘサル者ノミヲ掲ケ品行不正ノ欄内ニハ學校教員檢定規則ノ條款ニ觸レシ者ヲ掲ケヘシ又尋常ノ疾病及ヒ他ノ事由ニテ罷免セシ者ハ悉ク各種ノ事由欄内ニ合記スヘシ但一旦罷免セシ者ト雖再ヒ學校ニ就職ノ上年末現ニ其職ニ在ル者ハ本表ニ記入スヘカラス勤務年數計算法ハ甲號表ニ準スヘシ

● 小學校ニ關スル表簿様式

明治二十一年四月十一日訓令第六十三號 郡役所 戸長役場

小學校ニ關スル表簿様式別紙ノ通相定ム

(別紙)

表簿調査心得

小學校ニ關スル表簿ハ左ノ第一種第二種第三種ノ様式ニ據リ之ヲ調製スヘシ

第一種 小學校生徒出席及探點調査

第一條 生徒ノ出席ハ甲號書式ニ依リ試験探點ハ乙號書式ニ依リ調査スルモノトス

第二條 甲號書式中第一式ハ擔當訓導之ヲ調査シ毎月三日迄ニ前月分ヲ校長ニ差出シ第二式第三式及第四式ハ校長之ヲ調査スルモノトス

第三條 校長ハ調査ノ上甲號第三式及第四式ノ出席表ヲ乙號表ト同時ニ郡長ニ報告シ郡長